

婦人関係資料シリーズ
調査資料 No.7

農村婦人の生活

実態調査結果報告

労働省婦人少年局

保存資料

は し が き

女子労働者のうちでも最も数の多い製糸や紡織に働く婦人の大部分が農村出であり、これらの安い労働力を基礎としてわが国の工業が明治以来急速な発達を遂げたことは周知のことです。終戦後、憲法や民法の改正に伴つて、婦人の地位は男子と同じレベルにまで引上げられ、また女子労働者としても、労働基準法その他の法律によつて労働条件も著しく改善され、労働組合も組織されました。しかし、農村の婦人の生活は、これらの法律や制度の変化にもかかわらず、都市の家庭婦人や労働婦人にくらべて、はるかに後れているのであり、この農村のおくれは、都市労働者、ことに婦人労働者の生活にも影響し、その労働条件の向上をともしれば妨げているのです。このことを考えますと、婦人労働者の地位の向上は農村婦人の生活の向上なくしてはないといつても過言ではなく、また、農村婦人の地位の低さは、そのまま全日本の婦人の地位のひくさにつながるともいえるでありましょう。このような意味から、農村婦人の地位向上をはかる上の基礎資料とするために、この調査は当局の婦人課において計画され、課員の熱心な集計、分析によつてここにその報告書をお目にかけることになりました。この実態調査の結果から少しでも農村婦人の生活をよくするための示唆が得られるならば幸と存じます。

なお、この調査は計画のはじめから実施にいたるまで、総司令部民間情報教育局社会調査課勤務の竹内利美氏、教育大学社会学研究室森岡清美氏、東大社会学研究室堀本哲人氏、杉政孝氏の4氏の非常な御協力をいただきました。また調査の実施に当つては、調査対象村となつた岩手県下閉伊郡田野畑村、山形県東田川郡大和村、群馬県甘楽郡額部村、愛知県西春日井郡春日村、岡山県都窪郡常盤村の村長はじめ村の方々に大変お世話になりました。報告書を公刊するに当り、以上の方々の御厚情に對し深く感謝申し上げます。

1952年7月

労働省婦人少年局長

藤 田 た き

農村婦人の生活

実態調査結果報告

目 次

は し が き

第1部 調査の概要

1 調査の目的	頁 5
2 調査の対象、地域	5
3 調査方法	5
4 調査期日	6

第2部 農村婦人の生活（結果の概要）

1. 農村婦人の家庭生活

(1) 婦人の労働	8
(2) 家事の負担	10
(3) 産育保健	10
(4) 教養娯楽	12
(5) 食生活	13
(6) 住生活	14

2. 家族関係

(1) 農家の家族構成	15
(2) 家族の指導者或は代表者	16
(3) 結 婚	17
(4) 相続と分家	18

3. 農村婦人の社会生活

(1) 家族以外の者との交際	19
(2) 婦人団体や農協組に対する関心	20
(3) 政治に対する関心	21
(4) 法律に対する関心	22

第3部 村の婦人（調査村の概要）

1 田野畑村の婦人（岩手県下閉伊郡）	25
2 大和村の婦人（山形県東田川郡）	81
3 額部村の婦人（群馬県甘楽郡）	87
4 春日村の婦人（愛知県西春日井郡）	48
5 常盤村の婦人（岡山県都窪郡）	49

第4部 結果の分析

1 農業経営に占める婦人の役割	57
2 家長権、主婦権	64
3 通婚圏	70
4 交際圏	74
5 婦人の生活意識	81

第5部 統計表*

1 世帯調査結果表	87
2 意識調査結果表	119
3 事例調査結果（農家の主人と主婦の生活時間）	186

附 録

1 調査項目	
（1）村落家族及婦人生活に関する全般調査項目	141
（2）世帯調査票	144
（3）意識調査項目	148
（4）事例調査項目	160
2 写真目次	162
3 統計図表目次	152
4 統計表目次	153
（1）本文挿入統計表目次	153
（2）第5部統計表目次	154

第1部

調査の概要



写真 1 農家の子供達—常盤村(岡山)

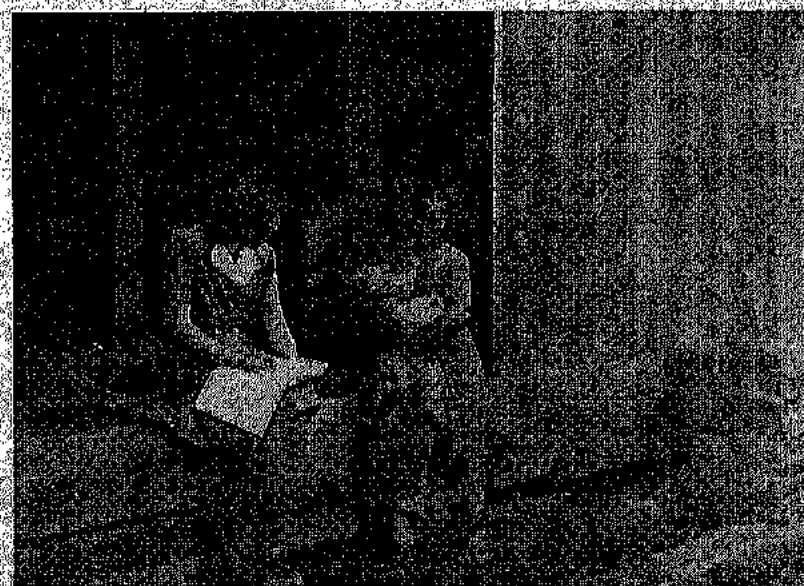


写真 2 面接調査—田野畑村(岩手)

第 1 部 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、終戦後の婦人解放の大きな波のなかにあつて、農村婦人の生活はどんな状態にあるか、男子と同等の人格としてみとめられるべき新しい地位について、婦人たちはどれだけのことを認識しているかなどを調べるために、農村婦人の生活を

- (1) 村の社会構造及び農業経営に占める婦人の位置
- (2) 家庭における婦人の地位
- (3) 農村婦人の生活意識

の面から総合的に調査し、その実態を明らかにすることを目的としたものである。

2. 調査の対象、地域

農村婦人の生活は農業経営と密接に関連するものであり、その地位もまた村の社会構造と切り離すことはできない。従つて調査地域の選定については、農業の経営形態、村の地理的條件、都市との近接の程度などを考慮した結果、次の5カ村を選定した。

- | | | |
|-------------|---------|----------|
| (1) 単作水田地帯 | 山形庄内平野 | 東田川郡大和村 |
| (2) 二転作水田地帯 | 岡山水田地帯 | 都窪郡常盤村 |
| (3) 養蚕地帯 | 群馬山間 | 世帯郡額部村 |
| (4) 商業的蔬菜栽培 | 愛知名古屋近郊 | 西春日井郡春日村 |
| (5) 山間畑作 | 岩手山村 | 下閉伊郡田野畑村 |

3. 調査方法

この調査は約 20 人の調査員が参加し、1 カ村約 1 週間の調査期間にわたつて行われたもので、その大要は次の通りである。

(1) 行政村全般にわたつて

a. 村の概況調査

役場、組合などの記録、統計の利用

b. 婦人の生活意識の調査

村の農家台帳より 100 名の婦人 (18 才以上) を interval sampling に基づき抽出し、家庭内

係、労働及び生活改善についての意見、社会的関心などについて面接調査

(2) 特定部落(その村を代表する如き)2-3について

a. 世帯調査

部落内の全戸に対して農家経営規模、家族構成、家族の生業及び管理、家事の分担、家の来歴などを調査

b. 村落生活についての社会学的集中分析

c. 事例調査、生活史の作成

上、中、下の階層から約 10 戸の農家を選定し、世帯主あるいは主婦に対して綿密な面接調査

4. 調査期日

1960 年 7 月中旬群馬において予備調査を行い、他の 4 カ村は 8 月に入つて実施した。

第 2 部

農村婦人の生活

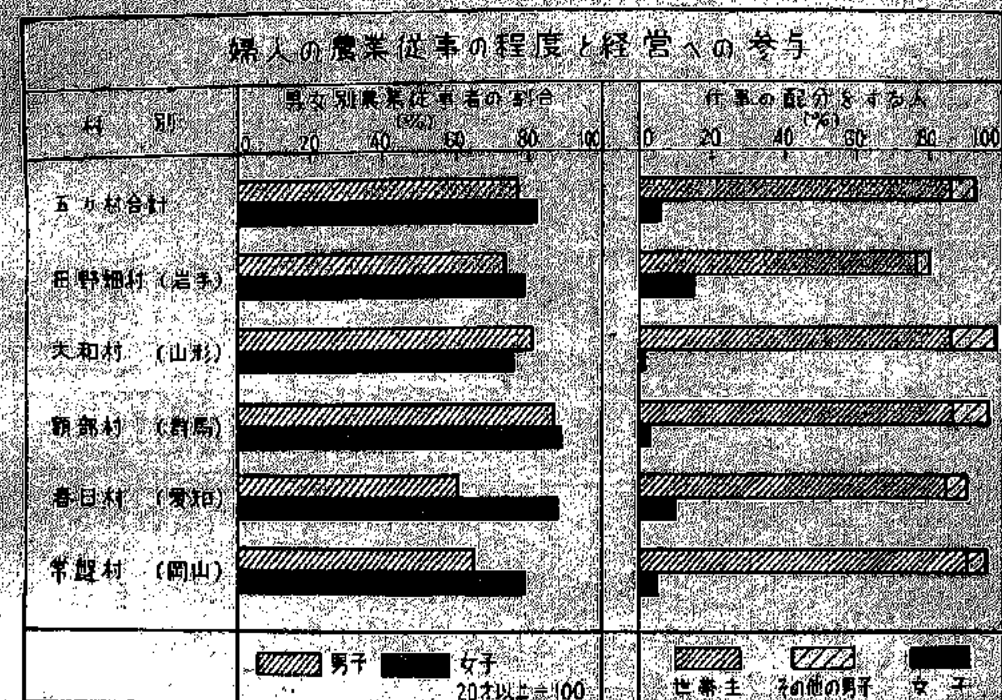
(結果の概要)

この項は、農村婦人の家庭生活、家族関係及び社会生活など調査の全般にわたって、その結果を簡単にまとめたものである。

各調査村の実態や問題の分析は第3部及び第4部によつてごらんいただきたい。

1. 農村婦人の家庭生活

(1) 婦人の労働



(世帯調査結果第13表)

(世帯調査結果第23表)

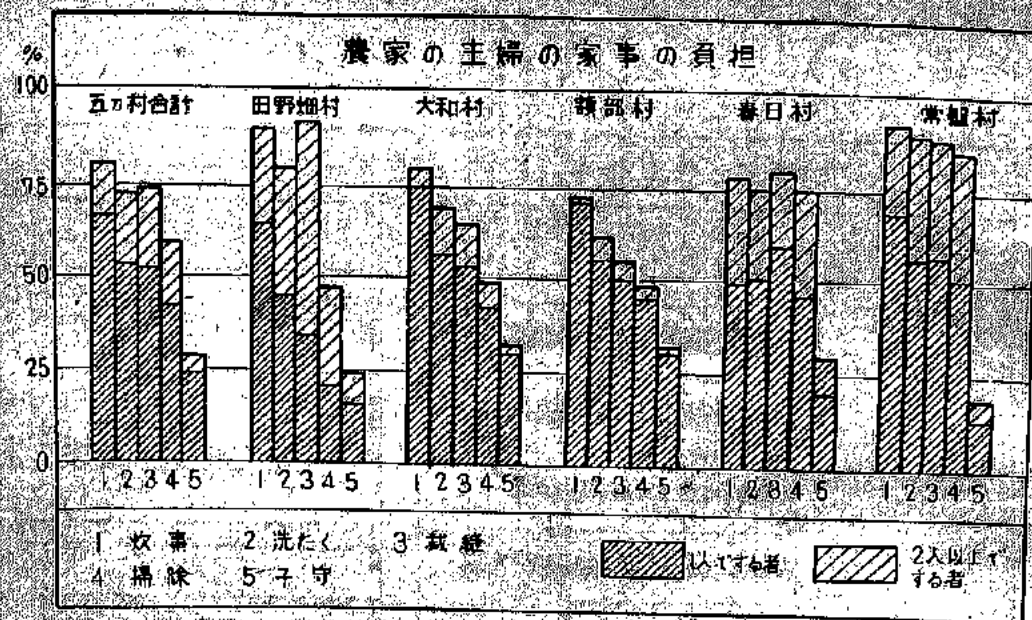
第1図

第2図

山形、単作地帯、養蚕など農業経営の相異によつて、作業こそ異なるが、5つのどの村においても、農村婦人は男子と同様に積極的な農業労働に従事している。数においては、男子より女子の方が農業に従事する者の割合は高いくらいで、5ヶ村合計では、20才以上の男子で農業に従事する者は70%であるが、女子では82%を占めていて、いかにもわが国の農業が婦人の労働力に依存しているかがわかる。

しかし、経営についての婦人の発言権は全くないと言つてもよく、仕事の配分などはほとんど男子、殊に世帯主の手にゆだねられていて、妻や母がこれに参加する場合は、そのような任に就く男子の手が通りかねる場合か、岩手などのような山村において、耕作がすべて婦人によつてなされ、男子は家計を維持するために山仕事や出かせぎに出るような場合に限られている。仕事について相談を受ける者は65%であるが、相談されない者で、自分も相談をうけたいと言つてゐる者は10%である。(世帯調査結果第12表)

(2) 家事の負担



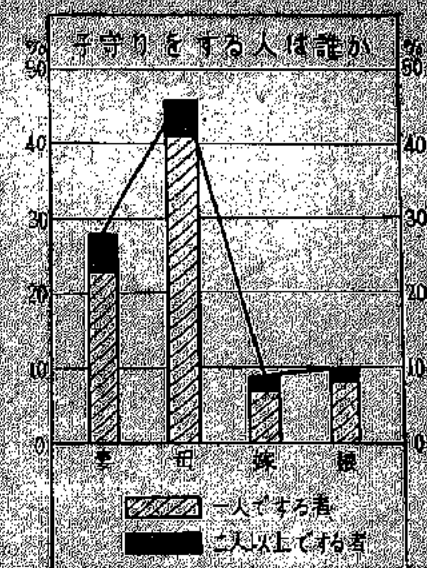
第 3 図

農村婦人は農業労働のほか、さらに炊事、洗濯、裁縫、育児などの家事を負担するために、労働時間は農業労働と家事労働の時間を合計すると、ほとんどの事例においても、男子の労働時間より長くなっている。(事例調査結果参照) 愛知県のある主婦は(春日村事例C)、夫の野良仕事の 10 時間にくらべて、8 時間を野良仕事に、5 時間半を家事についやして、夫より 8 時間半多く働いている。

農家の主婦で農業に従事していない者は、わずか 6% であるが、主婦のうち 86% は炊事を一手にひきうけており、誰かほかに手伝い手のいる 14% の者を加えると、炊事をする者は 80% に上っている。洗濯、裁縫、掃除などを 1 人でする者の割合は次第に減って、58%、52%、49% の順になっている。

このように重い農村婦人の労働について仕事はつらいかどうかをきいてみると、村によつてかなりの違いがあるが、(意識調査結果第 8 表参照)、五ヶ村の平均では、「とてもつらい」と答えた者は 9%、「かなりつらい」86% で、合計 46% がつらいといっているが、それと同じ 46% が、慣れれば何でもない、「つらくも楽でもどちらでもない」という答をしている。女の仕事をひとつと楽にする方法については、ほとんどの主婦が農業に従事しながら、意見を述べた者は約半数で、あとは「仕方がない」、「わからない」や無回答の者である。意見を述べた者のうち、農業の機械化に言及した者は 12% で、30% が「子供が早く大きくなればよい」とか、「息子に嫁を貰う」、「年寄りに家事を手伝ってもらう」など人間の労働力にたよっている。農業の協同化が婦人労働を軽減するかどうかということについては(前掲調査結果第 10 表)、現在のような各戸から提供された労力によつてなされるような協同作業の下では当然の結果として、労働の評価に対する不平や、自由の束縛などから反対を唱える者が多く、52% に上っており、協同作業を肯定する者はほとんど田植えや秋の収穫期など猫の手も借りたいような農繁期にかぎっている。

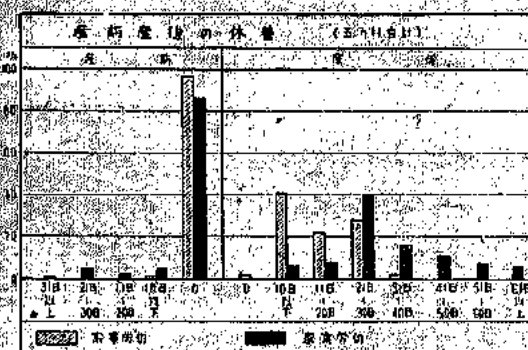
(3) 産育保護

写真 3 「よこた」に子供を入れて守る老婦
田野畑村(岩手)(世帯調査結果第 25 表)
第 4 図

農村の多産は婦人の負担を一層大きくするものであるが、五ヶ村の既婚者 1 人当たりの平均子供数は 8.0 人で、10 人以上の子持ちも 428 名の既婚者中 16 名に上っている。妊娠し農業労働の間に出席育児という大役を果たすことは、婦人にとつてかなり大変なことで、子供の 20% を産んだ幼時に死んでいる。死産や流産をしたことのある者も 10 人に 2 人という割合である。産前に家事を休む者はほとんどないと言つてもよく(子供を持つ既婚者 392 名中 5 名)、農業労働でさえ 80% の者が 1 日も休まず、出産の日まで働いている。産後の休養は農閑期に当たると比較的取まれるが、それでも知れたもので、平時して農業の仕事は 21 日目から 80 日くらいではじめる者が最も多く、家事は 10 日以内の者が圧倒的に、なかには産後 1 日も休んでいない者が 5 名もいる。

生理前にも産後の者が休んでいないが、それについては、42% が休まなくてもよい、あるいは休まないと思わないと答えているが、一方 56% の者が休まないが休めないと訴えている。

農家の母親たちは子供に授乳させる間は何よりの休養だと言っているが、子供のしつけも母親がしている場合は 54% で、残りの多くは家にいる祖母の手にまかされている。それも、母がや病気をしたりしないように気をつけているというような消極的な答えが一番多く、また子供を育てる上に何も力がないのか無回答の者も多かった。



第 5 図

(4) 娯楽生活

どんなことが一番たのしみか

たのしみの種類	五カ村合計	田野畑村 (岩手)	大和村 (山形)	頼部村 (群馬)	春日村 (愛知)	常盤村 (岡山)
子供が大きくなること	30%	32%	26%	29%	25%	35%
家族が実家で円満にくらすこと	9	7	11	10	9	6
お盆、正月、祭、物日など	8	8	12	10	9	4
実家へ帰ること	8	7	13	13	4	3
休養、ねむること	7	10	8	8	8	4
作物のよくとれたとき	6	6	8	6	4	7
働くこと	3	8	4	6	1	1
新聞、ラジオ、映画、読書	11	10	13	14	8	11
裁縫すること	5	1	1	3	7	11
村人とのつきあい、遊など	5	3	8	2	7	2
意見なし	16	9	19	12	25	13

注：1人で2つ以上答えた者がいるので計は100を越す

① 表

(意識調査結果第27表)

村の婦人は「何か一番たのしみですか」ときくと、8人に1人は「子供が大きくなること」と答える。映画、ラジオなどのような都市的な娯楽も次第に村に入りつつあるが、まだ一般的には子供の生長とか家族の健康、お盆、お正月、祭、物日などの年中行事など子供や家族に関連したものが多く、それも丈夫にくらすとかおいしいものを食べるなど、生活的なたのしみが主なものである。特に嫁の場合には「実家にかえること」というのが目立つて多く、「一年に一度、暇をもらつて里にかえり、思う存分眠ること」が唯一のたのしみだと嫁たちは答える。米の全然とれない岩手の田野畑村では「お正月に白米を食べること」さえたのしみとなつている。生産に従事する農村の婦人たちによつては秋の収穫もたのしみことの一つで、100名中6名がこのことを指摘している。「ゆつくり休むこと」「ねむること」が楽しいという者は100名中7名であるが、「裁縫」と答えた者も100名中6名で、忙しい農業労働から解放されて、子供の着物を縫うことをたのしみとするものである。以上のようなたのしみは娯楽としてあつてはあまりに生活的なものばかりで、これらをさえたのしみとする農村の生活は、そのまま文化の低さを示しているといえるであろう。「農村の婦人は働くばかりで楽しみなど何もない」と調査員の問いに対して暗い顔で答える者も多かった。

映画をみること、ラジオをきく、本をよむなどという個人的な、あるいは趣味的な娯楽も徐々に岩手の村から村に入りこんでおり、この表でも100名中14名がこのことをあげている。常設の映画館は5つのどの村にもなかつたが、1月から調査時の8月までに映画をみた者は40%、このなかには休みの日に1日ばかりで近くの町まで観に行く者やPTAなどで主催する文化映画も含まれている。ラジオは映画や交居などより普及率は高く、78%が持つており、その65%が毎日きいている。新聞をとつていない者は、村によつて大きな相違があり、常盤村(岡山)では99%であるのに岩手の田野畑村では48%である。常盤村(岡山)を除いては、新聞をとつていても毎日読まない者の方が多い。本や雑誌の購読になると、読む者の率はずつと落ちて60%となる。読まない理由は忙しいからという者が一番多いが、農業や家事に追われて、みずからの教養や娯楽の時間がこのように切りつめられるわけである。

(5) 食生活



写真4 用水とひえづきに使う「水はつたり」—田野畑村(岩手)



写真5 改良されたかまど—常盤村(岡山)

白米を食べるのは配給制度になつてから、それも現金収入の不足からとることができず、ひえ、麦、米を85、35、3の割合に混ぜたものを常食とする岩手の山村田野畑村、やはり米の不足から一度に一度は「きりこみ」(煮込みうどん)を食べる頼部村(群馬)、完全保有農家の多い米作地帯の大和村(山形)、常盤村(岡山)など、主食でさえ村の食生活はまちまちである。食事の改善について何が希望をのべた者はどの村も少く、5カ村合計ではわずか85%、そのうちわけは調理の方法よりは食物の質を良くしたい、特に脂肪や動物性蛋白をもとめる声が高い。

村には水道(頼部村(群馬)の一部に村民の努力で敷かれている)もガスもなく、水源は大部分井戸になつており、田野畑村(岩手)では各戸に山の水を引いて、栗やみえの脱穀と用水をかねる「水はつたり」が作られている。煮などの場所は東北ではわりが主であるが、南に下るにしたがつてかまどの利用が多くなる。常盤村(岡山)ではいりやかまどは全然使われてなく、かなりよく改良されたかまどにこんろを併用する者が多く、78%に上つてゐる。大和村(山形)や春日村(愛知)は燃料に非常に不足しており、わらやもみがらをたくために、終始火の番についていなければならず、このことは婦人の労働を一層過重にしている。これらの日常使用するいろりやかまどに対しても、こうしたいは改善の希望をのべる者は少なく、わずか88%にすぎない。しかし少数ではあるが、そのなかにはガスや電気を使いたいという希望が出ている。

(6) 住 生 活



写真6 岩手の曲り屋—田野畑村

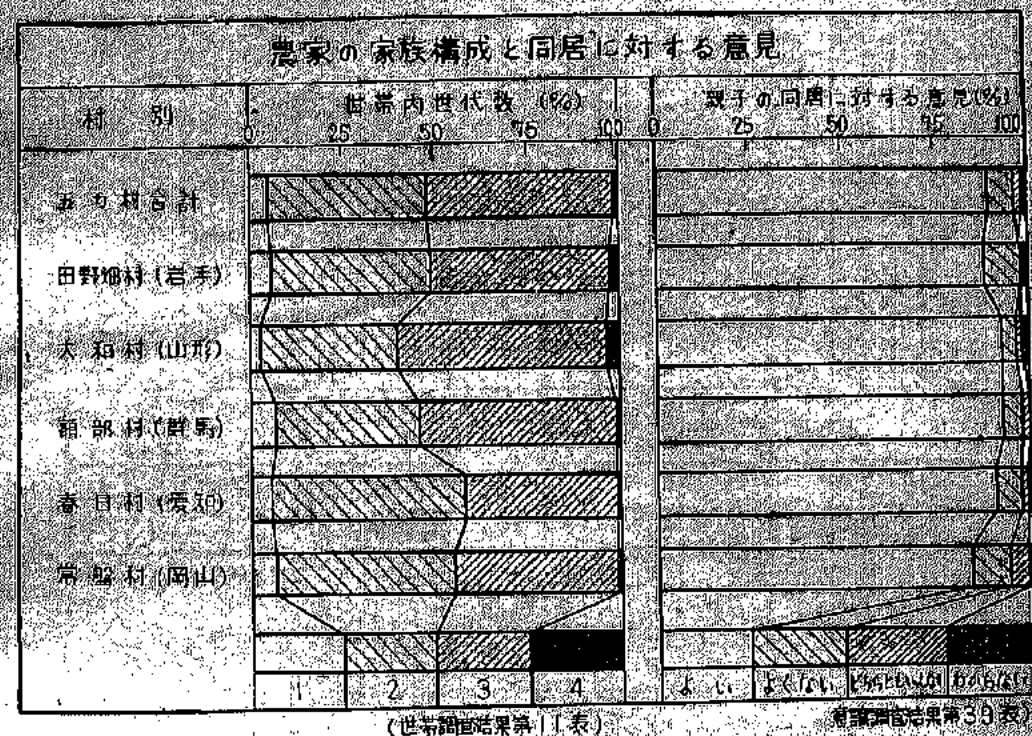


写真7 岡山の農家—常盤村

農村婦人の生活が、農業と家事を分離することができないように農村の家屋は住宅であると同時に作業場でもある。休息や団らんや寝るための場所であると同時に養蚕期には蚕室にもなり、結婚や葬式などには、各室のしきりのふすまや障子を取りはらって大広間の場所ともなる。東北の田野畑村（岩手）や大和村（山形）はほとんど萱ぶきで、窓も小さく、家の中は暗い。厩舎が家の中にあり、ここでは人間の生活は牛馬との共同生活である。春日村（愛知）、常盤村（岡山）の農家はそれとは対照的で、ほとんど全部が瓦屋根であり、建築もしっかりしていて、いかにも豊かに明るい。住居について改善の希望をのべた者は5村合計では48%であるが、村によつてかなりの相違がある。住居の最も貧弱であると思われた田野畑村（岩手）では39%、希望意見をのべた者の割合は少ないが、屋根やまがつた柱を直したい、壁を入れたい、部屋を明るくしたいなどのせりせりの希望である。一方常盤村（岡山）では、77%の者が他宅改善の希望をのべ、それも便所をもう1つ作りたい、ふたをすけ汲取口をセメントにして蛇の発生を防ぎたい、臭気を抜く工夫をしたい、又子供の勉強部屋や洋間を作りたいなどのような程度の高い希望が多い。

2 家族関係

(1) 農家の家族構成

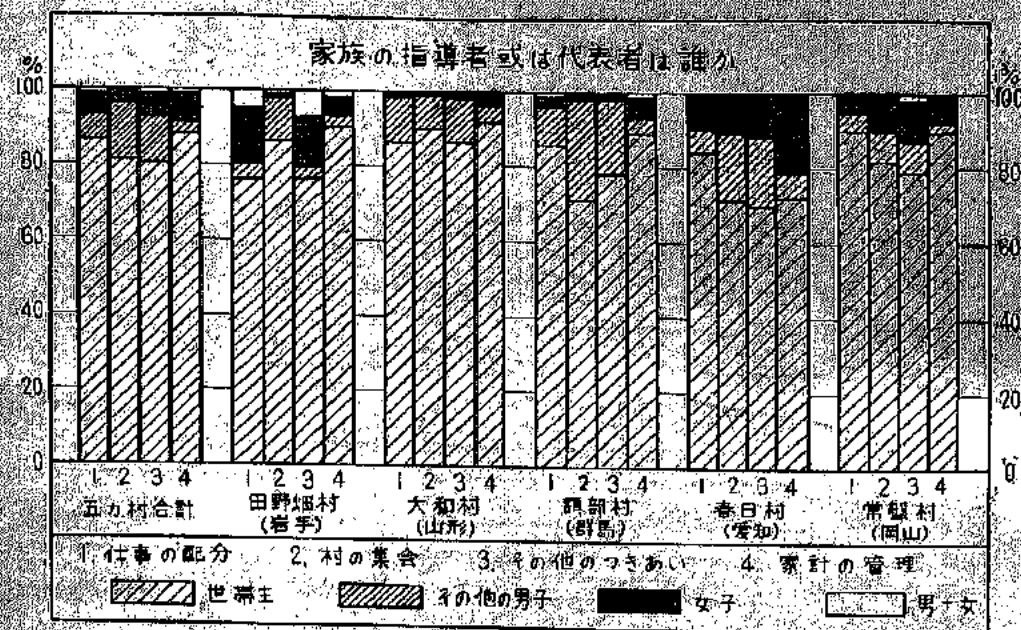


第6図

第7図

消費の単位であると同時に一つの生産共同体を構成する農家の家族構成はなかなか複雑で、世代の重なりも多く、50%が世帯内に3世代を含む世帯であり、4世代の重なりのある世帯も2%になっている。特に水田耕作地域の太和村（山形）の家族構成は複雑で、60%が3世代以上の重なりを持つ上に、傍系家族や年輩なども多くまざっている。一方、愛知県春日村の家族構成は、これとは対照的で夫婦とその子女からなる世帯が58%を占め、世帯主の親、婿、嫁、孫なども少い。

世帯員数は5人から8人までの世帯が全体の60%を占めている。現在人員と希望人員との関係を見ると、(意識調査結果第38表)、家族が5人以下の場合は多いことを希望し、8人以上になると少いことを希望し、5人ないし7人の家族は現在のまゝを希望するという傾向が5つの村を通してみられる。農村の産制問題がやかましく言われているとはいえ、現在のような農業機構の下では5人以下の場合には「農家は人手がいるから」あるいは「家事や育児をする人がほしいから」などと家族員の増加を希望している。そのことは「子供が結婚してからも親子は一緒にくらす方がよい」という者が100%と非常に高い割合を示していることにもあらわれている。そしてこの親子の同居をよいとするものは家族構成の複雑な村ほど多いのである。同居をよいとする理由も人員希望の場合と同じで、「子守や育児を年輩者にしてもらいたい」「病氣や年取ったとき面倒をみてほしい」というので、なかには「親老だから同居するのがあたりまえだ」とはつきり答える者も相当数に上っている。



(世帯調査結果第23表)

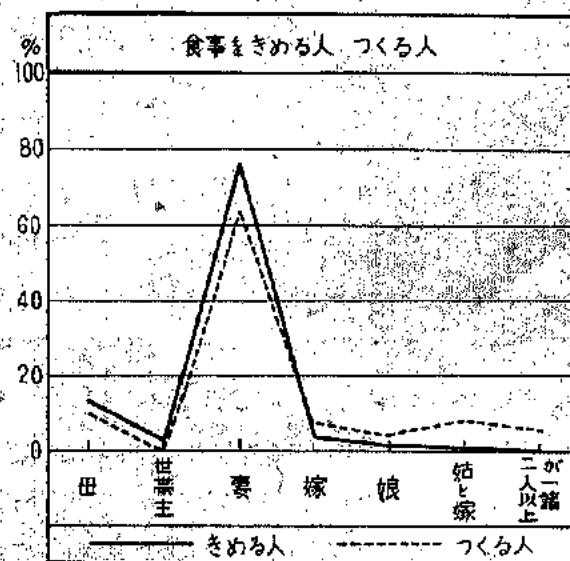
第8図

5つの村には家長だからといって特に食事を別にとらえるというようなことはなかつたが、村の集会所や家としてのつきあいに家族を代表するのは、ほとんどの場合世帯主が行っているといつてよい。世帯主と差支える場合は息子や父などがこれに代るのが一般であり、妻や母が出ることはきわめて稀である。このことは特に村の社会構造や家族構成の複雑な大和村(山形)では顕著であつて、女子が村の集会に出ているのは146軒中わずか1軒のみであつたが、これも世帯主のほかに代るべき男子がいない家で、母が代つて出ている場合である。(世帯調査結果第24表) 家族構成の比較的単純な愛知の春日村は、他のどの村よりも女子が村の集会やつきあいに出席する率が高い。

農業経営の指揮者として仕事の配分をするのも家計の管理も家長の権能であり、ほとんど男子特に世帯主の手にゆだねられており、さまざまな買物などは、家長の許可がなくてはできない。

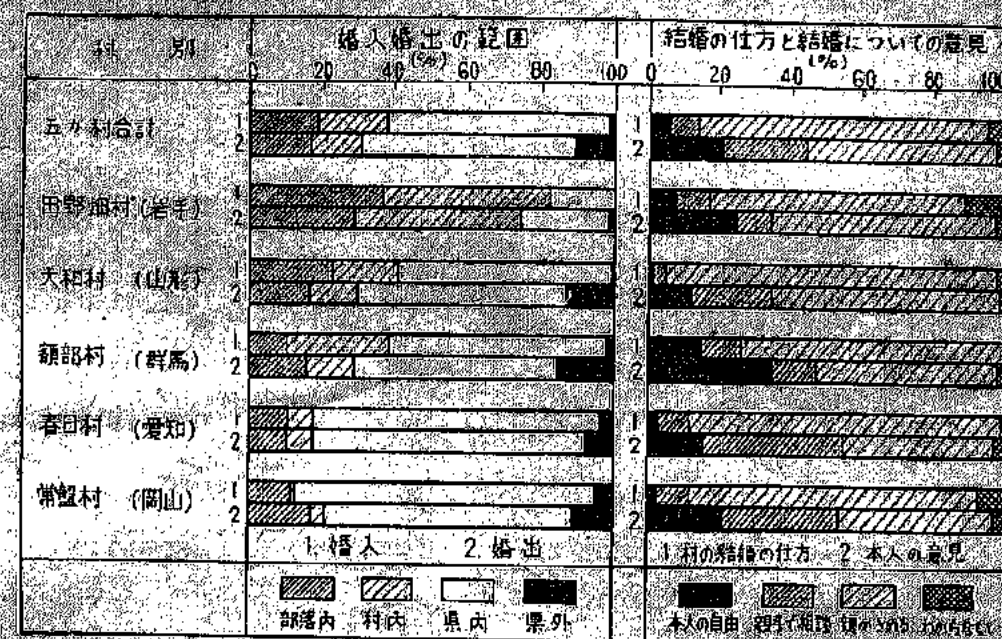
毎日の食事をきめることやその買物の支出は婦人にまかされているが、この場合には主婦がこれに当るので、嫁で食事をきめる者は非常に少ない。

註 第4部 2. 家長権、主婦権の項参照



(世帯調査結果第25表)

第9図



(世帯調査結果第27, 29表)

第10図

(意識調査結果第40, 43表)

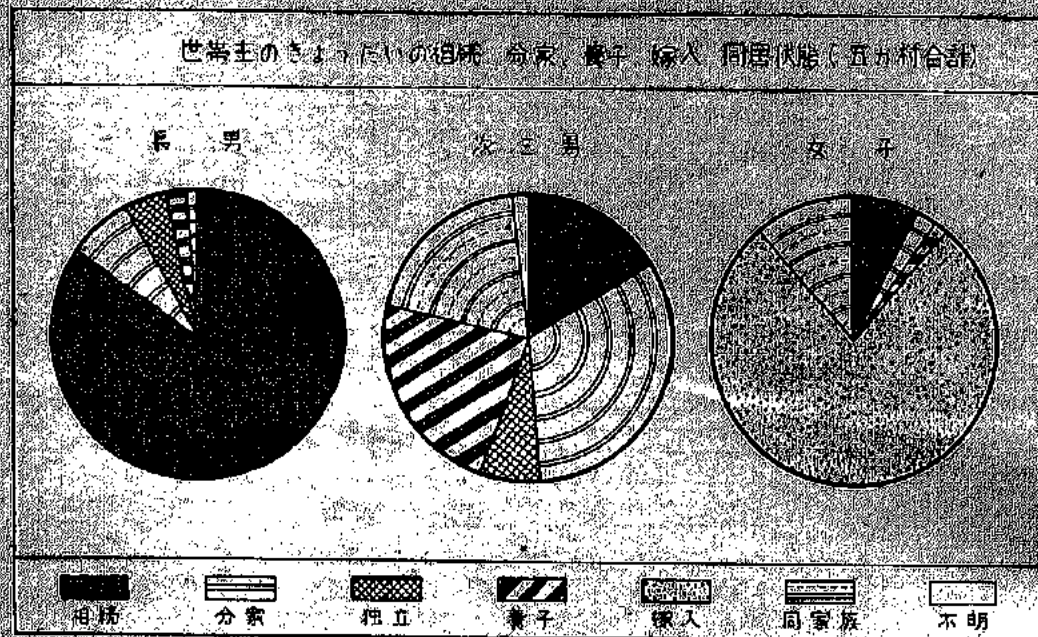
第11図

村では結婚の相手はほとんど親がきめるのが普通で、どの村でもこの率は圧倒的に高いが、山形の大和村では結婚が親によつてきめられる場合が91%に上つていて、他村をはるかに上回っている。結婚の相手も親戚や遠縁に当る者、親戚の知人など家同志の関係で選ばれる傾向が強く、結婚当時のいきさつをくわしく調べた40名の婦人のうち21名は親戚関係のある者であり、その他も親戚の知人など、何らかの家とのつながりを持つ者で、全然の他人は18名であつた。結婚前のあるまで相手を全然知らなかつたという者は、40名中26名、知っていた者も、親戚なのでゆきまじっていたり、はじめから結婚させるつもりで足踏のように育てられた者である。婚約中も全然会わなかつた者が87名、特に交際したことがないままに夫となる人が手紙にきたりして数回会つた者4名、交際したという者はわずか5名、それもほとんど親戚同志というわけだ。「私達の頃には、結婚のその日まで夫の顔さえ知らない者が多かつた」と婦人たちは答えるのである。そのように結婚は親同志のとりきめで進められるが、結婚は親がきめるのと本人が自由にえらぶのとどちらがよいかということになると(意識調査結果第40表)、どの村でも、その村で現在行われている率よりも、本人が選ぶことを望む率が高くなり、親がきめるのがよいという率は低くなるが、それでも「親にきめてもらった方が先々まで責任をもつてもらえる」からとか、「農村では同居するから親にきめてもらった方がいい」などという者が半数以上を占めている。

通婚の範囲は、東北の山村田野畑村では、婿入、嫁出とも部落内婚や村内婚が多く、婿入の場合には80%が村内婚であるが、この率は南に下るにしたがつて低くなり、次第に県内や県外との交流がはげしくなる。嫁出は婿入の場合よりも、村外、県外に出る率が高いのは5つの村に共通してみられる現象である。

註 第4部 3. 通婚圏の項参照

(4) 相続と分家



(世帯調査結果第3表)

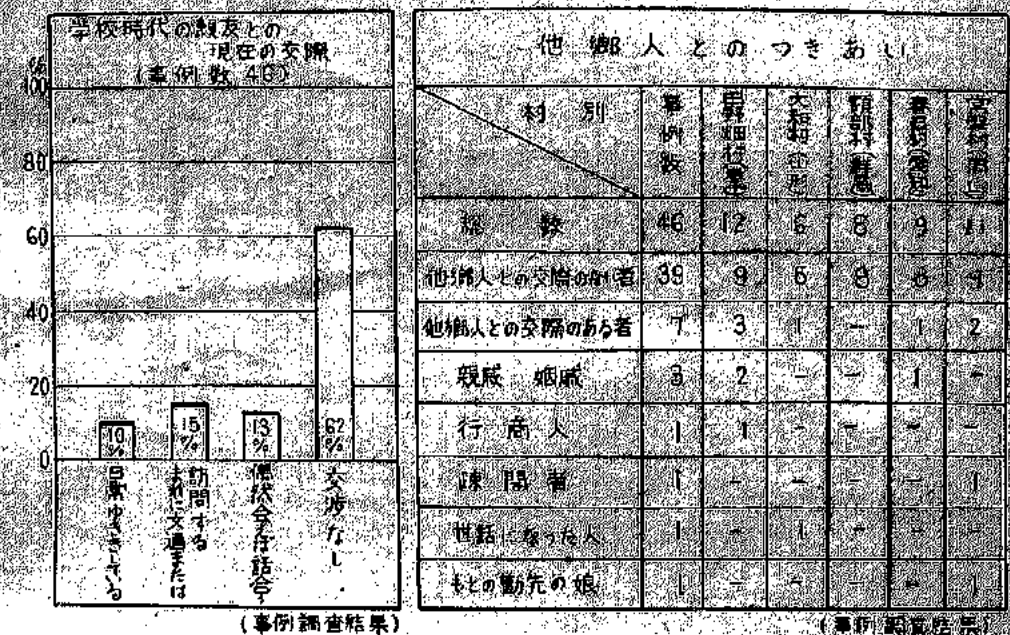
第12図

「結婚しても嫁取りだから同居するのがあたりまえだ」という村民の言葉にもあらわれているように、長男が家を継ぐという観念は村民にとって抜きがない気持である。5つの村で現在世帯主となつてい
る者のきょうだいをしらべた結果によると、長男の場合は85%が相続しているが、次三男で相続してい
る者はわずか17%、女子8%となつてい。次男や三男が相続するのは、長男が死亡したり、あるいは
他居したりしていない場合で、この序列もきわめてはつきりしている。こうして次三男は、多くの
場合、清平の土地の分与をうけて分家するか、他家へ養子に行く。現在、長男は90%まで同部落内に
をどまっているが、次三男でさえ半数以上(55%)が部落内に居住しており、村内に住んでいる者を含
めると90%、そのほとんどが農業に従事している。女子の場合は部落内や村内にとどまる者よりも県内
に嫁出している者が多いとはいえ、その嫁入先はやはり農業が多く、69%に及んでいる。

こうして農家では、その強制力は次第にうすれているとはいえ、同族としてのつながりがまだかなり
残っていて、春の田植、秋の収穫などに本家、分家、あるいは親類同志でたすけ合うことが今なお行わ
れている。

3. 農村婦人の社会生活

(1) 家族以外の者との交際



第13図

②表

村の婦人の生活は、幼時、少女、娘時代をへて結婚生活に入るまで、ほとんど村落のわくを出てお
らず、しかも結婚後はさらにきびしい家のわくにとじこめられるというのが通例である。ここから村や國
に対する社会意識など出てくる余地はほとんどない。5つの村において、40名の婦人に生れてから現在
までの生活経験をきいたが、学校時代の教師や友達と現在も交際のある者はごくわずかだ。結婚を境と
して次第に疎遠になつてゆく。たとえ隣の部落でも、積極的に交際するということではなく、道で偶然出
会えば話合う程度である。日常ゆきましている者は10%であるが、これもすべて同部落内のものば
わつて、農村婦人の交際圏が狭くゆるゆるに限定されているのを見ることが出来る。

結婚と共に、一家の縁として親類づきあいや隣づきあいかもきまることとなるが、村人との交際も
特に個人として親しくつきあっている者は8名、そのうち3名は親戚に当たっている。

他郷人との交際はきわめて少なく、40名中7名にすぎない。そのうち3名までが、他郷人とはいへ親
戚や姻戚である。

県外へ旅行した経験のある者は、40名中89名、そのほとんどが寺社参詣、物見遊山の旅である。

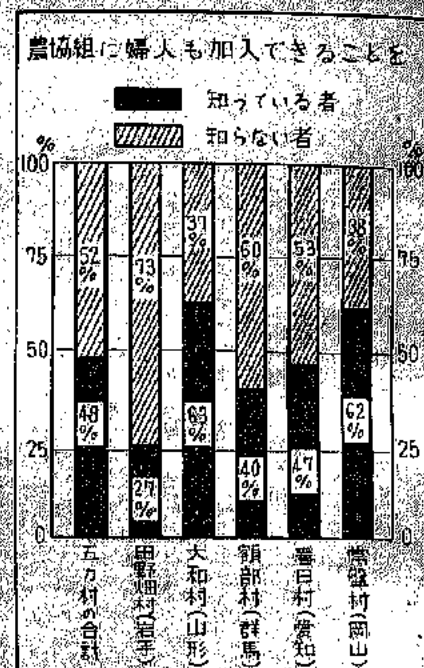
(2) 婦人団体や農協組に対する関心



写真8 婦人の会合—春日村(愛知)

村の婦人が家族以外の人と交わる機会として、現在、村には各種の婦人団体、青年会などがある。調査された5つの村にもそれぞれ年令階層や地域によって組織された念佛結、地藏講、御待合講、女人講などの講や、大日本婦人会の解体のあとをうけてできた地域的な婦人会があるが、このような婦人の集りさえ、個人の自由な集団とはいえない。婦人会への加入は、各戸一名というのが大抵どの村でも原則となつていようであるし、婦人たちは各々自己の属する「家」を代表して、団体の長や幹部の選定もまだ多く家の格がものをいうようである。しかし、「家」の延長であろうと、婦人たちにとってこれらの会合は唯一の社交場であり、はげしい労働から解放されて、当番の家に会合し、念佛や報告の終わったあと、持ち寄りの材料で一緒に食事をするのがなにより楽しいと中年以上の婦人はよくいうのである。そして、このときの話題は大抵、隣近所の噂話、最近きた妹の話などに終始して、およそ社会生活と呼ぶには程の遠いものである。

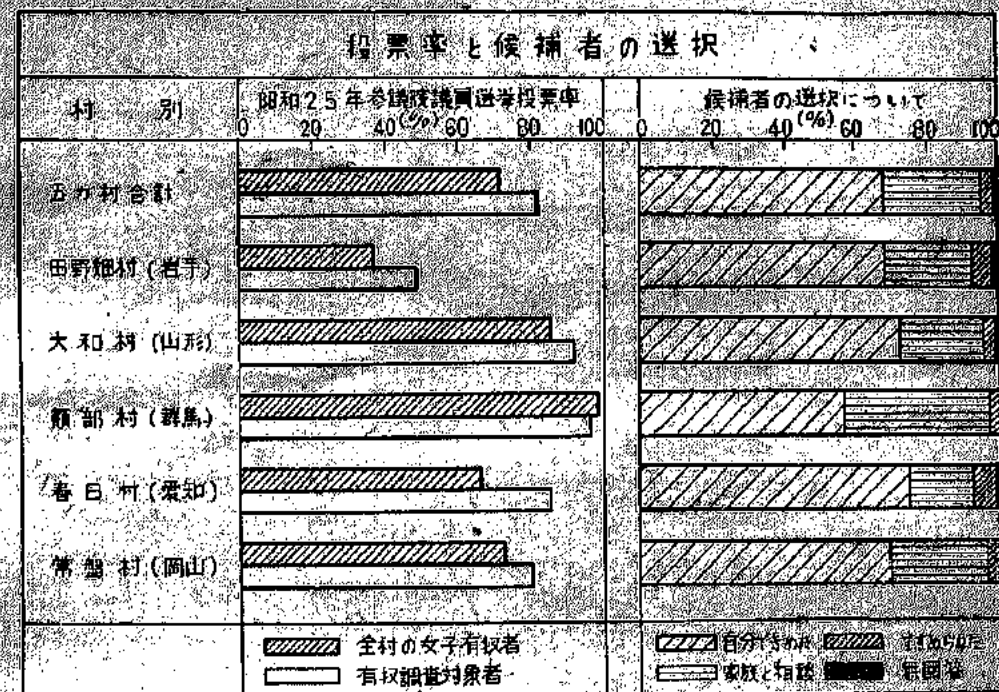
最近になって、生活改善グループや農協婦人部も各地で次第に活動化しているが、調査時には半数以上の婦人が農業協同組合に加入できることさえ知らなかつたほどで、農協に対する関心の低さをあらわしている。特に耕作がほとんど婦人にゆだねられている田野畑村(岩手)では、婦人も加入できることを知っていた者は23%で、他をひきはなして低率である。農業協同組合とはどういうものか、事業の内容等を知っていた者はさらに少なく、5カ村合計では40%であつた。



(意識調査結果第47表)

第14図

(3) 婦人の政治に対する関心



(意識調査結果第49表)

第15図

(意識調査結果第50表)

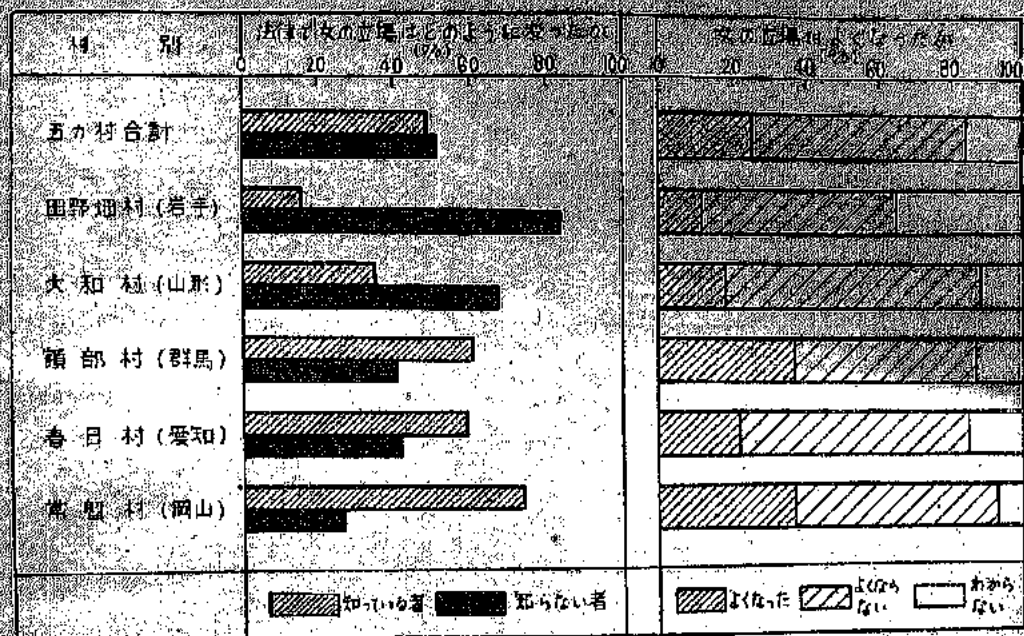
第16図

戦後の婦人の地位の最も大きな変化は、婦人が男子と同様に投票し、投票される権利を得たことである。しかし、この選挙を通して婦人も国や村の政治に参与することの大きな意義は、村の婦人にはきよく徹底していない。

昭和25年6月15日の参議院議員選挙の結果によると、全村の女子有権者の投票率は村によつてかなりのばらつきがあり、額部村(群馬)の80%を最高に、大和村(山形)86%、常盤村(岡山)79%、春日村(愛知)67%と順次下つて、田野畑村(岩手)では47%という低率である。意識調査対象者の投票率と全村女子の投票率とのくいちがいは、額部村を除いては、いずれも意識調査の結果の方が高い投票率を示しているが、これはサンプリリングによる要因や、棄権を恥ずかしいと考へて、よる行きの符名をした者が混つたためであろう。田野畑村を除いては、どの村も全国女子の平均投票率(66.7%)を上回つてはいるが、候補者の選択をどのようにしたかをみると、68%は自分で決めているが、あとは家族と相談27%、すすめられた者4%で、投票が婦人自身の判断によつてなされたと言いきることができない。

現在、24名の婦人議員が国会に、また約1,000名の婦人が全国の地方議会に活躍しているが、調査された5つの村には1人の婦人議員も出ていない。民生委員は田野畑村(岩手)に2名、大和村(山形)に2名、額部村(群馬)に1名が出ていたのみである。

「4」 法律に対する関心



(意識調査結果第51表)

第17図

(意識調査結果第52表)

第18図

第3部

村の婦人

(調査村の概要)

新しい法律が婦人の立場をどのように変えたかについて、村の婦人は、ほとんど関心を持っていない。五ヶ村合計では約半数の49%がこのことについて回答しているが、それも大半が「男女同権」と「参政权」について述べたもので、「家の廃止」とか「均分相続」「結婚や離婚の自由」など村の婦人にとって関係の深い民法の数々の改正や教育、労働などについて言及した者は、きわめて少ない。「男女同権」は、新しい法律の基底となる考え方ではあるが、今や一種の合言葉のように普及しているもので、そのまゝ法律の知識をあらわすものとは、必ずしも言い難い。「参政权」についても、単に選挙ができるようになった」と答えるのみで、被選挙権にも言及した者は稀であつた。法律についての関心は、東北の三村、特にラジオの普及率や新聞購読率の低い田野畑村(岩手)では低く、わずか16%の者が答えたのみであつた。

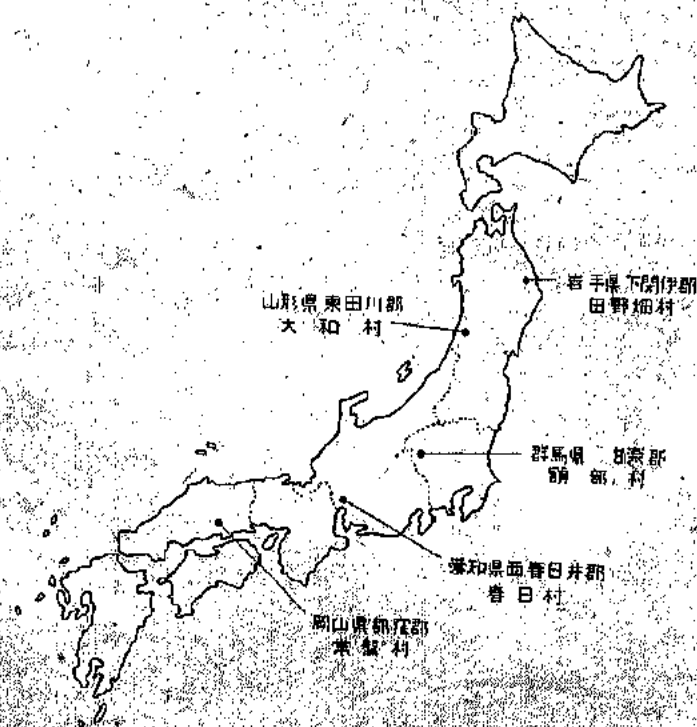
法律は変つても村の婦人の立場はよくなりえないというのが、大部分の婦人の声で、「よくなった」と答えた者はわずか25%、あまは「よくなりません」60%、「わからない」15%である。岩手の田野畑村では「よくなった」と答えた者は五ヶ村のうちで最も少く、12%、それも「選挙できるよになつたことだ」という答えが半ばを占めているのは、実生活に何の変化もないことがうかがわれる。

しかし、一部の村には「集会所に婦人も多く出るよになつたし、活潑に発言するよになつた」「嫁の七事が昔より楽になつた」「婦人の地位がみちめられてきた」と述べている者がおり、村の婦人にも次第に明るい未来が訪れできているようである。

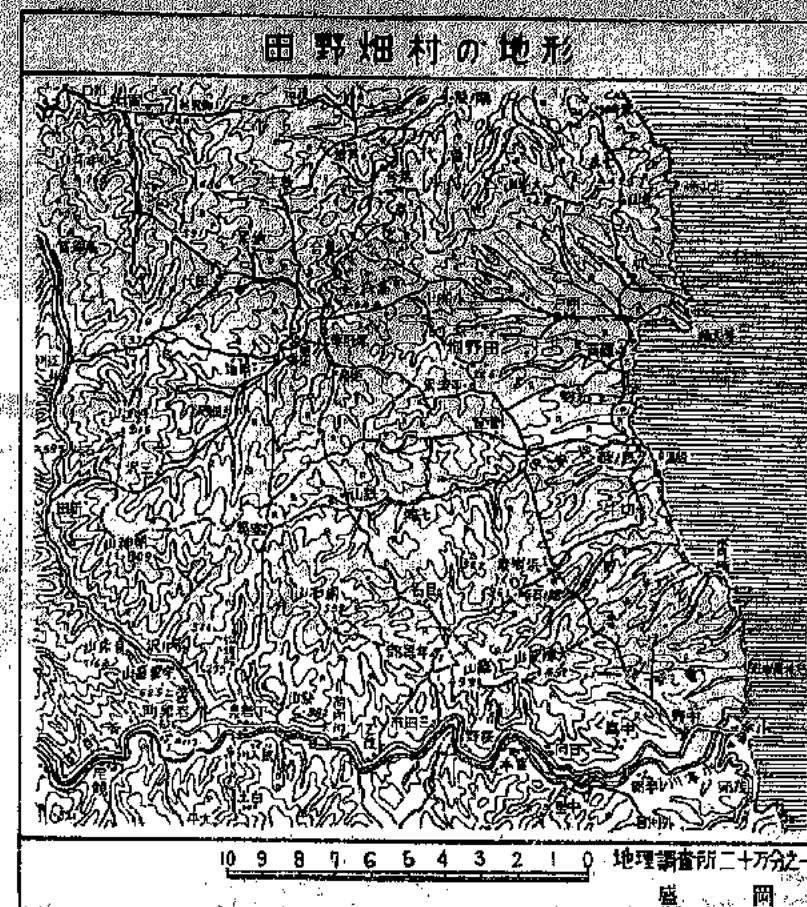
この項には、調査の対象となつた5つの村の概況と婦人の生活を、各村別に簡単に記した。村の婦人の生活は、社会的背景の相違によつてそれぞれ異つてゐるが、各調査村の位置および農業経営形態は次の通りである。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 米単作地帯 | 山形庄内平野——東田川郡大和村 |
| 2. 米二毛作地帯 | 岡山水田地帯——都窪郡常盤村 |
| 3. 養蚕地帯 | 群馬山間地帯——甘楽郡額部村 |
| 4. 商業的蔬菜栽培地帯 | 愛知名古屋近郊——西春日井郡春日村 |
| 5. 山間畑作地帯 | 岩手山村——下閉伊郡田野畑村 |

第19図 調査地点



1. 田野畑村の婦人 (岩手県下閉伊郡)



第20図

(1) 村の概況

田野畑村は北上山地の東北辺に位し、土地総面積 12,673 町という、小さな郡種の面積をもつ村であるが、山林原野が 11,025 町もあり、耕地面積は 580 町にすぎない。人口 5,333 人、世帯数 1,198 戸のうち農家戸数は 677 戸である。耕地の大部分が畑で、水田はわずか 10 町にすぎず、東北型の畑作農村を代表する村といふことができる。(1) 交通の便に恵まれない僻村であること。(2) 広い地域に 8 つの開拓部落を含む 27 の小部落が散在し、農業地が狭い反面、きつめて特化的であること。(3) きつした気候と劣った土質のために農業生産力が低いこと。(4) 農業を補うために「山」のせき「漁業」あるいは「牧畜」を兼営していること。しかしそれらの林産物や畜産物の商品化にも多くの不利な点があること。(5) 従つて経済的に恵まれないため、一般に生活水準がきわめて低く、文化的にもおぐれていること。——以上のような諸点がこの村の主な特徴としてあげられよう。この村には古い伝統に立つ地主勢力は存在せず、ほぼ平均した方の小農が各部落の根柢をなしている。しかし山畜りの地帯では、特産関係の商人的農民の支配力がかなり強みられる。

村の地形は一般に高原状で、数箇の谷をなして北上山脈が太平洋岸まで続き、開拓地帯のりるまで

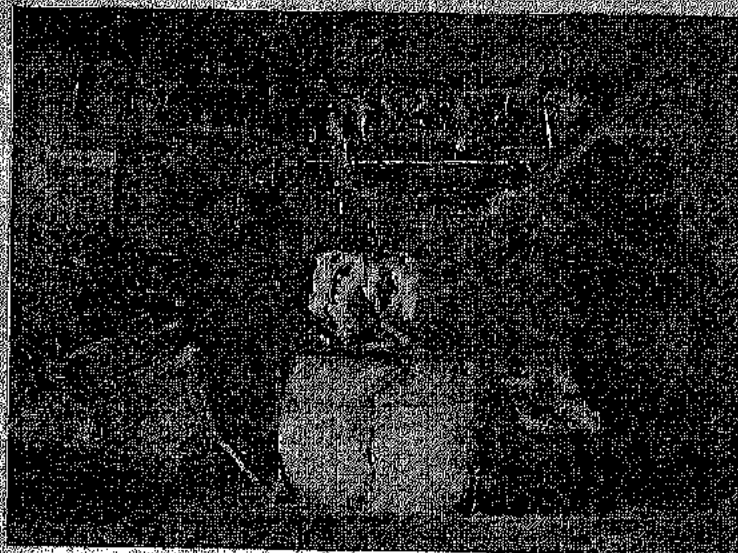


写真9 傾り屋の内部 合所から牛小舎を見る（昭和）

劣悪な土質が農作物に幸しない上に、農耕技術も低く、機械化は勿論、電力利用さえまだ一般化していない現状であるため、農業のみではほとんど生計を立てるに足りない。多くの家々の生計は、林、牧、魚のいずれかとの組合せで賄われている。

水田は終戦後はじめてのもので、主な農作物は麦類、豆類、ひえ、馬鈴薯である。これらの作物はほとんど自給食料と化し、商品化されることは少ない。ひえ作が多いことが特徴の一つであるが、これは主食であるほか、からを牛馬の飼料として利用することが考慮されている。

牧畜としては、牛、馬、山羊、豚、鶏などがあるが、乳牛が最も主要な畜産で、近年は酪農経営に転換を見出そうとする農家が増えてきた。牛乳は岩泉町に工場をもつ明治製菓会社に一手に買取られているが、生乳の価格は1升35円程度で（調査当時）、地理的条件が悪いため出荷にも不利な立場にある。しかし村人自体で製乳する力もないので、いわば大資本支配に黙従するよりほかはない状態である。

林業の主役は木炭製造で、近年の生産量は約20万俵といわれ、数人の木炭商が経済的にも政治的にも支配力をもつて村の最上層の地位を占めている。山林面積は1万町歩をこえ、林業資源もかなり豊かであるが、木材の搬出が不便なため、海岸地帯をのぞき、あまり商品として売出されない。杭木、枕木などの短材が多少生産されるにすぎず、用材生産高は8,200石程度である。

海岸には別荘、馬の越の2部落があり、漁業を主とする純漁村であるが、海岸に近い段丘上の数部落は、蟹のかたわら漁業を営んでいる。しかし海藻採取やイカ釣が主で、いわゆる磯取の範囲を占めている。

以上のような産業形態のため、村は海岸の漁業地帯、海岸上の段丘の半農漁地帯、村の中間の農牧地帯、山間の基村あるいは農牧林地帯の四つの地帯に分れている。

近頃と較ぶる面から見たこの村の現状は決して少なくはないが、生産力の低い農業はそれのみでは人々の生活を支え得ないの故、いさおや村人たちは、主として現金収入の源を他に求めている状態である。かつてはそれ以外の収入源は、田舎の生活であり、村の生活であり、また佃作や養蚕であった。今ではそれ

になつてはいるが、おやがにこの川の注ぎ口に部落を形成する余地がある。このように村が広く、地形も複雑であるから産業形態も各部落によつて異なっている。しかし農業、漁業、林業、牧畜業などいわゆる原始産業が主で、鉱業資源もなく、むしろ工場制の工業は行われていない。村人の大部分は一応農業を営んでいるが、気候が低く、太平洋から襲来する冷い気流と、

が乳牛飼養、木炭製造、用材生産などに努めてきている。一見おや村の生活が豊かに見えるが、それは外部の力に依存している。事実明治以後はめまぐるしい変化を経験してきたのであり、しかもその変化は活潑にみちみっていたといえる。僻村といえども、決して一般社会から断絶して平穩な生活を続けることはできないことを物語っているといえよう。

（2） 村人の生活

かつては麻、木綿、アイダ（山草）などの手織衣料を用いたが、綿布を買い入れるようになつてから次第に久しい。既製の洋服風のものを着るようになったのは太平洋戦後であるが、一般に衣服は戦時中の補充ができず、みすばらしい。殊に野良着はひどく、山形の大和村で見られたような、日本土産の紺の野良着さを見かけず、多くは簡便服風ののものにもんぺをはいているが、そのほとんどが、ぼろぼろなつていてという感じのものであつた。調査当時は、綿製品の不足と値上げのため、余裕に乏しい村人は、衣生活の改善をほとんど絶望的なものと感じていた。

主食はひえが主で、ひえ七分と米三分、あるいはひえ、麦、米をほぼ等量に混ぜたものが普通である。配給制になつてからはじめて米を食べるようになったという家庭もあり、小麦粉製品は御馳走に感じられている。副食は一般に自家栽培の野菜が主で、不便なことと経済的理由から、魚肉を用いることはまれである。調査の途次、魚を2尾手にした山寄りの部落の婦人と出会つたが、手洗の産日を祝うために、半日がかりで海岸の羅賀まで買出しに行つたとのことであつた。嫁入り後5、6年は実家から小遣を貰う習慣になつているこの村では、魚を買うことさえも独断でできるという妻は多い。要するに副食も簡単でまずしいが、ただ年中行事に伴う一定の「かわりもん」の食事（主として餅）が食生活の彩りとなつている。

年間労働暦（田野畑村大井事例）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	生活条件
主要労働者	主婦													
	大工													(世帯収入)
	農夫													・世帯収入
	農夫													・世帯収入
農作業種類	男													・世帯収入
	女													
雑作業種類	男													・世帯収入
	女													

■ 労働力低下期間 ■ 農作物生産期間 ○ 農業従事者

東北特有の曲屋形式の家が普通であるが、小屋住まいや、荒れ果てた家々の多いことが目立つ。一部には（本炭商、山林所有者など）相当の構えの家も見られるが、一般に、乱雑な居間、いりり端、馬屋に隣る炊事場、暗い床間等々、快い家庭生活の場とはいえない。専用の井戸を持つてゐる家は少なく、共同井戸さえないために流水を使用している家庭が相当見られる。しかしこの村なりに、ある程度の生活改善はこれまでにも行われてきてはいる。軒先を出して葺けた囲い縁、窓の設置、流し場の施設など。しかし一般の水準から見れば、充分に整つた住居をもつ家庭はほとんどないといつてよい。

前記のべたような産業形態であるから、婦人の労働も、部落ごと、あるいは各家々ごとに異なっている。半農半漁の部落では、男子がいか、あわび、わかめ等の漁に従事し、婦人は農作業のかたわら、それらを背負つて家まで運び、加工して岩泉や山間地帯に売りに行く。山寄りや山奥の部落では、男子が牧畜、炭焼き、林業等に従事し、婦人が農業労働に従っているのが普通である。比較的広い耕地を、ほとんど男子の手を借りずして耕作しているこの村の婦人の労働は、相当に激しいものであるにもかかわらず、収穫物が現金化されないために過小評価されている。零細農家では婦人も日雇に出るが、男女の賃金の差は甚だしく、調査当時の賃金は男子が200円、婦人が120円程度であつた。多は針仕事などの家事に従っているのが普通であるが、特に貧しい農家では、婦人も炭焼きに雇われて行く。忙しい農業労働の片手間に家事労働に従っていることは、一般の農村婦人と変わりなく、その労働の程度は、他の四県の調査村の婦人に比して、むしろ過重であるとさえ見られる状態であるにもかかわらず、辛くないといつてゐる婦人がこの村に最も多かつた。出産当日まで野良仕事を休まないのは、一般に農村に見られる状態であるが、この村の婦人たちは出産の場合も、ほとんど助産婦の手を借りることがない。助産婦は1,2の部落にゐるのみで、部落間が遠いため、利用できないのである。無医村でもあるこの村は、総じて教育や文化面でも最も恵まれておらず、上級学校在学者が、5つの調査村のうちで目立つて少なかつた。新聞やラジオのある家が少ないためもあるが、婦人はほとんどラジオも聞かず、新聞も読んでいない。



写真10 子供の成長と休むのが楽しみという農村婦人、田野畑村(岩手)

興行的な映画も全然見えておらず、神楽や（村内に神楽の発祥地といわれる部落があつて、正月には村中を巡回する）、無料の文化映画を少数の婦人が見ているにすぎない。多くの婦人は「おいしいものを食べる」とや、「子供の成長」を楽しみに生きているような状態で、趣味的なものに楽しさを見出している婦人は、さ

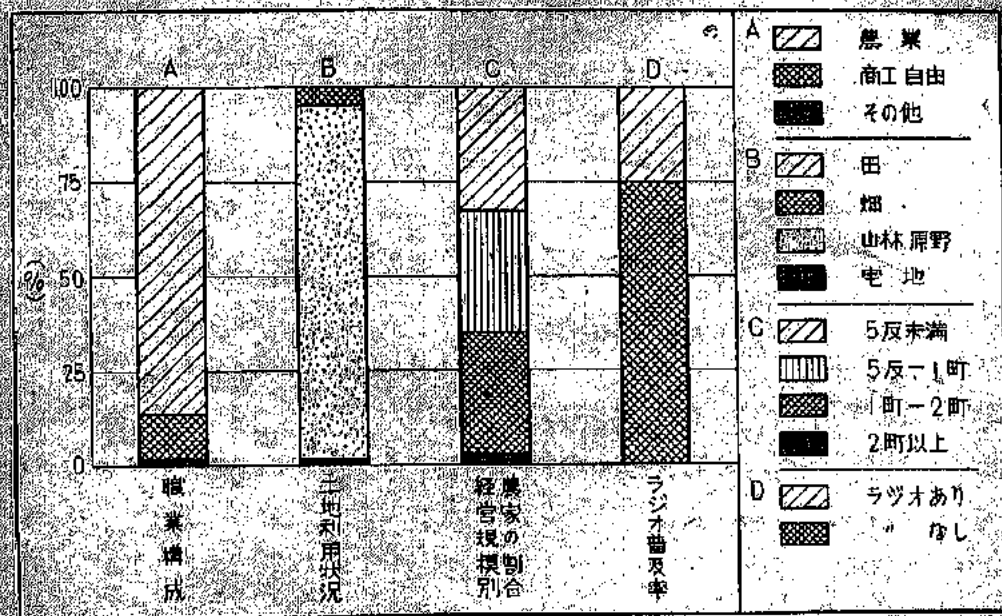
くわすかである。

村役場の布置が各部落の連絡員まで届くのに2日要し、小学校が5つ、分校が8つ存在するというような村であるため、田野畑村なる行政区域はあつても、それが村人の實際生活を律する社会集団の枠として働く力はあまり強くない。むしろ、村人の生活に大きい制約を与えるものは、部落という共同生活圏の枠である。婦人団体も、多くの村に見られるような全村的な組織をもつものは無く、海岸の漁業、半井戸の生産を対象とした親睦婦人会があるが、その活動は山寄りの部落にはほとんど知られていない。各部落では、PTAの社会学級が、教師の手によつて指導され、母親たちの啓蒙に使われている。母親たちがこれに対する関心の高さは、子供に対する愛情を契機として、彼女たちが社会的な場面に出て行こうとする傾向を見ることができる。40才以上の婦人は、念佛講員として、毎月の集りに参加している。未婚の婦人が参加できる組織としては青年団がある。農業協同組合は、全村にまたがる田野畑農協と、部落を単位とする酪農、購買、販売、林産の各農協、および数カ所に組織されている開拓農協がある。しかし交通の不便と資金難のため、少数の出資者に左右されている現状で、男子の活動すら活発ではない。女世帯主以外には、婦人の組合員もほとんどなく、役員は羽袋に1名、林産の農協に2名だけである。過重な農業労働と家事に追われている婦人は、農協への関心も低く、組合の事業内容を知らず知っている者はごくわずかである。それも、肥料や日用品の販売とか、麵類や菓子等の製造などのうちの一部を知っているのみで、農協の事業内容の片鱗を、少数の者が知っているにすぎないわけである。

このような婦人たちは、政治に対する関心もうすく、昭和25年の参議院議員選挙における婦人の投票率は、87.4%という低さである。これには、地理的條件に恵まれないため、選挙運動もあまり行われないことや、投票所まで片道2里というような不便さが、相当大きく影響していることも考えられるが、結論的には、婦人の意識の低さを現わしているものといえよう。法律や制度に対する知識にも乏しく、新しい法律で婦人の立場がどのように変つたか、ということを知っている者は極少数であつた。このことを、他の調査村との比較においてみると、「ラジオ聴取」や「新聞購読」の率と相関的であり、ラジオや新聞が、政治知識の普及や、社会常識の涵養に、大きな関係のあることがうかがわれる。大部分の婦人が、「法律は変つても、村の婦人の立場はよくならない」といつてゐる。家と部落を越えた広い社会との接触もほとんどなく、生活に対して反省や疑問をもつ余裕もない程、雑事に忙殺されているのが、この村の婦人の姿である。

岩手県 田野畑村 概況

総人口	5,635人	主要農作物	米、豆類、大麦、小麦、甘藷、馬鈴薯、米
総世帯数	1,198戸	役畜頭数	544頭
内農家戸数	677	1農家当り頭数	0.8
経営規模別		主要農機具台数	
5反未満	225	動力作業者	28
5反～1町	218	動力駆動機	25
1町～2町	215	動力耕種機	3
2町以上	19	畜力作業者(耕耘機)	10
土地総面積	12,576町	その他	
耕地面積	580	鉄	798
農家1戸当り経営面積	0.86	銅	710
土地利用別			
田	10		
畑	570		
山林原野	11,925		
宅地	71		



第22図

学校数	5	ラジオ聴取者数	252戸
小学校	5	新聞購読者数	250戸
中学校	1	投票率	
小学校卒業生	28(男18, 女10)	米 昨 年 (24.1.23)	男72% 女34%
新制高校		米 昨 年 (25.6.4)	男67% 女37%

2. 大和村の概況 (山形県東田川郡)



第28図

(1) 村の概況

大和村は山形県東田川郡の一角であり、村の中央を陸羽国境が横切り、東端に最上川が流れている。土地総面積1,128町のうち、耕地面積が910町、その大部分が水田である。

岩手の田野畑村とは対照的な地形的条件をもつ平野村である。人口4,288人、世帯数498戸のうち農家戸数は581戸で農家1戸当り経営面積は1町5反あり、5つの調査村の中では最も大きい。農作のできない単作地帯なので、経営は困難である。見渡す限りの水田に耕地整理が果敢に行われ、最上川の水を滑川村方面からとり入れた北橋大堰と吉田堰が耕地をうるおしている。耕地整理は明治から大正にかけて大々的に行われた。年々、「川駆け」とよばれる、最上川の氾濫による耕地の荒廃のために、恐怖にさらされていた連枝、沢新田の両部落が提携して荒地、沼地、畑地の土地改良を行って水田を作ったのが、耕地整理の契機となつたのである。最上川護岸工事、耕地整理、水利、開墾事業の遂行等によって、「川駆け」の災害を少なくすることができたが、この頃から土地の集中と階層の分化がかなり行われた。すなわち、これらの諸工事に要する各戸負担で充てられなくなった下層と、生産高、ひいては地主取分の安定に上層



写真 11 最上川の護岸工事—大和村（山形）

て、上昇する上層階級との差が大きくなつていっている。明治末期の資料には、10町歩以上の地主は現われていないが、大正11年以後は、土地所有農家総数が激減し、農地改革当時、古閑部落には、土地を持たない者が64%程あつた反面、100町歩近い大地主が数戸あつた。連枝部落には、それ程の大地主は存在しなかつたが、村外地主や支配人が権力をもつていて、小作人の社会的地位はやはり低かつた。農地改革後は地主の勢力も地に墜ちた感があるが、現在でも社会生活の面におお長年培われた地主对小作の封建的な主従関係から来るものの考え方が反映している。より多くの小作地を借入れて経営規模を増大することが、下層から中層への上昇を意味するこの地方では、必然的に小作料の引上げを結果したが、これに対して小作料適正化運動も行われた。また、人口問題解決のための二、三男の対策として、大館への分村計画がとりあげられ、この地方一帯にさきがけて、満洲への移民が実行された。現在は北海道に分村計画を樹て過剰労働力の解決を図る方としている。なお、農業技術や農家経営、さらに社会生活一般についても、合理的改善への意欲は、決して消極的ではない。これらの面では、山形県下でも、有数の活動的な村であり、電化、機械化の点では、岩手、群馬、愛知、岡山のどの調査村よりも普及している。しかし、全国的な視野から見れば、なお、時代の進展に伴わない遅れを、幾多の点で見出すことができる。たとえば「親方」という言葉が、妻が自分の夫を呼ぶ2人称に、常に用いられていることや、長男が二、三男よりきつたので優位を占めていることなどに示される。家族関係のあり方にも、それが見られる。また、農業関係でも、農家経営の多角化がいわれたが、実際には、供出米収入のみの農家が少なくない。そうしてこの点では、東北地方における水田単作地帯の農家としての、大和村の農業生産条件の反映が見られるのである。

産業としては、農業、それもいわゆる「庄内米」と呼ばれる、米の生産以外には見るべきものがない。米の他には、自給作物として豆類、甘藷、馬鈴薯が多少あり、農家によつては、小麦、菜種等を作物でいる。11月初旬に苗代の準備が始まつて、収穫の終るのは11月であるが、冬は雪が1、5尺も積るの程、田の裏作は困難である。やるうと思えばできないことはないが、そのために水稲の準備が遅れ、地力も消耗するので、労力に比して注がしい。秋は畑に小麦を栽培している農家もあるが、田は半年休ませているのが普通である。耕作は、20日前後の風と冬無事に過ぎれば、大林において数日であり、終

も比較的早い。米は現金作物として決して有利ではない上に、専作であるから、農家は一般に豊かではなく、収入の道を他に求めねばならぬ家が多い。小農は日雇によつて賃金収入を得ているのが普通であるが、冬の農閑期の副業として、薪炭を薪入たり、薪を薪を薪たりしてやりくりしている者もある。関東方面へ出稼ぎに行くことや、鉄道の除雪人夫に出たりすることも、冬期の若者の仕事であるが、最上川護岸工事の修理事業には、冬期以外にも従事している者がある。

要するに、米の生産に依存するより他に、産業の発展ものぞめない村であるにもかかわらず、土地不足のために、わがせ（若衆）にでも出なければ食えないという、多くの小農をかかえた村であり、それはかつて我国第一の大地主本間家を成立させ存続させたことと、良質の米とをもつて広く世に知られている庄内平野の各農村に共通する、特殊な社会的条件なのである。

（2）婦人の生活

紺がすりのみつか（仕事着）に黒木綿のもんぺ、こて、手甲、たかじょう（ゴム底足袋）が長装というものが、野良に働く婦人の姿である。殊に、日に焼けないために顔を覆っているのはなかわが特徴的。若い娘や嫁の場合は、藍絞の紐とたすきの赤い色が、ほとんど黒一色に見える仕事着姿を彩っている。夏の暑気簞には単服も着るが、外出着は老若ともに、ほとんど和服である。結婚後も年間位は、親家で全然新婦として貰えないので、嫁入り仕度には相当数の衣類をととのえる。

米どころなので、白米を常食とし、事ある毎に餅をつき、あられを年中保存しておく家が普通である。副食は主に野菜で、湯の浜方面から行商に来る魚を時折買う程度なので、婦人達は、野菜料理に油を使うことや魚の量をふやすことによつて食生活を改善したいといっている。8日に一度位しか食器を洗わない家庭が相当数あるが、これを改めたいという意見を表明した婦人は、100人の意識調査の対象者のうち、唯一人であつた。

煮炊の火が多く、牛舎は雪に囲まれている地帯なので、屋根の勾配が台で家の中は寒い。12月初旬までに、最上川の土堤に沿っている圃地の雪を刈つて（これを谷地刈りと呼んでいる）、家の雪用いや果樹の雪除けにしている。耕作に重要な役割を果たす馬に対する、北国の農民の思いやりからでもあろうが、岩手の場合と同様家の中に馬小屋があり、その隅が台所になつている。煮炊きは台所の隅にある炊事用のいろりや、もみがらでつく「もみかまど」などを使うが、煙突はほとんどない。これに対して、煙突をつけたいという婦人が少なく、ガスや電気を使えたらよいという意見が多いのは、農業の電化が進んでいるためであろう。



写真 12 作農衣の婦人—大和村（山形）

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

生活條件					
(常住世帯員)					
○世帯主 56才					
○妻 51才					
○長男 23才					
○長男妻 21才					
○二男 21才					
○三男 17才					
(耕作面積)					
自作田 28反					
畑地 3反					
計 31反					
(主要作付面積)					
水稲 28反					
小麦 1反					
茶 0.5反					
(養育)					
馬 1頭					
成鶏 6羽					
(主要農具)					
動力機 1台					
人力車 1台					
鋤 1台					
鍬 1台					
草刈り機 1台					
手鋸 1台					
目録表					

☐ 勞働力授下期間
 ☐ 農作物生育期間
 ☐ 農業従事者

第 2.4 图

相当大きな家でも独立した風呂場がなく、台所の流しのわきに風呂桶が置いてあつて、炊事用の流しのわきで風呂を流すようになっていた。きめられた日に部落の共有林に薪を取りに行つて燃料にしているが、それだけでは不足なので、最上川から拾つてくる流木や、もみぐらや、その他燃える物は何でも燃して用いるような状態であるから、婦人達は燃料の不自由さを真剣に訴えていた。

晩春から初秋までに比較的大きな面積を耕作しなければならないので、労働投下日数がつまっている。ため、農繁期には家族労働力では手不足で雇人を使っている家が多く、土地を持たない小作人の家などでは、婦人もめらし（海女）として他家に住込んだり通つたりしている。婦人の労働は男子とほとんど変わりなく、農繁期の労働は非常に激しい。これに対して半数以上の者がつらいといっているが、仕事をらくにするには働き手をふやすとか、機械や牛馬を使用すればよいという意見が多く、共同作業にはほとんどの婦人が反対している。11月頃から戸外の仕事がほとんどできなくなるので、婦人は漬物や干物などの家事に力をしむ。また花嫁などを織つて家計を助けている者もある。岩手の場合に比較すると現金収入の面で果している婦人の役割は大きいが、その経済的地位は依然として低く、家計の管理はほとんど男子がしている。

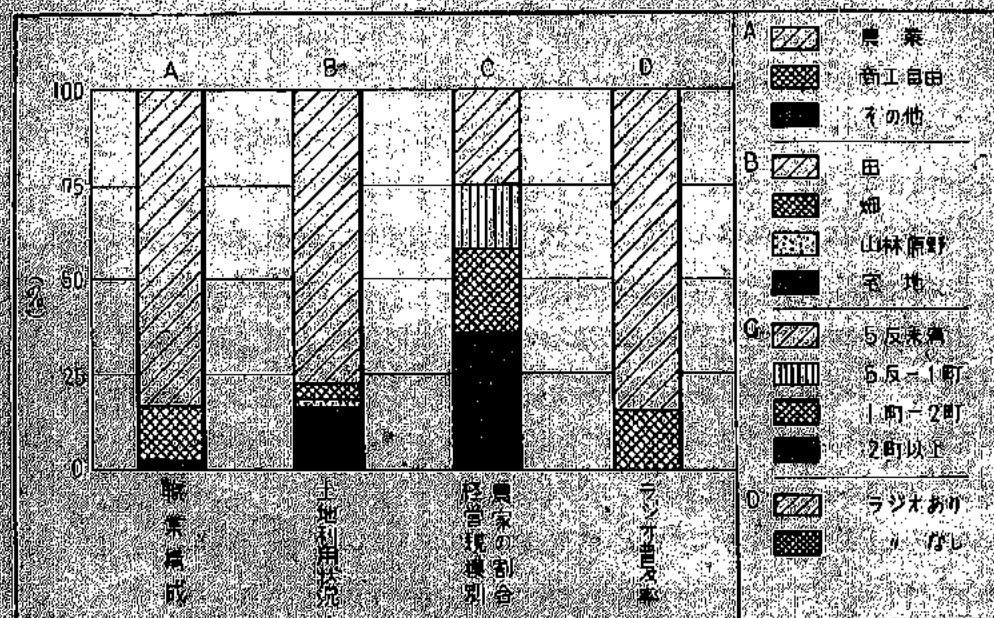
新聞の購読者数は岡山に劣るが、ラジオの普及率はどの調査村よりも高い。しかし婦人の聴取状況はこれに比例せず、岩手よりははるかに優っているが、他の3県の婦人に比べると、毎日聴いている者の率は低くなっている。芝居や映画も見ない婦人が大多数である。たのしみはやはり、「子供が大きくなつて嫁でもらうこと」などという、家族を中心とした生活的なものが多く、嫁の場合は、4月8日の節句や、6月10日の6月じょう(田植休み)、11月初旬の秋じょうなどに、実家に招かれることが大

きだれのしみのうでさあ

6つの調査村のうちで、地主が小作、半家半家関係等、土地を中心とした階層的な結びつきの最も強いこの村では、婦人の生活にも階級制度の反映が見られる。全村的な組織である大和村婦人会は、戦時中地主階級の婦人が役員になつていなが、戦後この役員達が辞任した後、8年間も後継者がなかつたという。これは中層以下の婦人にまだ指導力が育つていなかったことにもよるが、戦後の民主主義的な風潮から地主層が後退しても、家の格がものをいう風習が大きな要因になつていたと考えられる。現在は講演講習会、見学、旅行、共同募金などを一応行っている。子持ちの嫁の有志が参加している地蔵講、10才から50才までの有志の婦人の集りである御待合講、玄通寺僧家の中年以上の有志主婦で組織されている玉日講などがあつて、それぞれ年2回位の集会を開いている。婦人団体や講の構成状況等に特徴的な点も強いが、また一方意識調査の際、否定的な意見をのべた者は唯一名で他の村にくらべて著しく少なく、婦人団体を通して社会とのつながりをもととする機運も見られる。この村で注目されるのは、大和村青年団の約16名の男女団員が、村の二、三男の問題を解決するため、北海道天北原野の入植の予備調査に出かけたことである。経費の半額は村から出たが、半額は彼等自身、天北原野で、干拓の草刈作業に12日間従事して得た賃金をあてたという。大和村農協の組合員数1,007名のうち婦人組合員は162名(調査当時)である。この村の組合活動は、遠く明治45年に設立された有限信用購買組合時代から培われてきているといわれ、現在は肥料などをトラックで庭先にとりよけるなどのサービスの事業も行い好評を得ている。しかし婦人の関心は低く、女も加入できることを知っていた者は5か村のうちで最高を示していたが、活動内容についての知識は岩手についで乏しかつた。選挙権行使の状況は割合によく、昭和25年の参議院議員選挙の際の婦人の投票率は86%で、群馬の額部村についで高いが、この時の立候補者某氏の出身地であることが原因していると考えられる。法制についての知識を持つていた婦人の数は岩手についで少なく、投票率においてこの村より4.3%も低い岡山の常盤村の婦人の半数にも満たないのである。しかし新しい法律で女の立場がどのように変つたか、という問に対する回答の内容はこの村が最も多岐にわたつていて、「1名乃至3名ではあるが」、「家事審判所ができた」、「労働基準法ができた」、「男女同業になつた」とことをのべたのは、この村の婦人のみであつた。法律が変つても村の婦人の立場はよくならない、という答の最も多いこの村の婦人の地位は非常に低く、風呂に入るにも、男の常雇がすんでからバサン(祖母)がカ(母)が入り、最後をヨメが入ることになつている。長男はア、長女はアネと呼ぶが、二、三男は下の弟妹たちからも名前を呼びすでにされる程、封建的な家内関係の強く残っている村であつた。

山形県 大和村 概況

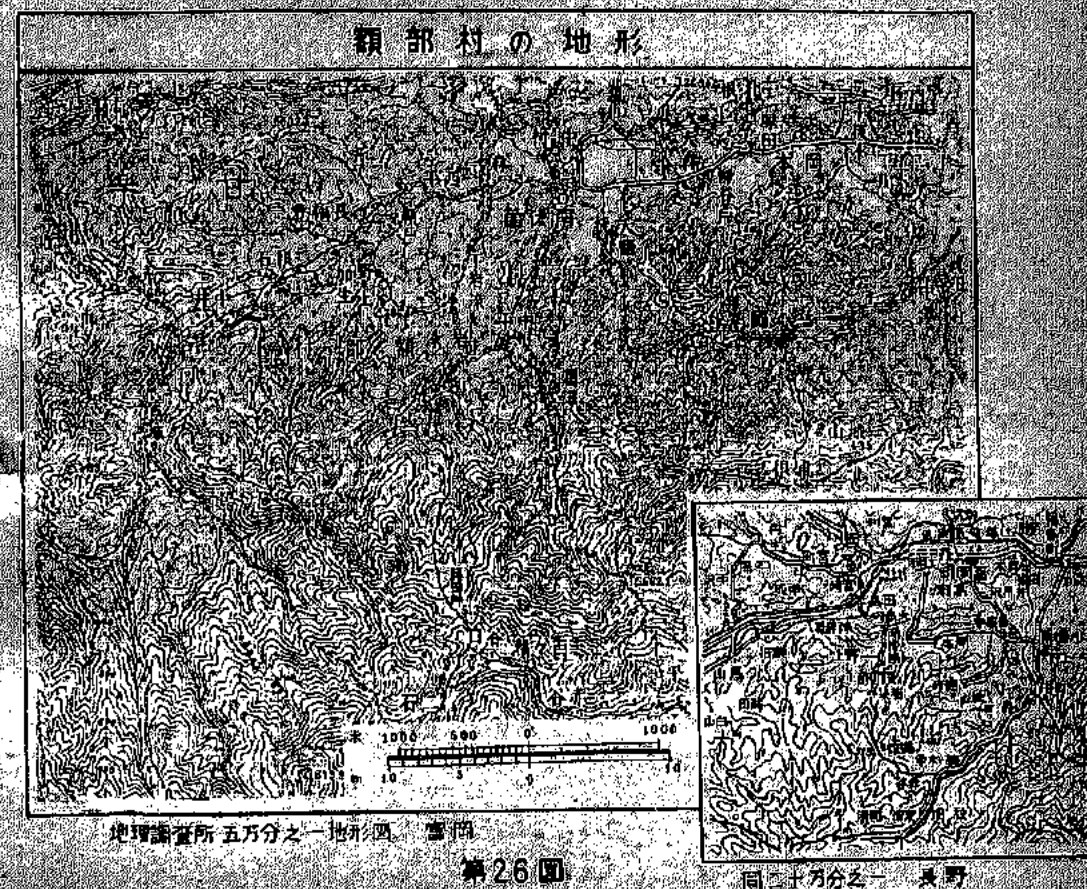
総人口	4,268人	主要農作物	
世帯数	699戸	米、豆類、甘藷、烏節薯、大麦、小麦	
内農家戸数	530	役畜頭数	305頭
5反未満	142	1農家当り頭数	0.5
5反～1町	160	主要農機具台数	
1町～2町	136	原動機	263台
2町以上	209	電動機	258
土地総面積	1,120町	石油発電機	5
耕地面積	910	動力作業機	326
農家1戸当り経営面積	1.5	動力脱穀機	266
山林、原野	870	動力製粉機	263
田畑	40	動力耕種機	7
山林、原野	22	畜力作業機(耕転機)	665
宅地	196	その他	
		家畜	850
		鶏	845



第25図

年 級	人数	ラジオ聴取者数	586戸
小 学	1	新聞購読者数	586戸
中 学	1	投票 男	24 (24.1%)
上級中学校生者	1	投票 女	20 (20.0%)
商業、専門学校	43名(男30, 女13)	投票 男	25 (25.0%)
大 学	5 (男4, 女1)	投票 女	4 (4.0%)

8. 額部村の概況 (前掲県甘藷部)



C12 村の概況

額部村は関東北部山麓地帯に属する1町で、酒田市の面が約25%、日本最初の製糸工場が建ち、常岡町へバスで30分、農業の中心地である酒田、仙台へ約1時間の地帯にあり、養蚕製糸の盛んな村である。利根川の一支流である甘藷川が谷に沿って丘陵地帯を東西に長く、村の東半は平坦で水田地帯、西半は山麓で浅い谷の谷間に集落が点在し、地帯であるが、集落は全村にわたってある。人口4,920人、世帯数792戸のうち農家戸数は407戸、これが1大字(同村)29の村落にわかれ、これらの小集落は村を貫通する県道に沿ってほぼ一直線に配置されている。気候はあまり温暖ではないが、田の二毛作は可能であり、冬の積雪もさほどでない。

耕地総面積498町のうち84町は畑で、耕作中心の山麓農村の特色を示している。農業以外には特に注目すべき産業はない。経営面積は比較的ひろいが、畑作地帯であるため、主食の自給出来ぬ農家が相当多い。しかし村全体としては米、麦と多少の余裕があり、ことに麦類の供出代金は、農家の重要な現金収入の源である。

この村の農業の特徴は甚だであるが、現在の桑園は158町(調査当時)で、麦類の作付面積は54町

い。これは戦時中から戦後にかけての食料不足の結果、桑園の多くが雑穀作の畑地に切り替えられたためであるが、それでもなお、これだけの桑園を保持しているのである。かつては養蚕はこの村のほとんど唯一の重要産業であり、農家では主食を購入してもなお、繭代金をもつて充分に生計を賄えたのである。現在養蚕戸は455で全農家の4分の3におよび、枚数量は15,148貫、1戸当たり平均約34貫である。養蚕は明治初年から盛んであり、以前は自家製糸による機織や質屋も相当に盛んであった。つまり、早くから貨幣経済の波に浸された村で、機織の好況、不況によつて経済的な影響を受けた。戦後再び養蚕中心へ移行する傾向を示しているが、昔日の状態に復するにはなおかなりの年月を要するとのことであつた。

村の東半部の農家は稲作と養蚕を兼ね、西半部は多少稲作もするが、大体麦その他の畑作と養蚕とを兼営する。一般に養蚕を兼ねる水田地帯の方が生活的には安定しているようである。なお農地改革の結果、129町の農地の所有に異動が生じたが、8町以上の解放地主はわずか5名（在村地主は2名）にすぎず、経営の実際面にはあまり影響はなかつた。

蔬菜作りをするにはやや市場に近いが、輸出用の花菜の種子作りなどを試みる者もあり、また乳牛も全村で50頭程度飼われている。これもまた多角経営への一つの動きを示すものであろう。戦後直後の農村インフレーションの波はこの村にも及んだが、今日では眞摯な気持ちで農業経営の確立を計ろうとする動きが見られる。しかし、その前途は必ずしも容易ではないようである。

東半部の水田、養蚕地帯では転出、転入があまり見られず家の変動が比較的少ないので、同族団（本家・分家）間の強い結合を保ち、これらが1個あるいは数個合して作られる小集落の結合も固い。家々の生活上の協同慣行も意外に古風で堅固に行われており、これが農業協同組合の基盤ともなっているようである。この同族的家連合や小集落は、社会生活の一つの枠として大きい力を料つてゐる。西半部には別荘者などもあり家の変動が多く、部落の結合は鬆弛であるが、東半部のような同族的家連合の古い形はかなり残っているようである。いかにせよ家と同族、ないしは親戚との結合、及び部落集団の結束力は、かなり強く個人生活を制約している。これにくらべると、行政村の枠が村民の日常生活に与えている力はまだ弱いように見受けられた。

(2) 婦人の生活
養蚕地帯の特徴として、家屋は蚕室に使用するため、



写真 28 養蚕地帯の家（前田）

年間労働暦

（須部村森谷戸事例）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
主業	木挽													生活雑作	(単位: 日)
	繭繰														
	大豆														
	甘藷														
	生薑														
副業	大根													雑作	(単位: 日)
	蚕														
	炭焼														
	男														
	女														
雑作	男													生活雑作	(単位: 日)
	女														
	男														
	女														
	男														

○ 労働力低下期間 ■ 農作物生育期間 ○ 農家従事者

第27図

め熱心である。二階建ての大きな構えの家屋が多く、昔日の隆盛な時代を偲ばせるが、現在の生活は益々過ぎるためか手入れが怠り、一般に荒れ果てた感じのものが多い。しかし養蚕のため住居の改善が促進されたことは事実で、通風・採光などは一般によいが、住居としては不必要に広く、希望の部分をあましてゐるようである。従つて改善意見としては、家が広すぎるから改良して住みよくしたいというものが最も多かつた。東南部の山寄りの字酒沢の浅カ入部落は水道が引かれているが、酒沢川はその名の示すように湧水地で、昔は飲料水にも困つたため、部落民が協力して水道組合をつくり、昭和3年3月完成したものである。この部落には生活改善に熱心な部落の有力者がおり、速く他県からも見学者が来る程の合理的な住居を持つてゐる。他にも相当合理化された台所や風呂場を備えた家が数軒あるが、部落全体としては、水道が引かれているように止まり、他部落がこの影響をうけて住居の改善を行っているというようなことも見受けられない。

主食は米、雑穀であるが、夕食は大抵、きりこみ（煮込みうどん）を食べる。水田のほとんどない
 四半部では、むしろ粉食が主体とみられるほど麦類の利用が多い。12月～2月以外の季節には、こじゆ
 うはん、（小遣飯）と称して8時～4時頃軽い食事をとるが、これは大抵はおききうどん粉に味噌で
 味をつけておね、丸く平たく形づくって鉄板で焼いたものか、馬鈴薯である。自転車で富岡へ出る便
 もあり、行商の魚屋も時折り廻ってくるが、副食はとては自給の野菜が主であり、食生活の改善意見
 もしては犬和村（山形県）と同じように、「もつと魚をふやしたい」「油類をもつと使いたい」が、経済
 的に困難だといっている。家計の管理は70%が男子の手であり、そのうち日常の生計費の出し入れま
 でも主婦に実権がなく、夫や舅姑が扱っている世帯が86%程ある。懇談会の席上で、「嫌天下だとい
 いますが、家の中はやはり専主関白ですよ」という婦人側の声があり、男子もこれを否定しなかつたこと
 が思いあわせられる。

前に述べたように養蚕は古くから行われ、初めは自給自足程度で自家で機を織っていたが、明治初年
 に村の中にマニエフックチユア式の工場ができて婦人の仕事となり、女が野外の農作業に従事すること
 はほとんどなかつた。その頃から製糸工女等の出稼はほとんどみられず、むしろ多くの養蚕専公人を他
 からも季節的に雇入れていたが、養蚕の衰微した今日ではほとんど家族労働のみに依存し、一般農村と同
 様田畑の仕事に従事している婦人の数も多い。仕事を楽にするための作業の協同化についての賛成者は
 51%で、5カ村の婦人の中で最も多かつた。

高校在籍者30名、大学在学者5名で、教育水準は農村としては中等程度である。ラジオ聴取率は
 低いながら、新聞購読率は5カ村の中で最も高かつた。家族の重なりが多い点などに、山形の調査村に
 似通つた封建的なものの残存が見られる反面、外界との接触も割合多く、時代の新しい動きには概して
 敏感であるという面も見受けられた。これは、電燈もひかれていない不便な山際の僻村がある一面、平
 和な交通の便もよく、商店的な農業生産を主とする村であるという条件が影響しているのであ
 る。婦人の意識調査の結果にもこの面が現われていて、「どんなことが一番あなたのしみか」という質
 問に対して「実家へ帰ること」と答えた者の率が5カ村の中で最も多いと同時に、新聞、ラジオ、映画、
 映画というような趣味的なものをたのしむという答もこの村が最も高率であつた。

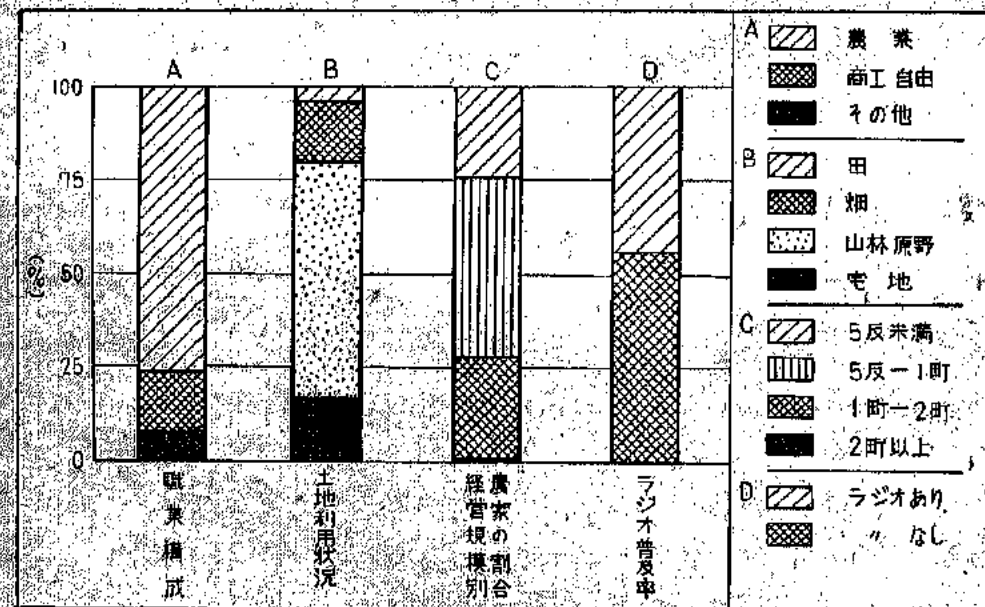
婦人団体は、相模村婦人休養会があつて、各部落に支部があり、大体各戸1人ずつ参加している。事
 業としては一般の地域婦人会同様、藤織会、藤織会、見学、旅行、共同募金などがある。また村役場、
 農協組、青年団との間に協議会をもつて、生活改善運動を行つてゐるが、これも各地にみられるよう
 に、組織的簡素化に近まつてゐるようである。しかしこの村の婦人会は、県の連合体に加盟して、村
 落の封建性を破ることに努力している。農村婦人の文化を高めようとする指導者の意欲は認められ
 るが、組織率の高い割合には一般会員の意識は高くない。婦人のための體であるを神廟では、部落各戸の
 主婦が参加していて、農閑期に互に回程度の集まりを開いているが、小学校の教師が集會に出席して講話
 や紙芝居による母親たちの啓蒙を行かつており、舊く近代的な婦人会との中間的な形態がみられる。
 男女青年をもつて組織されている青年団の活動では、非難すべきものはないが、青年の気分は比較的明
 るく、戦後の解放的な気分が感じられる。この村の農協協同組合の活動は活発で、役員も村民と密接な

つながりを持つ事業を盛んでいふことが感じられた。その後、優良農協組として表彰された組の組
 合であるが、婦人の農協組に対する関心や知識は高く婦人も組合に加入できることを知つてゐる者は40
 %で、田野畑村（岩手県）に次いで低かつた。活動内容に対する知識も、やはり田野畑村の次に低く、
 知つてゐる者は86%にすぎない。

このように農協組についての関心や知識の少ない婦人たちは、投票を通してみた政治への関心は、さ
 めめて高率を示している。昭和25年の参議院議員選挙に際しては、病気、出稼等のために棄権した者
 を除いて99.9%の者が投票している。前年の衆議院議員選挙の際、村から立候補した人を村中で落選し
 て以来、にわかに選挙に対する関心が高まつたということであつた。しかも候補者選択の態度について
 は問題があり、自分できめたという婦人は5カ村の中で最も少く、6%で、寧ろ相談してきめた者が
 40%もあつた。政治的関心は高まつていても政治的知識がこれに伴つていないことを示しているといえ
 よう。婦人に関係のある法制についての知識も決して高いとはいえないが、調査村の中では岡山の常盤
 村に次いで高く、60%の婦人が一応の知識をもつていた。法律に対する知識や理解は、大部分の者が
 「男女同権になつた」「参政権を得た」という程度の漠然としたもので、家の制度の廃止や、財産の分与、
 離婚の際の慰謝料の請求などに少数の者が言及していたにすぎないが、これはどの調査村にもみられた
 傾向である。新しい法律で現実に村の婦人の立場がよくなつたという答は、岡山の常盤村と同率で、他
 の3カ村に比して戦後の変化はいちじるしいようである。調査員に対する態度は、どの村の婦人よりも
 積極性と開放性がみられたのは、やはり群馬の婦人の特質であろうか。

群馬県 春日村 概況

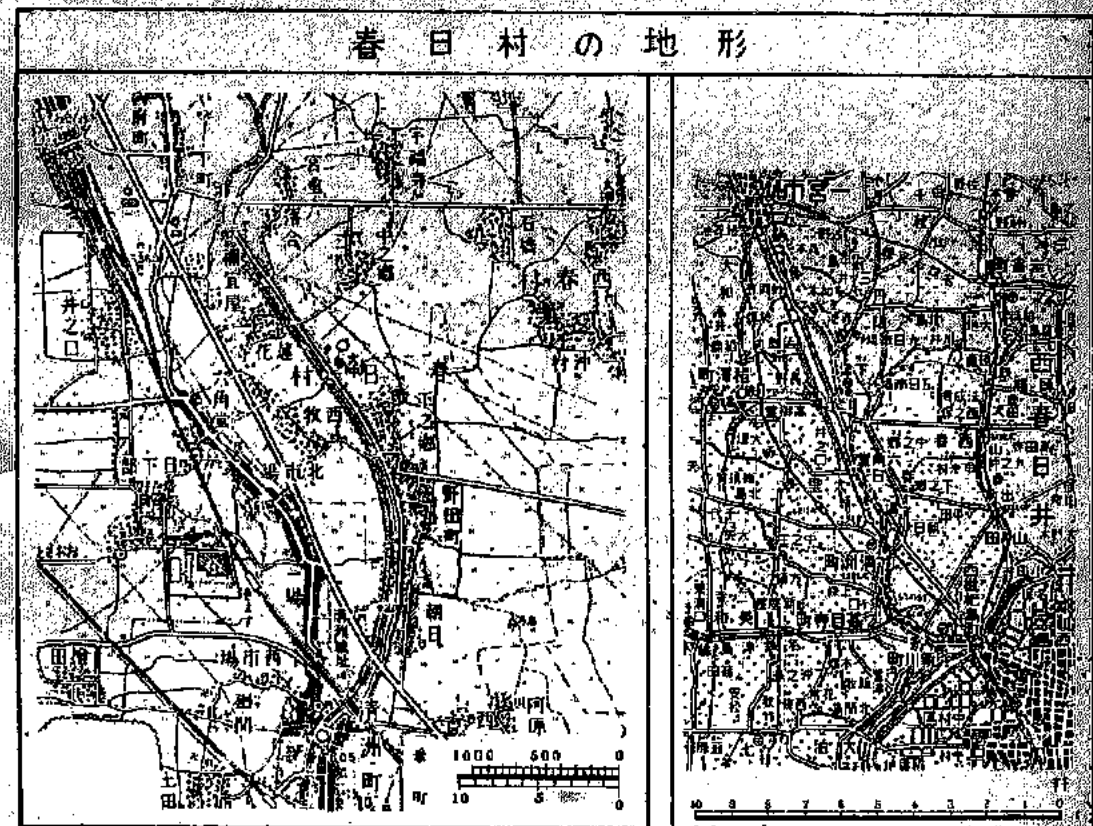
総人口	4,929人	主要農作物	米、小麦、大豆、甘藷、馬鈴薯、豆類
世帯数	792戸	役畜頭数	340頭
内農家戸数	607	1. 農業用頭数	0.6
経営規模別		主要農具台数	
5反未満	146	原動機	54台
5反～1町	299	電動機	49
1町～2町	166	石油発動機	5
2町以上	5	ジーゼル機	2
土地総面積	2,219町	軽油発動機	8
耕地面積	493	動力作業機	59
農家1戸当り経営面積	0.7	動力脱穀機	29
土地利用状況		動力稲搗機	26
田	95	動力耕種機	4
畑	344	畜力作業機(耕種機)	1
山林、原野	1,403	その他	217
宅地	377		



第28図

学校数	1	ラジオ聴取者数	352戸
小学校数	1	新聞購読者数	780戸
中学校数	1	投票率	
土教学校在学者	60(男49, 女11)	衆議院 (24.1.23) 男100%; 女100%	
新制高校	5(男5, 女0)	参議院 (25.6.4) 男99.5%; 女99.9%	

4. 春日村の婦人 (愛知県西春日井郡)



地理調査所五万分之一地形図 名古屋北郡

同二十万分之一 名古屋

第29図

(1) 村の概況

春日村は名古屋駅から北へバスで約80分、稲田信長を育んだ清洲に近く、濃美平野の蔬菜地帯にふさわしい、明るく豊かな印象を受ける村である。村の中央を木曾川から取入れた五條川が貫流し、用水として田畑をうるおしている。この川を境にして東側は水田の多い下之郷部落、西側は畑地の多い落合部落に分れているが、もとの両部落はそれぞれの独立した村であった。明治30年に合併して春日村が成立して以来、村の中央の林を開いて役場と小学校を建て、統一に努力を払ってきた。下之郷と落合は農業経営が異なるために利害が一致しない面もあるが、村として統合するために村長、助役の交替、村会議員の選出など、村政の諸方面に特別の配慮が示されている。落合は宮重、落合、福宜屋、蓮花寺、分地、新田、西牧の7部落、下之郷は上之切、中之切、下之切の3部落に分れ、318町の土地に、8,092人の人口を擁している。世帯数544戸のうち農家戸数は898戸で、1戸平均3.8反耕作し、全農家が蔬菜を販売しているという、典型的ともいえる商業的な蔬菜栽培の農村である。

水田は下之郷の東方に多く、すべて二毛作で、表作は米6俵、裏作は麦5.0俵が普通とされているが、この村の経済を左右する生産品は蔬菜である。このうち最も多いのは大根で、昭和24年の出荷

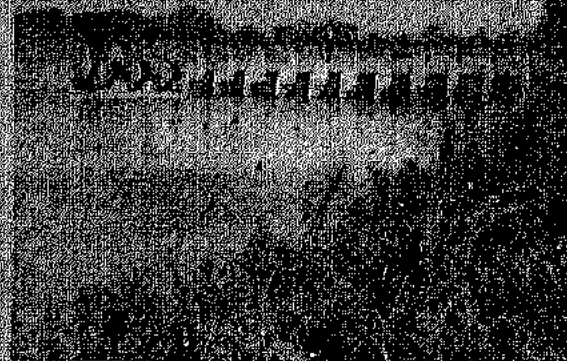


写真 14 五條川の畔—春日村（愛知）

屋市北郊西枇杷島町の青物市場へ運ぶ量を加えれば、販売量と収益は莫大なもので、最近まで農家の経済をさわめて潤沢にしていた。

蔬菜栽培は高度に集約化されていて、南瓜—大根—麦、あるいは、瓜類—ごぼう—ほうれん草というような三輪作が行われ、耕地を間断なく使うので労働の粗密が年間を通じて平均化されている。その点、労働投下日数の非常につまづいている山形県の大和村とは対照的な経営状態である。従つて家族労働の予備力を保有する必要がなく、二、三男や娘は家族労働の圏外にある者が相当にあり、名古屋市や清洲町に通勤している者も多い。

牧草地がないので肥料を大量に田へ踏みこんでいるが、このことは経営の零細性と共に被害の導入を固定にしている。現在では季節的に部落共同で牛耕を雇っているが、原動機、作業機も農業協同組合で数十台を所有しているにすぎない。

農地改革以前は五反以下所有農家が 100% に達していて、小作農が多かつたが、改革によつて五反以上所有農家が 80% に増加し、農家経済が全般的に一応安定に向つた。以前は大地主が権力をもつていて、五條川の堤のいりまもり（管理者）は代々世襲で古くがものじょうや（地主）がされに当り、配水に関しては勿論、利権生活に強い発言権をもつていた。

また、下之郷の区長、氏子総代等は近年までじょうや達が独占していた。地主は明治 19 年に地主会を組織し、経済的にも政治的にも部落全体を左右したが、これに対抗する小作運動もかなり活発であつた。ほんや（本家）としんや（分家）をいふところない、本分家関係も以前は緊密であつたが、今日では土地を分けて分家を出すことができないので、二、三男は名古屋へ出て独立する者が多い。

画では、977,000 貫の蔬菜のうち、各期に出荷される秋大根が 400,000 貫を占めていた。村の北端にある宮重部落の名を取つて呼ばれている宮重大根は、古くからその名が高かつたが、明治末年までは販路も近県に限られ、出荷量もさほどではなかつた。しかし第一次大戦による全国的な資本主義経済の進展に応じて、大正初年には出荷量が激増し販路も広まり、遠く朝鮮まで売出すようになった。さらに昭和初年に養蚕がすたれ、桑園のあとに換金作物として各種の蔬菜が栽培されるようになり、現在では大根の他に、南瓜、葱、秋ごぼう等を主に生産していて、出荷先は名古屋を筆頭に大阪、京都、神戸などである。各部落の出荷組合、春日村農業協同組合、西春日井郡園芸農業協同組合等を通じて集荷するほか、毎朝各農家がリヤカーで名古屋

2 軒も離れていない地点に清洲町があり、名古屋へ出る便もよく、毎朝蔬菜を市場へ運ぶついでに買物もできる。村内には駄菓子店、荒物店などが 12 戸あるだけである。また名古屋市や清洲町への通勤者も多く、大都市近郊村の特性をよく示している村である。

（2）婦人の生活

盛夏の期仕事に蘭草で編んだすだれのような形のかつばを背中につけて働く婦人の姿が特徴的であつた。大休夏の田畑に働く婦人の仕事着は、多く簡単服かじゆばんにもんぺ姿であるが、外出着や結婚支度に見る婦人の衣生活は、岩手、山形、群馬のどの調査村の婦人よりも豊かである。結婚支度は非常に派手で、嫁入り支度の少ないことが離婚の原因になり得るという程である。戦後の食糧難時代に蔬菜販売で巨額の収入を得たが、その金は生産や生活の合理化のためには使われず、多くは嫁入り道具や洋服の購入、あるいは離れ座敷の増築等に費消された。家は建築のしつかりした瓦屋根のものが多く、本屋は 6 畳あるいは 8 畳の土間に区切られ、これにつづいて台所や物置などがあり、本屋のわきに作業場、便所などが建てられているのが普通である。多くの家に離れ座敷があるが、座敷の入口に便所と並んで井戸のあることはあまり問題にされていない。このような家に住んでいる婦人の改善意見としては、大きすぎるからもつと狭くしたい、子供の勉強部屋を作りたい、便所を近くに作りたい、というようなことであつた。衣生活や住居にくらべると食生活は貧しい。農地改革までは畑の小作料も米で納入したので手許に米が少く、主食は米 2 割、麦 8 割程度のものではあつたのが、現在では逆の割合になつてゐるが、うどん、雑炊、おしと（すいとん）などで補充している。

来客の場合は牛肉や卵も使うが、日常の副食は味噌汁、野菜が主で、魚は月 8、4 回、というのが普通である。鶏を飼っている家は多いが、卵は専ら商品となつていて、自家で消費している例をあまり聞かなかつた。かつて無医村であつたが内科と外科の練開医を得て 2 軒の医院があり、産婆も 9 名いて、医師の視察によれば保健衛生状態は農村としては普通程度のものであるが、40 才過ぎの婦人には、「夜は字が読めない」と視力の衰えを訴えている者が多かつた。

さきに述べたように、機械化が進んでいないため植えつけの際の労働はきびしく、北国の農村のような冬ごもりの期間もないが、男女の労働にはほとんど差がない。その上にわずかの山林もないので薪を一年中の燃料にしていて、荒たきの場合は終始薪で火の番をしなければならないという状態であるため農業労働の他に家事を担当しなければならない婦人の負担は大きい。農繁期には朝（5 時頃）、小ひる



写真 15 “かつば”を着て蔬菜の手入れ—春日村（愛知）

年間労働暦 (春日村上之切集別)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	生活条件																																																																																		
主要農作物																																																																																																
主要農作物	水田													(常住世帯員) ○世帯主 51才 ○妻 41才 ○長女 18才 ○長男 16才 ○二男 9才																																																																																		
	麦													(耕作面積) ○水田 62反 ○畑 2.0反 計 64反																																																																																		
主要農作物	甘藷																																																																																															
	芋																																																																																															
主要農作物	大豆																																																																																															
	小豆																																																																																															
主要農作物	花生																																																																																															
	牛																																																																																															
農業作業種類	男	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り 草刈り	麦踏み 草刈り 草刈り

労働者労働期間 農作物生育期間 ○ 農業従事者

第30図

(10時頃)、ちやづけ(午後2時頃)、夕はん(午後9時頃)の4回食事を摂るので、野良仕事と炊事を受持つ婦人の労働の激しさと繁雑さは、都市の家庭婦人の想像外のものであろう。仕事を楽にするための協同化に対する反対論がこの村の婦人に最も多かったが、蔬菜栽培は品種の改良や出荷期などの面で互いに競いあう傾向が強いことが影響しているのかもしれない。「村が豊かなのは婦人が過重に働く結果であり、女が暇が前より早老なのについて反省している」という男子の声もあったが、婦人も経済的に寄与していることが判然としている割にはその地位は高くない。家計の管理は男子だけでしている場合が多い。しかし日常の生活費までも男子が握っているという家は少なく、誰ともきめず家内中でやっていると述べている家が、5カ村の中で最も多かった。

子女の教育には関心がうすく、通学の便がよいにもかかわらず、上級学校在学者は田野畑村(岩手)に次いで少ない。新聞購読率も田野畑村よりはるかに高いが、他の8県の調査村より低くなっている。しかしラジオの普及度は高く100%指定村になつていて、5つの調査村の中で最も普及率が高かった。意識調査の結果によれば、大都会に近いからか、映画をみた者の数もその延回数も、どの調査村の婦人よりも多くなっているが、本や雑誌を毎日読むという婦人は山形、岡山の調査村の婦人よりもはるかに少ない。また楽しみについても、意見のない婦人がこの村に最も多かった。

浄土真宗のさかんなこの村には、有志の主婦によつてつくられている法話をきくための大谷法話婦人会があつたが、調査当時は、各地に見られるような地域婦人団体は組織されていなかった。村当局が昭和

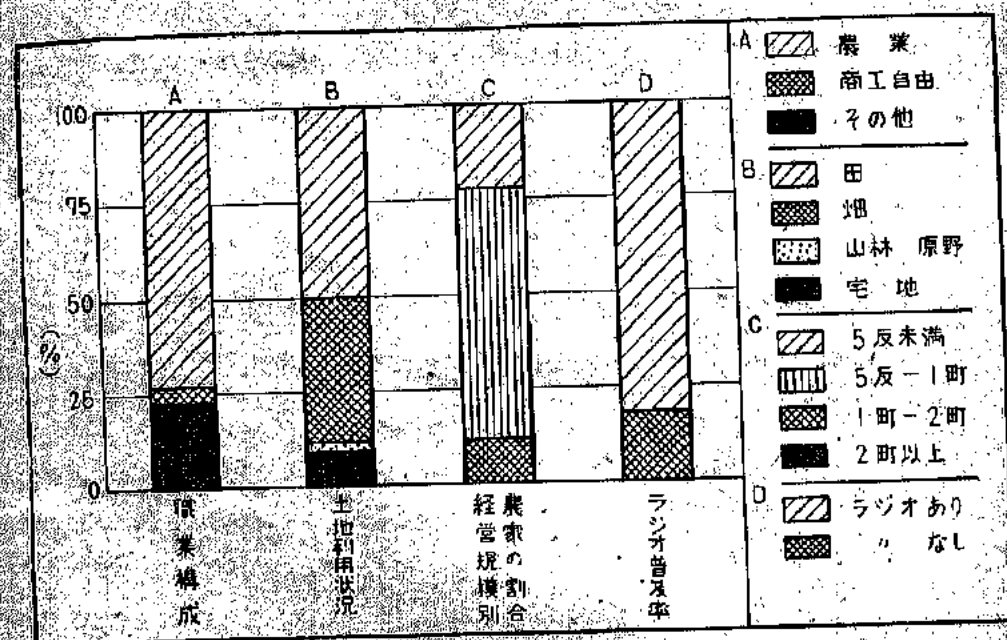
和24年9月以来、農休みの午後を利用して社会学校を開き、指導者教育に当たってきた。この社会学校は小学校長(婦人)が中心となり、村内で100人の婦人を部落戸数に比例して人選し、県内の有識者を招いて講演、座談会などを開催していた。調査終了後の懇談会席上で婦人会の必要性が語られ、結成の機運が見えていたが、のちに春日村婦人会が組織された。講組のつながりは固く、講中は毎月8回当番の家に集つて念佛の会を開き、報恩講を寺と関係なくつとめている。組中の葬式には一切をとりしきり、農事の遅れた家には手伝いに行く。「遠い親類より近い親類」という話もあり、この辺では講組が大きな役割を果たしている。これを背景に婦人のための「女人講」が行われ、年8回のお日待ちには持ち寄りの材料でお粥をし、にぎやかに談笑する。婦人たちの社交とレクリエーションの機会ともなるのである。組内に婚礼があれば、講のおなごしゅうはおちやよびにあずかるが、平素も互の関係をきわめて親密であるという。このほか少数の老女の「御詠歌講」がある。青年団では毎月1日と15日を農休みにきめ、この日野良仕事をした者からは罰金を取ることにしている。婦人も農作業はしないが、家庭内の仕事が忙しく、休養はできないようである。春日村農業協同組合や、西春日井郡園芸農業協同組合、各部落毎にある出荷組合などを通じて多量の蔬菜を出荷しているこの村の婦人としては、農協組への関心はうすい。組合の活動内容を知っている者の数は岡山の常盤村について高いが、多くは加工面をあげている程度であり、また組合に対する要望として「赤字だというのが経理面をもつとひきしめてやつてほしい」といつている者もあった。

政治に対する関心を昭和25年の参議院議員選挙の際の全村女子有権者の投票率で見ると、67%で田野畑村(岩手)について低い。意識調査対象者の場合は86.8%で常盤村(岡山)より高くなっている。この開きは額部村(群馬)以外のどの調査村にも見られたことであるが、この村の場合が最も甚だしく、偶然の要因もあるが、棄権を恥ずかしいことと思ひ、よそ行きの答えをした者が少なくなつたことも考えられる。しかし候補者の選択については、「自分できめた」という自主的な態度を示した者がどの村に最も多かった。婦人に関係のある法律についての知識をもっている者は、東北2県の調査村の婦人より多いが、常盤村(岡山)の婦人よりは15%、額部村(群馬)より1%低くなっている。その内容は他の調査村の場合とほとんど変わりなく、「男女同権」や「参政権」が大部分であるが、「憲法改正」がなくつた」という民法の改正点にふれた者は、1名ずつではあるが大和村(山形)とこの村の婦人だけであつた。戦後、法制は改正されても村の婦人の生活は別によくないという答が大部分で、よくなつたという答の中では、PTAなどの会合への婦人の出席がよくなつたことを挙げている者が多かった。

家族の重なるの少い点では5カ村の中で最も近代的な形を示しているが、経営や生活の合理化という点では、最も進んでいるとはいえない。また、この地方一帯は茶道のさかんな土地であるため、参入り前のたしなみの一つとして茶の湯を習ったという婦人は多いが、経済的に恵まれている割には、衣食住、教育教養などの面で、必ずしも高い生活をしていないといえないようである。

愛知県 春日村 概況

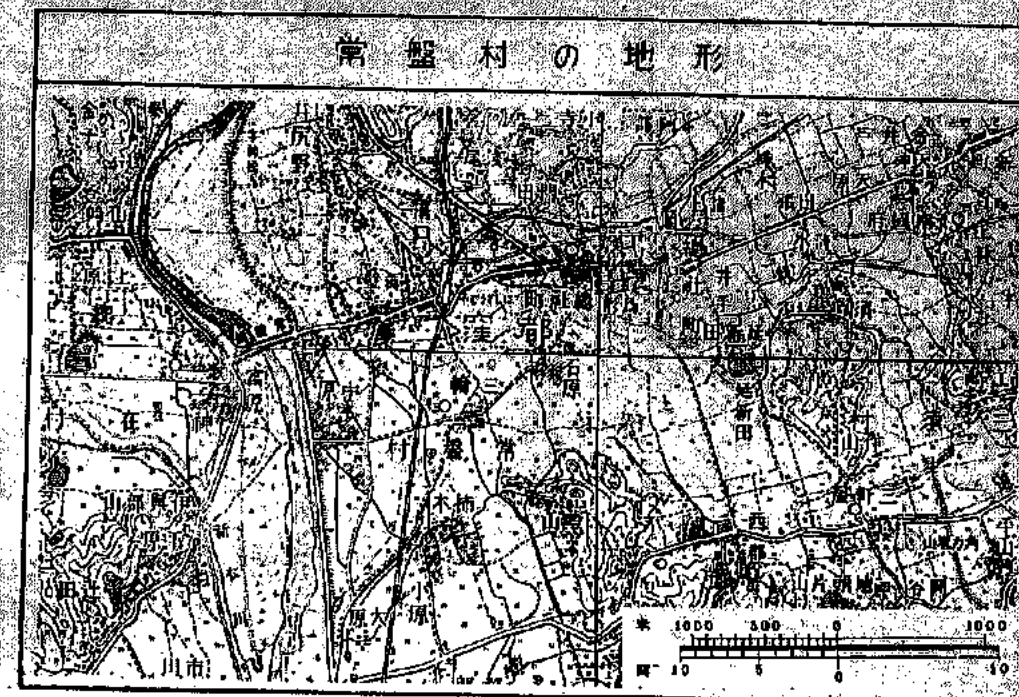
総人口	3,092人	主要農作物	
世帯数	544戸	大豆その他の雑穀、米、大麦、小麦、	
内農家戸数	396	甘藷、馬鈴薯、豆類	
経営規模別		役畜頭数	11頭
5反未満	90	1農家当り頭数	0.03
5反～1町	260	主要農機具台数	
1町～2町	46	原動機	49台
2町以上	0	電動機	47
土地総面積	318町	石積動機	2
耕地面積	280	動力作葉機	60
農家1戸当り経営面積	0.7	動力脱穀機	42
水田	158	動力剥穀機	18
山地	122	畜力作葉機(耕転機)	7
山林、原野	8	その他	
宅地	30	鉄備中	850
			1,400



第31図

小学校数	1	ラジオ聴取者数	450戸
中学校数	1	新聞購読者数	500戸
上級学校在学者		投票率	
新制高校	38(男26, 女12)	衆議院 (24.1.23)	男90%, 女73%
高等専門学校	3(男2, 女1)	参議院 (25.6.4)	男85%, 女67%
大学	1(男1, 女0)		

5. 常盤村の婦人(岡山縣津和野町)

地理調査所五万分一地形図 岡山南部、岡北部、高梁、五島
第32図

(1) 村の概況

常盤村は岡山平野の北に位する都窪郡の盆地の1農村で、岡山市から吉備線で約1時間、倉敷市から伯備線で約20分の距離にある西総社駅は、この村と総社町との境界にある。岡山南部からやま山より当るが、交通不便な山間の農村に比べると、はるかに都会化した、米作を主とする二毛作地帯で、関西型の集約的農業を営む村である。村の西端を高梁川が流れ、川から引いた用水溝が村の中を縦横に流れて田畑をうるおしており、旱魃を知らないという。全般的に平坦な418町の土地に、600戸、3,462人の人口を擁している。村は4大字(三輪、溝口、眞壁、中原)の部落に分れ、おのおの集約した集落を形成している。気候は温暖で地味もよく、畑も8,4種の輪作が可能である。6つの町会村のうち最も非農家の多い村で、農業を営む世帯は487、この中に更に兼業農家が103世帯あつて、日雇の仕事としている者もあるが、世帯主又は息子が教員、鉄道員、会社員などのような俸給生活者である世帯も多い。経営面積を見ると5反から1町未満の農家が最も多く、1戸当り経営面積は約8反である。

水田が多く特産品に蘭草があるが、中原部落はほとんど畑で蔬菜を主に作っている。隣接の総社町にはいくつかの製菓会社があり、かつては常盤行商を兼ねる農家が少かつた。農業は家族単位の小規模経営であるが、487戸の農家に対して原動機85台、作業機117台、畜力剥穀機805台の農機具があつて、農業技術の比較的進んだ地帯である。米、蘭、蘭類、蔬菜が主な作物で、487戸の農家のうち888戸は完全保有農家で、8ヵ月以下の保有農家はわずか12戸にすぎない。農家の副業としては蘭草栽培が

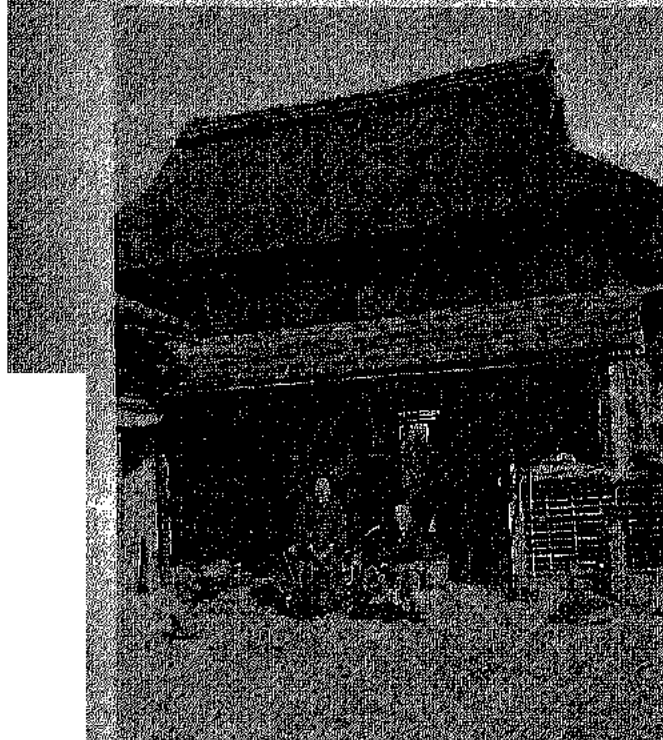


写真 16 農家の老夫婦—常盤村（岡山）

肉牛、乳牛の飼養などがあり、農業協同組合で牛乳処理場を運営している。かつては売薬行商が大きな稼口であった。農業経営の状態、非農家の混在のあり方は部落によつて多少異っている。

（石原）水田地帯で、米麦の二毛作を主とし、一部のザブタ（深田）では蕎麦を栽培している。

（三輪）上下両部落に分れているが、大体石原と同じく水田地帯である。

（下中原）水田が少なく畑作を主とする。牛、鶏、人参、甘藷、甘藷を多く作り、8、4種の輪作をする。以前は売薬行商をする者が多かった。

（上中原）耕地が少なく小農が多く、罐工品製造や日雇、行商に従う者が多い。

（溝口）農家約7割、他の8割は商店などであ

る。水田耕作を主とするが耕地が比較的狭く、日雇、行商に従う者も多く、以前は売薬行商に多く出た。

（真壁）農家約8割。田畑両様の耕作を主とするが、以前はやはり売薬行商がさかんであった。戦後やや復活しているが昔日の比ではない。

このように、以前は純農家の部落と、売薬行商を兼ねる半農半商の部落があつたが、戦後はかなり変化した。一般に過剰人口の増加は農家の生活を圧迫しているが、純農家の生活はまだ比較的安定している。調査当時紡績工場の招致問題が起り、村の生活の打開をはかろうとしていた。

なお、農地改革の結果、全農地の約半分に当る180町歩について所有名義の異動が行われた。10町歩をこえる解放地主はなかつたが、3町歩以上の在村地主29、不在地主15に上るので、地主にはかなり大きな打撃を与えたようである。その結果、かつて農家の過半を占めていた自作100、自小作85、小作101の構成は、自作181、自小作186、小作52になり、地主は105から48に減つた。しかし、農業経営の実際にはさして変化がなく、旧地主の支配力の源を覆えしたに止る。戦前も小作問題で大きな紛争を起したことはないらしく、概して平穏な村であつたと村人はいつている。

（2）婦人の生活

交通の便もよく、経済的にも比較的恵まれていて、5カ村の中で近婚圏も最もひろいこの村の婦人の生活は、すべての点で他の4カ村よりは近代的で明るい。作業着に困るという声はこの村でも聞かれたが、服装は全般にととのつており、中には都会的な感覚のものも見受けられた。食生活も比較的豊かで、牛乳は自家用としても相当消費しており、鶏卵と共によい栄養源となつている。主食は普通飯で野菜と共に大抵自給であるが、魚や肉を買う回数は他の調査村にくらべると多いようであり、農村として

は比較的よい食物を摂っているといえる。食生活を改善したいという婦人は調査対象者のうちの43名であるが、5カ村の中では最も多く、改善意見として、調理の方法を改めたいという者もこの村に多かったことは、他の4カ村より幾分高い生活水準を示しているものといえよう。なおこの村は、栄養指導村である清音村と隣りあつていたので、刺激を受けることも考えられる。住居も割合よく整頓しており、炊事用の「かまど」は相当に改良されていて、ほとんど煙突がついており、壁をかけた火をたくことができるように、高さについても留意されたものが多い。炊事に電気やガスを使いたいという希望は、田野畑村（岩手）以外のどの調査村でも聞かれたが、この村に最も多く、「都市で自由に使える電気やガスが農村では使えないというのは不合理だと思う。もつと都市と農村の生活を近づけたい」という都会生活の経験者もあつた。台所全体についてもこの村が最も合理化されているが、改善意見の中で、「調理台がほしい」とか、「窓を金網にしたい」とか、他の調査村では聞かれなかつた言葉を述べている者もある。住居全般についての改善意見の内容も程度の高いものが多く、「便所にふたをつけて汲取口をセメントにし蟻の発生を防ぎたい」「便所の臭気を抜く工夫をしたい」「水洗便所にしたい」「区切りのある押入れを作つて整頓したい」「子供の勉強部屋を作りたい」など、積極的なものが多かった。また、「自分の家では改善の必要はないが、全般的に農家はもつと通風採光の点などに留意すべきだ」という意見の者もあつた。

農閑期が比較的短く、男女共に農作業に従うので、一般に家事と重なる婦人の負担は重く、ことに畑作地帯は年中農作業に追われがちであるが、岩手、群馬、愛知の調査村よりは機械化、畜力化が進んでおり、山形の調査村のように耕作面積が広くないので、他の4カ村に比較すると、男女共に農業労働は幾分楽のようである。1世帯の平均人員は5人弱であり、調査対象者中の既婚婦人の子供の数も、5カ村中では最も少く、平均3.2人であるから、全般的に見て、家事労働も他の調査村の婦人よりは幾分軽いといえるのではなかろうか。農閑期の婦人の仕事として菓座、菰、麦稈真田等の農産物加工品製造があり、牛、綿羊、山羊、豚などを飼育している家では、家畜の餌を煮るのは大抵婦人の仕事である。男子が俸給生活者である兼業農家では、田畑の仕事はほとんど婦人の手にゆだねられているが、農閑期休暇があり、その期間は男子も手伝っている。「女の仕事をらくにするにはどうすればよいと思うか」という質問に対しては、この村の婦人が最も



写真 17 “おこし”を押し出す婦人—常盤村（岡山）

年 間 勞 働 曆 (常盤村中原事例)

[illegible]

☐ 労働力投入期間
 ☐ 農作物生育期間
 ○ 農業従事者

第33回

多く意見を述べており、その方法として、作業の協同化や託児所の必要性に言及した者があつたことは、他の調査村に見られないことである。この村でも、全体的な家計の管理は世帯主である男子がしている場合がやはり多いが、妻が管理しているところもあり、夫婦で、或は子供を除いた家族全部でしているという家庭もある。日常の金の出し入れは妻がしている家庭が最も多く、若い嫁の場合は姑が扱つているところもあるが、夫婦、姑と嫁、或は一家中でやつているという家庭もかなりあり、世帯主の男子だけが扱つているという例はごく少数であつた。

農家台帳から無作為に抽出した調査対象婦人 100 名のうち、中等学校以上を出た者が約 8 分の 1 あり、村全体が教育に熱心で、新制高校に学生 138 名、大学に学者 22 名という、農村としてはかなり高い教育水準を示している。全村の新聞購読率では額部村（群馬）に、ラジオ普及率では春日村（愛知）に及ばないが、新聞を毎日読んでいる婦人や、ラジオをよく聞いている婦人はこの村に最も多い。また調査した婦人のうち約 8 分の 2 が新聞の他に本や雑誌を読んでいた。

大正 10 年以前の歴史をもつ常盤村婦人会があり、元村長夫人である創立当時の会長が引続き活躍していた。部落毎に支部長、幹事をおき、農閑期には講演会、講習会、見学などを行っており、その存在や活動内容を知っている婦人は多いが、一般会員は幹部の指導に対して受動的である。かぶうち(同族団)を主体とした「部落」及び「村内」とよぶ地域的な団体を基本として、いろいろの面で協同生活が展開されているが、他の町村に見られたような婦人のための組織は組織されていない。中原部落には宝福寺檀家の主婦によって佛教婦人会が結成されていて、仕職が積極的に指導しており、月例の会合は法話とそのあとの会食を内容とするもので、情に類似しているが、会の機構は近代的な婦人会と同様である。男女合同の青年団の活動には制筆すべきものはないが、青年の気風は一般に堅実で、風紀上の問題も特にないという話であり、総仕町境にダンスホールがあることも、悪い影響を与えているという

とはいふようである。

この地方の商業中心地である越前町に隣接しているので、農業協同組合の所在地から遠い部落では、「農協は遠くて品物が少ないのであまり利用しない」というような否定的な意見も聞かれたが、農協組の活動内容に対する知識や関心は、他の調査村の婦人よりも高い。中には「農協の技術指導の面は昔からみると進んだ」という言葉も聞かれ、この村の農業技術が比較的進歩していることと、農協側の役割を真に理解している婦人のあることがうかがえた。しかし愛知の調査村の婦人と同様に「経理面をもつとひきしめてやつてほしい」という批判の声もあつた。

全村の婦人の政治に対する関心を昭和 25 年の参議院議員の投票率で見ると 72.3%で、特殊な事情のあつた頼部村(群馬)、大和村(山形)より大分低くなつてゐるが、全国平均(88.7%)から見れば、決して低くはない。

婦人に關係のある法律

のことを知っている者は74%で、5カ料中最も高い。これはラジオ聴取、新聞購読、読書などと相関性があるといえよう。

改正された法律の内容に

ついては、やはり他の調

査村の婦人と同様に、「男

と同権「参政権」という

ような答が多いが、離婚

の際の経費料の請求、お

よび結婚の自由について述べた者は、わずかながら他の4カ村より多かつた。法律は変わっても村の婦人の立場はよくなるまいという者の方が多かつたが、5カ村の中では額部村(群馬)と同等に、よくなったという声が多く聞かれた。その主な内容としては、「集会などで婦人も活潑に発言するようになった」「婦人の地位がみとめられてきた」「男子が婦人に理解をもつようになった」というようなことがあげられていた。このように、常盤村の婦人の生活状態や意識は、他の4カ村の婦人よりもきわだつて高く、東北の2村に比較すると、すべての点で大きな距りが見られた。

附記

調査当時、紡績工場の招致問題が起つていたことは、村の概況中に述べたが、その後このことが実現して、昭和 26 年に月産約 2,900 梱の生産高を有する大日本紡績常盤工場が建設された。所在地は甲府部落で、60,089 坪 70 の敷地を擁し、147 名の男子と 1,168 名の女子が働いており、村の生活に大きな変化をもたらしたと云える。



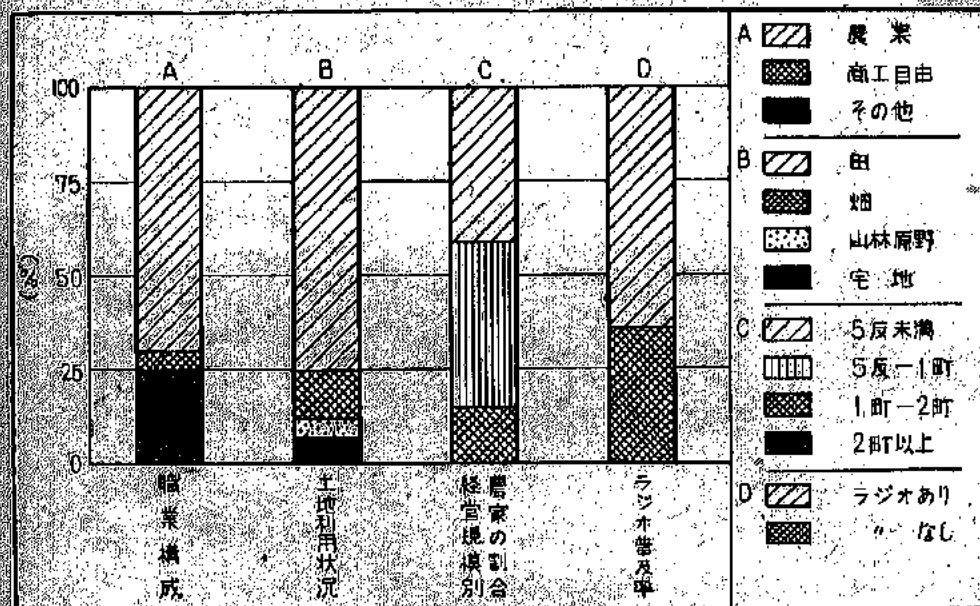
写真 18 秋 祭 市一井盛村 (岡山)

岡山県 常盤村 概況

総人口	3,482人	主要農作物	米、小麦、甘藷、馬鈴薯、大麦
世帯数	699戸	役畜頭数	209頭
内島家戸数	487	1農家当り頭数	0.4
経営規模別		主要農機具台数	
5反未満	199	原動機	85台
5反～1町	215	電動機	6
1町～2町	73	石油発動機	79
2町以上	0	動力作業機	117
土地総面積	418町	動力脱穀機	98
耕地面積	366	動力穀捐機	16
農家1戸当り経営面積	0.8	動力耕耘機	3
土地利用別		畜力作業機(持転機)	305
田	312	その他	
畑	54		
山林、原野	22		
宅地	30		
		総	2,500丁

第4部

結果の分析



第34図

学校数	1	ラジオ聴取者数	450戸
小学校数	0	新聞購読者数	600戸
中学校数	0	投票率	
上級学校在学者		衆議院 (24, 1, 23)	男84%, 女73%
高等学校	198(男85, 女53)	参議院 (25, 5, 4)	男82%, 女73%
大学	22(男18, 女4)		



写真 19 農作 築一田野畑村(岩手)



写真 20 縫製の支度をする老婦一田野畑村(岩手)



写真 21 刈藁にいたしむ婦人—常盤村(岡山)

第 4 部

結果の分析

1. 農業経営に占める婦人の役割

わが国の農業が世帯主はもちろん、婦人や老人、子供まで、働ける者のすべてをあげて維持され、その労働は婦人や子供によつてかなり過重であることは、前に述べたとおりであるが、ここにもこの問題をもう少し詳しく検討してみたい。

(1) 経営規模と家族構成

各調査村の土地条件、産

業、農業の経営形態などについては、すでに調査村の概要の項でのべたのであるが、ここに5つの村の経営規模を比較すると第8表の通りである。この表によると1町5反以上の農家は水田単作地帯の山形県大和村に46%ある以外、他の村にはわずかに岩手の田野畑村に18%、群馬の額部村に3%みられるのみである。

⑧表 経営規模別農家数

村 別	調査農家数	経営規模別							
		3反未満	3~5反	5~10反	10~15反	15~20反	20~30反	30~50反	50反以上
五ヶ村合計	499	59	62	204	90	22	45	17	-
田野畑村(岩手)	68	5	9	19	23	11	-	-	-
大和村(山形)	150	10	13	28	30	11	42	16	-
額部村(群馬)	108	14	17	60	14	-	2	1	-
春日村(愛知)	85	10	11	58	6	-	-	-	-
常盤村(岡山)	88	20	12	39	17	-	-	-	-
同 上 %									
田野畑村(岩手)	100	7	13	28	34	16	2	-	-
大和村(山形)	100	7	9	18	20	7	28	11	-
額部村(群馬)	100	13	16	55	13	-	2	1	-
春日村(愛知)	100	12	13	68	7	-	-	-	-
常盤村(岡山)	100	23	14	44	19	-	-	-	-
五ヶ村合計	100	12	13	41	18	4	9	3	-
1950農業センサス	100	24	17	32	16	6	3	1	-

(世帯調査結果第2表)

額部村(群馬)、春日村(愛知)、常盤村(岡山)の3村では1町以下の農家がいずれも80%以上を占めている。殊に蔬菜栽培を主とする名古屋近郊の春日村ではこの率は98%に上っているが、この村では5反から1町までの層が68%を占めていて、経営がこの層に集中している傾向がみられる。一方、山形県の大和村では1町未満の農家が34%、1町から2町までの層が27%、2町以上8町まで28%、8町から5町まで11%というように経営が広い幅に分散していて、春日村とは対照的である。

家族構成も村によつてかなりの相違がある。東北2村及び養蚕地帯の額部村(群馬)では1農家当りの平均世帯員数は、いずれも0.5人を超えているが、春日村(愛知)、常盤村(岡山)の2村では0.5人に満たなくて、はつきり1人の差がでている。家族構成の表をみても、単作地帯で耕作可能が大きく、労働の季節的変動のはげしい大和村(山形)では、同居家族に孫、育孫、祖父、伯父、叔父、妻の近親など、直系や傍系の親戚が多く含まれている上に、年輩などの非血縁者の世帯主1,000名に対して140名を

えている。これにくらべると、経営規模の最も小さい愛知の春日村の家族構成はつと単純である。今でこゝろの村の世帯主夫婦とその子、その他の直系親族及び傍系親族を抽出して、それぞれの占める割合をみれば第4表の通りである。すなわち、愛知の春日村では、全家族構成員を100とすると、世帯主夫婦とその子の占める比率は83%で、5カ村のうちで最も高く、近代的な夫婦を中心とした家族構成を持つているが、山形の大和村では、この率は78%で、傍系親族や非血縁者の占める率が他のどの村よりも高くなっている。このことは世帯内世代数についても同様のことといえるよう

④表 農家の家族構成

村別	五カ村合計	田野畑村(岩手)	大和村(山形)	細部村(群馬)	春日村(愛知)	常盤村(岡山)
世帯主	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
配偶者	871	882	886	870	859	852
子	2,733	3,117	2,613	3,220	2,517	2,250
子の配偶者	280	338	326	333	176	193
孫	515	617	680	713	224	193
孫の配偶者	2	-	6	-	-	-
曾孫	4	-	13	-	-	-
父母	106	90	33	139	141	170
祖母	342	294	400	324	318	330
祖父	12	14	6	18	-	23
兄弟姉妹	230	73	307	324	211	125
兄弟姉妹の配偶者	6	-	6	9	12	-
いとこ	6	-	-	9	-	23
甥姪	26	29	46	9	12	23
甥姪の配偶者	4	-	13	-	-	-
伯叔父母	12	-	20	9	-	23
妻の近親	26	-	66	-	-	34
年寄	52	58	146	-	-	-
平均世帯員数	6.23	6.52	6.58	6.98	5.47	5.24

(世帯調査結果第9表より作成)

である。大和村(山形)では2世代以下の世帯は40%で、60%が3世代以上の重りを持つ世帯であり、4世代が含まれている世帯も4%に及んでいるが、春日村(愛知)では、2世代以下の世帯は58%で、

⑤表 家族構成員の割合

村別	五カ村合計	田野畑村(岩手)	大和村(山形)	細部村(群馬)	春日村(愛知)	常盤村(岡山)
全家族構成員	3,109	443	986	754	465	461
世帯主夫婦とその子	2,438	363	724	586	397	378
その他の直系親族と配偶者	490	69	171	129	58	63
傍系親族及び非血縁	181	11	91	39	20	20
同上	%	%	%	%	%	%
全家族構成員	100	100	100	100	100	100
世帯主夫婦とその子	79	82	73	78	83	82
その他の直系親族と配偶者	16	16	18	17	13	13
傍系親族及び非血縁	5	2	9	5	4	5

(世帯調査結果第9表より作成)

⑥表 世帯内世代数

村別	調査農家数	1	2	3	4
五カ村合計	499	26	213	248	12
田野畑村(岩手)	68	4	29	33	2
大和村(山形)	160	4	56	84	6
細部村(群馬)	108	7	42	57	2
春日村(愛知)	85	5	44	35	1
常盤村(岡山)	80	6	42	39	1
同上	%	%	%	%	%
五カ村合計	100	5	43	50	2
田野畑村(岩手)	100	6	43	48	3
大和村(山形)	100	3	37	56	4
細部村(群馬)	100	7	39	50	1
春日村(愛知)	100	6	52	41	1
常盤村(岡山)	100	7	48	44	1

(世帯調査結果第10表より作成)

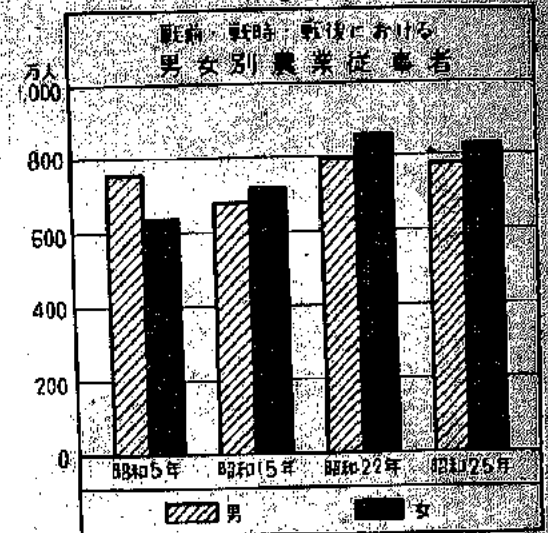
4世代の重りのある世帯は1割である。しかし、家族構成が最も単純である春日村(愛知)である。世帯内に3世代以上の重りを持つ世帯が42%あることは、わが国の家族構成の特質が農家において特に顕著であることの事例として注目されるべきであろう。

(2) 婦人の農業従事者の程度と家事の負担

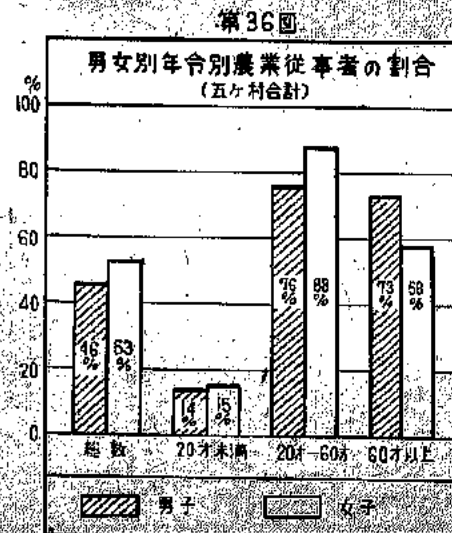
以上のように農家はその経営を維持するために多くの家族労働力を保有するが、農村の婦人はどれだけ経営に参加しているであろうか。

国勢調査の資料によつて全国の農業従事者数の推移をみると、第2次世界戦争の影響がまだ少ないと思われる昭和5年には、農業に従事する婦人の数は640万で男子より約120万下廻っているが、この数字は戦時中から次第に増加して、太平洋戦争に入る前年の昭和15年には男子の数を凌ぎ、昭和22年にはこの差はさらに大きくなって、婦人の農業従事者数は800万に達し、男子の農業従事者数を約60万超過している。軍務や重工業の比重が大きくなるにつれて男子の離村が多くなるが、そのあとを承けて農家の婦人がいかに農業経営を維持するために努力したかをこれらの数字は示している。この傾向は調査時においてもあまり変わっていない。調査村における婦人の農業従事者の割合は5カ村とも男子より高く、20才以上で農業に従事する者は男子では77%であるが、女子では88%である。これをさらに年齢階層別にみると、20才から60才までの働き盛りにおいて婦人が農業に従事する割合はつと高くなり、5カ村合計の数字では男子70%、女子88%となつている。村別では蔬菜地帯の愛知県春日村はこの差が最も顕著で、男子56%、女子92%で86%の

第35図



(国勢調査資料による)



(世帯調査結果第13表)

この差が最も顕著で、男子56%、女子92%で86%のひらきをみせている。

これらの婦人が男子と共に年間の労働をどのように分担して農業経営を行つているかは、それぞれの村の項でのべたとおりであるが、いずれの村においても機械の操作や「しろかき」「馬耕」など畜力を利用する仕事、その他重労働に従事することは少ないとしても、労力を多く必要とする作業にはほとんどすべて婦人も男子と同様に従事している。殊に1本の苗、1粒の米をも無駄なく利用して収益をあげねばならないわが国のような集約的農業においては、婦人の働きがいには重要な役割を

②表 男女別年齢別農業従事者の割合

村別	農業従事者の別	男				女			
		子				子			
		総数	～20才	20～60才	60才以上	総数	～20才	20～60才	60才以上
五カ村合計	総数	100	100	100	100	100	100	100	100
	従事している者	46	14	76	73	53	15	88	58
	従事していない者	54	86	24	27	47	85	12	42
田野村(谷手)	総数	100	100	100	100	100	100	100	100
	従事している者	43	16	73	80	52	19	82	71
	従事していない者	57	84	27	20	48	81	18	29
大和村(山形)	総数	100	100	100	100	100	100	100	100
	従事している者	50	20	85	58	53	21	87	37
	従事していない者	50	80	15	42	47	79	13	63
額部村(群馬)	総数	100	100	100	100	100	100	100	100
	従事している者	52	12	88	83	53	14	90	84
	従事していない者	48	88	12	17	47	86	10	16
春日村(愛知)	総数	100	100	100	100	100	100	100	100
	従事している者	39	9	56	82	54	10	92	69
	従事していない者	61	91	44	18	46	90	8	31
常盤村(岡山)	総数	100	100	100	100	100	100	100	100
	従事している者	40	6	66	64	52	5	88	47
	従事していない者	60	94	34	36	48	95	12	53

(世帯調査結果第13表)

はあくことのできないもので、田植、草とり、蔬菜手入れ、養蚕などのこまかい仕事はすべて婦人の手を必要としているし、農閑期のわらし作り、岡山の麦稈さなどあみなどほとんど婦人の仕事である。

婦人にとっては、さら

④表 家事の分担 (五カ村合計)

にその上に家事作業が加わるのであつて、このために婦人の労働は一層過重になつてゐる。五カ村で調査した472戸の農家について、炊事、洗たく、裁縫などの家事が家族員の間にどのように分担されているかをしらべた

家事担当者	炊事	洗たく	裁縫	掃除	子育て	%				
						炊事	洗たく	裁縫	掃除	子育て
調査農家数	472	472	472	472	472	100	100	100	100	100
妻	295	237	231	188	105	62	50	49	40	22
母	47	17	9	21	71	10	4	2	4	15
娘	38	63	56	44	8	8	13	12	9	2
娘	23	48	59	65	13	5	10	12	14	3
その他	2	6	8	56	52	0	1	2	12	11
二人以上で	64	98	104	95	81	14	21	22	20	7
不明	3	3	5	3	192	1	1	1	1	40
内 男子の手伝う家	(1)	(1)	-	(1)	(18)	(0)	(0)	-	(2)	(4)

(世帯調査結果第25表より作成)

⑤表 家事の負担

村別	家事負担の程度	総数	農業従事者	一人でする者				二人でする者				三人でする者			
				一人でする者	二人以上	三人以上	四人以上	一人でする者	二人以上	三人以上	四人以上	一人でする者	二人以上	三人以上	四人以上
				数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数
五カ村合計	妻母娘	447	420	295	63	237	82	20	94	135	76	109	22	11	4
	妻母娘	171	109	47	27	17	29	56	29	21	22	18	8	3	1
	妻母娘	119	115	38	17	63	27	56	29	44	18	29	13	3	1
田野村(谷手)	妻母娘	61	58	39	16	20	22	21	35	13	16	10	5	3	1
	妻母娘	20	11	2	4	1	3	5	5	1	4	5	6	1	1
	妻母娘	19	19	3	7	5	10	1	12	4	5	10	6	1	1
大和村(山形)	妻母娘	137	126	101	7	77	16	73	15	58	10	43	2	2	1
	妻母娘	60	30	23	3	5	6	2	7	8	5	22	1	1	1
	妻母娘	43	40	8	1	25	5	29	3	19	1	1	1	1	1
額部村(群馬)	妻母娘	96	92	65	1	53	6	48	5	43	3	29	2	1	1
	妻母娘	37	32	8	-	4	2	2	2	4	1	19	2	1	1
	妻母娘	29	29	19	1	18	4	11	6	11	4	2	2	1	1
春日村(愛知)	妻母娘	76	72	37	21	38	18	45	15	35	21	15	6	6	1
	妻母娘	23	20	10	10	3	9	1	6	6	8	1	1	1	1
	妻母娘	14	14	6	4	10	2	9	2	6	1	1	1	1	1
常盤村(岡山)	妻母娘	77	72	58	18	43	25	44	24	39	20	10	5	1	1
	妻母娘	31	16	4	10	4	9	3	8	2	10	1	1	1	1
	妻母娘	14	13	3	4	5	6	6	6	4	4	1	1	1	1

間上%

村別	家事負担の程度	総数	農業従事者	一人でする者				二人でする者				三人でする者			
				一人でする者	二人以上	三人以上	四人以上	一人でする者	二人以上	三人以上	四人以上	一人でする者	二人以上	三人以上	四人以上
				数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数
五カ村合計	妻母娘	100	94	66	14	53	19	50	21	42	17	24	5	5	1
	妻母娘	100	63	27	16	10	7	5	16	12	15	4	1	1	1
	妻母娘	100	97	82	14	53	20	47	34	36	25	9	3	3	3
田野村(谷手)	妻母娘	100	98	64	26	43	36	34	37	21	26	16	6	15	4
	妻母娘	100	56	10	20	5	20	5	25	15	15	15	15	15	15
	妻母娘	100	100	11	84	26	52	5	63	21	26	26	26	26	26
大和村(山形)	妻母娘	100	92	74	8	58	12	53	11	42	7	30	2	2	1
	妻母娘	100	50	38	5	18	10	3	12	13	8	23	1	1	1
	妻母娘	100	93	19	2	58	12	67	7	44	2	9	4	2	2
額部村(群馬)	妻母娘	100	96	68	1	55	6	50	5	45	3	30	2	2	1
	妻母娘	100	95	22	-	11	5	5	5	11	3	51	3	3	3
	妻母娘	100	100	66	3	62	14	38	21	38	14	7	1	1	1
春日村(愛知)	妻母娘	100	94	49	28	50	24	59	20	46	28	20	10	24	4
	妻母娘	100	88	43	43	13	39	4	26	26	35	26	26	26	26
	妻母娘	100	100	43	29	71	14	64	14	43	29	7	7	7	7
常盤村(岡山)	妻母娘	100	93	69	23	56	33	57	31	51	34	18	5	5	5
	妻母娘	100	52	13	32	13	26	10	26	6	42	35	35	35	35
	妻母娘	100	93	21	29	33	43	43	43	29	29	29	29	29	29

(世帯調査結果第25表より作成)

註 炊事、洗たく、裁縫、掃除、子育てなどをしていない者がいるので総数は一致しない。

が、男子が手伝う率はきわめて少なく、わずかに掃除、子守ぐらいのものであるが、それも小さい男の子の仕事である。農村婦人のなかでも主婦の場合は家事の仕事は殊に多く、炊事を一手にひきうけている者は 68%、これに誰か手伝い手のいる 14% の者を加えると 80% が炊事をしているが、農業の仕事が就いているわけでは決してなく、主婦で農業に従事している者は 94% である。その他の家事を 1 人で行う者の率は、洗たく (58%)、裁縫 (52%)、掃除 (42%)、子守 (24%) の順に減つて主婦の負担を軽くしているが、子守を除いては半数近くの主婦が手代りもなく、これらの家事を 1 人でうけもっている。このほか、1 年を通じて考えれば、春には味噌たき、秋には冬ごもりのための漬物、そして冬には 1 年中の野菜類の手入れもしなければならぬ。また盆、正月、春秋の祭りなどの年中行事ともなれば、とつておきの材料で餅や団子をつくるのも主婦のつとめである。

調査の一部として、調査期間中の 1 日について主人及び主婦の生活時間をしらべた結果によれば (巻末事例調査結果参照)、比較的ひまな夏の農閑期においても、農家の主婦の生活は、農作業と絶え間のない家事の連続に終始しており、農業労働と家事労働の時間の合計は、ほとんどの事例においても男の労働時間より長くなっている。世帯を主婦にゆずつた姑でさえ農業に従事している者は 63% に上り、また家事については、炊事を 1 人でうけもっている者 27%、2 人以上でしている者が 16% いるので、48% が炊事をしていることがわかる。殊に子守は姑の仕事で、41% がこれを 1 人で担当しており、留守をあずかる姑に子供を託して働ける者のすべてをあげて農作業に出払う農家の有様が想像される。嫁の場合には、農業に従事する割合は主婦や姑よりも高く、97% である。

このように、5 つのどの村においても、またどの農家においても婦人の労働は不可欠であるが、これ

⑩表 家族労働の分担 A家 (山形県大和村)

家族名	続柄	年齢	現 在 の 職 業				家 事											
			農 耕		養 畜		農業以外の職	炊 事			衣 服		掃 除	買 物	育 児	子 守	祖 父	祖 母
			主として	従	主として	従		水	火	片	裁	洗						
A	世帯主	47	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B	妻	44	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○	○	—	○	—
C	母	64	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○	○	—	○	—
D	世帯主弟	38	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
E	長男	21	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
F	次男	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G	三男	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H	四男	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I	次女	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J	三女	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

耕作面積 一毛作田 13反 二毛作田 1反 畑 0.5反
 主要作付面積 水 稲 13反 小 麦 0.1反
 養 畜 鶏 1頭 豚 4羽 兎 2羽
 農機具 手挽耨車 1台 リヤカー 1台

(山形 事例 B)

は農業の経営規模が小さく、家計が貧困の場合には一層苦しくなるようである。生活費の全部を農業収入に依存できない農家では、農業外収入を求めて賃労働や出稼ぎにでることを余儀なくされるが、そうした場合、農業の経営が婦人によつてなされることが多いのである。岩手の田野畑村で現金収入を得るために山林所有の少ない農家では男子が炭やきの賃労働に出たり、また愛知の春日村や岡山の常盤村などで多くの男子が近在の町や市まで職を求めて通勤しているのは、こうした例である。

事例調査の結果によつて、山形と愛知の 2 つの農家の家族員がその労働をいかに分担して経営を行っているかをみよう。

A家は大利村 (山形) の中流以下の農家である。世帯主は世帯主夫婦と 21 才の長男を頭にして 4 人の息子と 2 人の娘を持つてゐるが、この外に世帯主の母と弟が同居しているので全部で 10 名となっている。耕作面積は 1町4反、この村としてはこれでは小さい方である。長男は農閑期には最上川の堤防工事に出て賃金を得ているが、これはこの村の土地の少ない農家にとつては重要な現金収入の道である。18才の次男は隣家の「わかぜ」として働いている。それで 1町4反の田を作るのは世帯主夫婦と長男及び同居している世帯主の弟である。馬を 1 頭とわずかばかりのにわとりと兎を飼育しているが、この世話を主にやるのは世帯主であり、弟及び長男が手伝っている。家事は妻と母の仕事であるが、庭の掃除は世帯主の弟と長男が手伝い、家の中の掃除は 11 才の次女さえも手伝っている。こうして、10 名の家族員のうち、何の分担もない者は在学中の三男及び四男と 5 才の幼児のみということになる。

B家は愛知県春日村の中等程度の農家である。家族は世帯主夫婦と 5 人の子供によつて構成されており、4反2畝の二毛作田と 8反8畝の畑とを耕作しているが、農業を主にするのは世帯主と妻だけで、27 才の長男は名古屋の会社に通勤し、次男 (21才) は商店見習となつてゐる。三男 (18才)、四男 (9才)、及び四女 (18才) はまだ学校中とはいえ農閑期には農業を手伝う。世帯主が農業改良委員をも兼ねてい

⑪表 家族労働の分担 B家 (愛知県春日村)

家族名	続柄	年齢	現 在 の 職 業				家 事											
			農 耕		養 畜		農業以外の職	炊 事			衣 服		掃 除	買 物	育 児	子 守	祖 父	祖 母
			主として	従	主として	従		水	火	片	裁	洗						
A	世帯主	54	○	—	—	—	農業改良委員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B	妻	51	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—
C	長男	27	—	—	—	—	会社勤務	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
D	次男	21	—	—	—	—	商店見習	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
E	三男	18	—	—	○	—	高校生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
F	四女	13	—	—	○	—	中学生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G	四男	9	—	—	○	—	小学生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

耕作面積 一毛作田 4.2反 二毛作田 3.8反
 主要作付面積 水 稲 4.2反 小麦 4.0反 小 麦 3.5反
 養 畜 豚 1頭 鶏 0.2反 兎 0.2反
 農機具 手挽耨車 1台 リヤカー 1台

(愛知 事例 C)

るので、農耕のほかはほとんど何もできず、妻が家畜の世話から家事の一切をひきうけている。四女は18才の遊びざかりから炊事、火焚、食事の後片附、洗たく、掃除、風呂焚など家事のほとんどを手伝われている。水汲みと近所の買物は三男の仕事である。世帯主と長男が買物をする事になつてゐるが、これは外に出たついでに用を足すものであろう。

以上が山形と愛知の二つの農家の家族の労働分担のすがたである。この二つの事例は、農家の生活がいかに家族員ひとりひとりの労働をよせあつめて、多くの場合、小学校の子供さえも手伝うことによつて維持されているかを示している。そして農業経営がこのような家族経営の形態をとる限り、個人の労働は評価されず、農業従事の比率においてどのように大きな割合をしめていようとも、戸主中心の家族に奉仕する一労働力としての役割しか果たさないであろう。ここに自己を埋没して家をもり立てようとする犠牲的な婦人の姿や家族を統御して先祖代々ゆすり渡された家と、農地を守りぬこうとする権威としての家長権や主婦権の基礎もあるのである。

2. 家長権、主婦権

農業経営の指揮者であり、監督者として仕事の配分や家計の管理をする者は誰かを世帯調査の結果によつてみると、どの村でも世帯主が行つてゐる場合が圧倒的に多く、5カ村合計の数字では、世帯主が仕事の配分を行つてゐる家が472戸中401戸(88%)、家計の管理は472戸のうち418戸(88%)となつてゐる。岩手の田野畑村では世帯主が仕事の配分を行う家が76%で他の村より低い、この村では男子が炭やきその他の賃労働に出て、農業経営が婦人の手にゆだねられる場合が多いからであろう。村の集会や家としてのつきあいに家族を代表するもの、ほとんどすべて男子特に世帯主の掌握するところであつて、妻や母がこれに参加する場合はきわめて稀であり、世帯主のほかに代るべき男子のいない家で世帯主の手がまわりかねるような場合にみられる。殊に村の社会構造や家族構成の複雑な山形の大

⑨表 家族の指導者或は代表者

——家計の管理、仕事の配分をする者及び村の集会その他のつきあいに出席する者は誰か——

村別 項目	五カ村合計					田野畑村(岩手)					大和村(山形)				
	戸数	%	男子	世帯主	女子	戸数	%	男子	世帯主	女子	戸数	%	男子	世帯主	女子
家計の管理	472	100	91	88	8	62	100	98	90	5	146	100	96	92	4
仕事の配分	472	100	93	86	6	62	100	80	76	15	146	100	98	86	2
村の集会	472	100	96	81	4	62	100	98	86	1	146	100	99	90	1
その他のつきあい	472	100	92	80	7	62	100	79	76	13	146	100	98	86	2
項目	鶴岡村(群馬)					春日村(愛知)					常盤村(岡山)				
	戸数	%	男子	世帯主	女子	戸数	%	男子	世帯主	女子	戸数	%	男子	世帯主	女子
家計の管理	102	100	93	89	6	80	100	79	72	21	82	100	92	90	7
仕事の配分	102	100	96	85	3	80	100	90	84	10	82	100	95	90	5
村の集会	102	100	98	71	2	80	100	89	71	11	82	100	90	82	9
その他のつきあい	102	100	98	78	2	80	100	88	70	12	82	100	87	79	11

(世帯調査結果第20表より)

和村では、家長権が他の村より強いようで、これらのことを世帯主が行う率は他の村より高く、家計の管理では92%、仕事の配分86%、村の集会に出席する者90%、その他のつきあい88%となつており、世帯主の代りもほとんど男子によつて占められている。5カ村のうちで家族構成が最も単純で、男子が指導権をにぎつてゐる率の低い春日村(愛知)でさえ、村の集会やつきあいに婦人が出席する率は約10%である。

1年の収益が一定の時期にまゝまづ入る農家経済の特質からであろうが、家計の管理を世帯主がにぎつてゐる割合は仕事の配分やつきあいに家族を代表する割合よりも高く、蔬菜地帯の春日村(愛知)を除いてはどの村でも最も高い率を示している。

世帯主の地位はいつということなく譲られるが、世帯主のほかに父や息子のいる場合に以上のような家族の指導監督あるいは代表としての役割がどのように代行されるかをみると第14表のとおりである。これによると、世帯主のほかに息子や養子のいる家では、家計の管理は87%の家で世帯主がにぎつてゐて、息子や養子が行つてゐる家は6%であるが(5カ村合計)、仕事の配分を息子や養子が代つて行つてゐる家は15%、息子や養子が村の集会に出てゐる家は28%である。しかし、世帯主のほかに父のいる場合に、父が代つてゐる率は

息子や養子の代行する率より低く、仕事の配分においても、村の集会においても6%の家で父が行つてゐるにすぎない。家としてのつきあいに家族を代表することはこれより高く15%であるが、これも息子や養子が代行している家が21%あるのにくらべると低率である。このように父が代る率は息子の代行する率より低いことはほとんどの村についていえることである

が、ただ山形の大和村では、村の集会や家としてのつきあいに父が出てゐる率が他の村より高いようである。

毎日の食事の献立をきめるといふような家の中のことには婦人にまかされてゐるが、この場合には主婦がこれに当るのが普

⑩表 食事ときめる人、つくる人

村別	項目	戸数	世帯主	妻	長男	その他	婦人	その他	不明
五カ村合計	食事ときめる人	472	68	12	356	21	8	1	3
田野畑村	食事ときめる人	62	1	—	57	1	—	—	2
大和村	食事ときめる人	146	25	—	109	6	4	1	—
春日村	食事ときめる人	80	17	—	58	4	1	—	—
常盤村	食事ときめる人	82	7	8	60	2	1	3	—

同 上 %

五カ村合計	食事をつくる人	100	13	4	76	4	2	0*	—
田野畑村	食事をつくる人	100	10	0*	63	8	5	0*	—
大和村	食事をつくる人	100	17	—	74	4	3	1	—
春日村	食事をつくる人	100	16	—	69	6	4	—	—
常盤村	食事をつくる人	100	15	4	71	8	2	—	—
春日村	食事をつくる人	100	8	—	64	19	8	—	—
常盤村	食事をつくる人	100	21	—	73	5	1	—	—
春日村	食事をつくる人	100	13	1	46	8	6	—	—
常盤村	食事をつくる人	100	9	10	78	2	1	—	—
春日村	食事をつくる人	100	5	—	65	4	—	—	—

註 %の計算には不明を除外した

(世帯調査結果第25表より)

0* = 1%未満

⑭表 世帯主たる男子の外に18才
世帯主の外に父を含む家

世帯主たる男子の外に18才以上の男子を含む家	村別	五カ村合計				田野畑村(岩手)				大和村(山形)			
		家計の管理	仕事のわりふり	村の集会	その他のつきあい	家計の管理	仕事のわりふり	村の集会	その他のつきあい	家計の管理	仕事のわりふり	村の集会	その他のつきあい
世帯主		190(87)	172(79)	146(67)	154(71)	26(86)	20(67)	22(73)	22(73)	71(92)	62(81)	63(82)	60(78)
息子		8	23	45	35	2	2	8	2	2	10	8	11
養子		5	10	17	11	-	-	-	-	3	5	5	4
父		-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	2
母		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
妻		11	10	6	9	1	5	-	3	-	-	-	-
嫁		1	1	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-
主と息子		-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
主と養子		-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
主と妻		1	2	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
主と母		-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-
計		218 (100%)	218 (100%)	218 (100%)	218 (100%)	30 (100%)	30 (100%)	30 (100%)	30 (100%)	77 (100%)	77 (100%)	77 (100%)	77 (100%)
事例数		218				30				77			
内 世帯主と息子のみの家		159				27				61			
世帯主と養子のみの家		37				2				10			
その他の18才以上の男子をも含む家		22				1				6			
世帯主たる男子の外に父を含む家		49(89)	49(89)	49(89)	44(80)	5(100)	4(80)	4(80)	4(80)	5(100)	5(100)	4(80)	3(60)
父		3(6)	3(6)	3(6)	8(15)	-	-	-	-	-	-	1(20)	2(40)
息子		-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-
養子		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
妻		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
母		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主と妻		1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
主と母		-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
計		55 (100%)	55 (100%)	55 (100%)	55 (100%)	5 (100%)	5 (100%)	5 (100%)	5 (100%)	5 (100%)	5 (100%)	5 (100%)	5 (100%)
事例数		55				5				5			
内主と父のみの家		26				4				1			
その他18才以上の男子をも含む家		29				1				4			

註 括弧内の数字は%

以上の息子或は養子を含む家(上)

(下)では家族の指導者代表者はどうなっているか

観部村(群馬)				春日村(愛知)				菅巻村(岡山)			
家計の管理	仕事のわりふり	村の集会	その他のつきあい	家計の管理	仕事のわりふり	村の集会	その他のつきあい	家計の管理	仕事のわりふり	村の集会	その他のつきあい
48 (90)	39 (81)	21 (44)	33 (69)	21 (70)	22 (73)	14 (47)	14 (47)	29 (88)	29 (88)	26 (76)	25 (74)
2 (4)	7 (17)	18 (52)	11 (27)	2 (13)	2 (17)	9 (37)	9 (37)	-	2 (9)	2 (15)	2 (13)
-	1	7	2	-	3	2	2	-	1	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48 (100%)	48 (100%)	48 (100%)	48 (100%)	30 (100%)	30 (100%)	30 (100%)	30 (100%)	33 (100%)	33 (100%)	33 (100%)	33 (100%)
48				30				33			
36				19				16			
7				7				11			
5				4				6			
18(94)	14(88)	14(88)	11(69)	11(85)	13(100)	13(100)	12(92)	13(81)	13(81)	14(81)	14(81)
1(6)	2(14)	1(6)	5(31)	1(8)	-	-	-	1(6)	1(6)	1(6)	1(6)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16 (100%)	16 (100%)	16 (100%)	16 (100%)	13 (100%)	13 (100%)	13 (100%)	13 (100%)	16 (100%)	16 (100%)	16 (100%)	16 (100%)
16				13				16			
6				4				11			
10				9				5			

(世帯調査結果 24 頁より引用)

通であつて、この率は76%、母がきめる家は18%、嫁4%となつてゐる。食事を作るのもまた妻の場合が多いが、母が献立をきめて妻や娘が炊事をする場合や、妻がきめて嫁又は娘が作ることもあるので、母と妻の場合は炊事する者よりも献立をきめる者がどの村でも多いが、嫁や娘は他の人から命ぜられて作ることばあつても、自分が他の人に命じることではないので、きめる割合よりも作る人の割合の方が多くなつてゐる。少数ではあるが、世帯主である男子が献立をきめている例が4%みられる。

世帯主の妻のほかに母や嫁、娘などがある場合に食事をきめるというような家のなかの管理や炊事、洗濯などの家事はどのように分担されているかをみると、世帯主の妻のほかに嫁や娘のいる場合には、食事をきめることを嫁や娘がやつてゐる家は7%であるが、妻のほかに母がいる家では、母が食事をきめる家は88%に上つてゐる。このことは5カ村を通じていえることで、前述の家長権が父よりも息子によつて代行される率の高いことを思い合せると、主婦権は家長権よりかなり長く保有される傾向のことがわかる。炊事を行う率は、妻のほかに嫁や娘のいる家で嫁や娘が行う率は28%であるが、母のいる家では、母がやつてゐる率は25%である。洗濯、裁縫、掃除などの家事の場合には、この率は反対になつて、嫁や娘がゐる場合にはこれらの家事を嫁や娘が一手にひきうける家が、約半数であるが母がいる家でも母が洗濯、裁縫、掃除などをする率はきわめて少い。

3. 通 婚 圏

村の生活が明治、大正、昭和の各年代の間に他地域と交流することによつてどのようなひろがりをもつに至つたかを調べ、婦人の現在の生活や社会意識を考察する資料とするため、6つの村の世帯員のうち嫁入、養子、入夫などで他家から来た者の出身地をしらべて各調査村における嫁入範囲を見、また各村の世帯主のきょうだいの嫁出先をしらべて、嫁出範囲を見たが、その結果は第16表及び第17表のとおりであつた。

5カ村のうちで最も通婚圏のせまいのは、岩手県の田野畑村

⑭表 婚 入

村 別	時 期	総 数	明 治	大 正	昭 和	%			
						総 数	明 治	大 正	昭 和
五カ村合計	総部 落	773	166	178	429	100	100	100	100
	数内内内外	145	41	35	68	19	25	20	16
	数内内内	148	32	36	80	19	19	20	19
	数内内外	462	91	103	268	60	55	58	62
田野畑村	総部 落	105	30	22	53	100	100	100	100
	数内内内外	39	12	9	18	27	40	41	34
	数内内内	47	10	10	27	45	33	45	51
	数内内外	19	8	3	8	18	27	14	15
大和村	総部 落	252	52	54	146	100	100	100	100
	数内内内外	59	12	13	34	23	23	24	23
	数内内内	45	9	15	21	18	17	28	15
	数内内外	145	31	26	88	58	60	48	60
額部村	総部 落	167	34	40	93	100	100	100	100
	数内内内外	18	7	3	8	11	21	8	9
	数内内内	47	11	8	28	28	32	20	30
	数内内外	98	16	28	54	59	47	69	58
春日村	総部 落	119	23	27	69	100	100	100	100
	数内内内外	13	4	5	4	11	17	19	6
	数内内内	8	1	3	4	7	4	11	5
	数内内外	93	17	18	58	78	74	66	84
常盤村	総部 落	130	27	35	68	100	100	100	100
	数内内内外	16	6	5	5	12	22	14	7
	数内内内	1	1	1	1	1	4	1	1
	数内内外	107	19	28	60	82	70	80	88

(世帯調査結果第27表)

註 世帯員中嫁入、養子、入夫など他家から来た者の出身地について集計

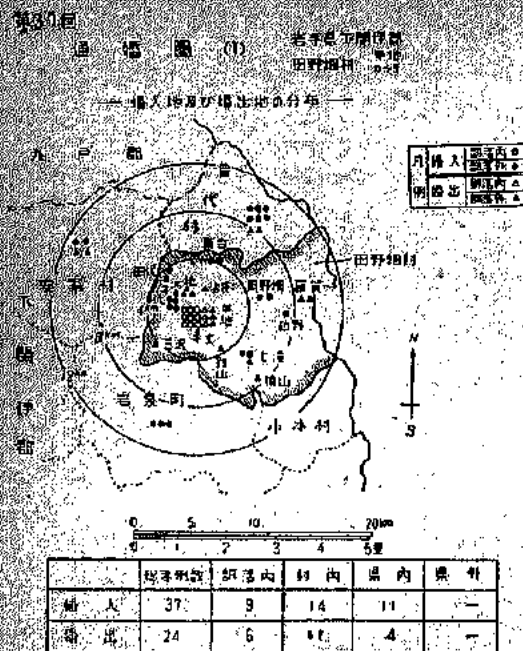
⑮表 婚 出

村 別	時 期	総 数	実 数			%			
			明治	大正	昭和	総 数	明治	大正	昭和
五カ村合計	総部 落	650	101	181	368	100	100	100	100
	数内内内外	108	27	30	51	17	27	17	14
	数内内内	92	12	26	54	14	18	14	16
	数内内外	378	57	106	216	58	56	58	59
田野畑村	総部 落	62	14	15	33	100	100	100	100
	数内内内外	18	5	3	10	29	36	20	30
	数内内内	28	5	8	15	45	37	53	45
	数内内外	15	4	4	7	24	27	27	21
大和村	総部 落	240	34	55	151	100	100	100	100
	数内内内外	40	11	11	18	17	32	20	12
	数内内内	32	4	8	20	13	12	14	13
	数内内外	139	17	29	93	57	50	58	63
額部村	総部 落	148	14	38	96	100	100	100	100
	数内内内外	23	3	5	15	16	22	13	18
	数内内内	20	2	5	13	13	14	13	12
	数内内外	82	7	23	52	55	50	61	54
春日村	総部 落	118	24	49	45	100	100	100	100
	数内内内外	13	4	5	4	11	17	10	9
	数内内内	9	1	5	3	8	4	10	7
	数内内外	86	19	34	33	73	79	70	78
常盤村	総部 落	82	15	24	43	100	100	100	100
	数内内内外	14	4	6	4	17	27	25	10
	数内内内	3	1	1	1	4	1	1	1
	数内内外	56	10	15	31	69	66	68	72

註 世帯主のきょうだいの嫁出地について集計 (世帯調査結果第28表)

である(第17図)。明治、大正の各年代を通じて、部落内からの嫁入が嫁入者総数の40%を占めてゐる上に、村内他部落からの嫁入も、明治年代には88%、大正年代には45%という高率を示してゐる。昭和になると部落内嫁入は84%に減つてゐるが、村内他部落嫁入は51%に増加してゐる。この傾向は嫁出においても、緩和された形で現れてゐる。明治年代には部落内嫁出86%、村内他部落嫁出87%であつたが大正に入つてそれぞれ20%および58%、昭和には30%及び48%というように、村内他部落嫁入が大きな割合を占めて來てゐる。県内他村との通婚については、明治年代に開墾入植者の影響もあつたか嫁入嫁出ともに27%を占めていたのが、時の降るにつれて、嫁入においてはその率が半減するが、嫁出においては大正も27%、昭和20%と減少がゆるやかである。県内婚の範囲は、普代村、安家村、岩泉町、小本村などの隣接町村がほとんどであるが、嫁出においてより大きいひろがりがあり、浜との交通の機会の多い大戸から、田老町、宮古市、釜石市、盛岡市、岩手郡などに住んでいる者のあることは注目されよう。山村田野畑村では、交通が不便なために各部落が孤立し、他村に比べてはるかに部落内婚が多いが、これが減少する傾向のあることは後述のように他村と同様である。また、他村では県内婚へ集中してゆくの、この村では村内他部落婚が支配的になつてゆくことは、一方において山村の性格を示すと共に、行政村がしだいに村の生活に浸透してゆく過程に一致すると見られよう。

大和村においては、部落内の嫁入が明治以降28%前後を維持してゐるのに対して、嫁出は明治の32%から、大正20%、昭和12%と著しく減少し、村内他部落からの嫁入は、明治年代に17%であつたものが大正には28%と一時大きくなるが昭和に入つてまた16%と低下する。嫁出においてはかつて18%前後を維持してゐる。このようは村内婚率の低いのに対して県内婚嫁入において明治年代の



この村は早くから庄内の水田単作地帯の村々の生活に加わつていたことがわかるが、北海道をはじめとし東北関東にわたる県外嫁出や、満洲移民などによる国外嫁出の試みは、この村の人口問題、土地所有の問題を解決しようとする動きの一つと見られよう。

群馬県利根郡村では、嫁出において、県内他村および県外への活潑な離村が行われているのに対して、嫁入においては、県内について村内他部落からのものが相当な割合にのぼつてることが注目される。部落内嫁は明治時代に嫁入嫁出とも 20% であつたものが、大正には半減し、昭和に入つては、嫁入で 9% にすぎず嫁出で 10% である。全体からみて、部落内嫁はほとんど重要な意味を持たないようである。村内他部落嫁は、嫁入において明治 32%、大正 20%、昭和 82% であるのに、嫁出では明治いらい 18% 前後をつづけているにすぎない。嫁出先は村境を飛越して近村に拡がるが、製糸の中心地である富岡への頻度は最も高く、また他郡へも少なからず出ている。嫁出先はさらに県外にのみ、関東諸都県とくに東京はその半ばを占めている。これに対して嫁入は高瀬村、秋畑村、小幡町などの隣接町村が多く、郡内がほとんどを占めている。この村の県外嫁は 5 方村中最も多い。養蚕によつて早く貨幣経済に入り、その影響をうけたものと見えよう。

愛知県春日村は明治以来県内嫁が支配的であり、県内の嫁出は大正まで嫁入を上廻つていた。すなわち明治には嫁出 79%、嫁入 74%、大正にはそれぞれ 70% および 66% となつていいる。ところが昭和年代には反対に嫁出 78% に対し嫁入 84% となつた。これは主として名古屋市など近接都市からの嫁入が増加したためである。県内嫁入の範囲は村を中心とした半径 8 里のなかにまぎれ、とくに隣村西春村との関係が濃い。嫁出先はこれよりややひろい。名古屋市への嫁出は、明治いらい目立つて多い。県外嫁は、中部諸県との間に見られ、嫁入が引続き 4% 程度のわずかな率であるのに対して嫁出は明治に皆無であつたものが大正に 12%、昭和 9% と嫁入よりも多く、中部、近畿の諸県が主である。部落

60% が、大正年代には 48% に減少するが昭和になつて再び 60% と上昇しており、嫁出において明治 50%、大正 53%、昭和 62% と増加の一端を辿つていいる。通婚先は、狩川町、十六合村が特に多いが、この 2 町村以外の隣接村、隣々村にも多く分布し、東田川郡内——庄内平野田作地帯の南半に殆んどが含まれてしまい、東方の山地には絶無である。嫁入圏は村を中心とした半径 4 里の円を、最上川の流れて切つた扇形を出ないと云つてよい。嫁出においては、これより拡がりが大きいの。また、県外への嫁出は、明治に 0%、大正昭和に 11% であるのに、嫁入は、昭和になつてはじめて 2% をみるのみである。国外への嫁出は大正から昭和にかけて 2% ではあるが現れていいる。

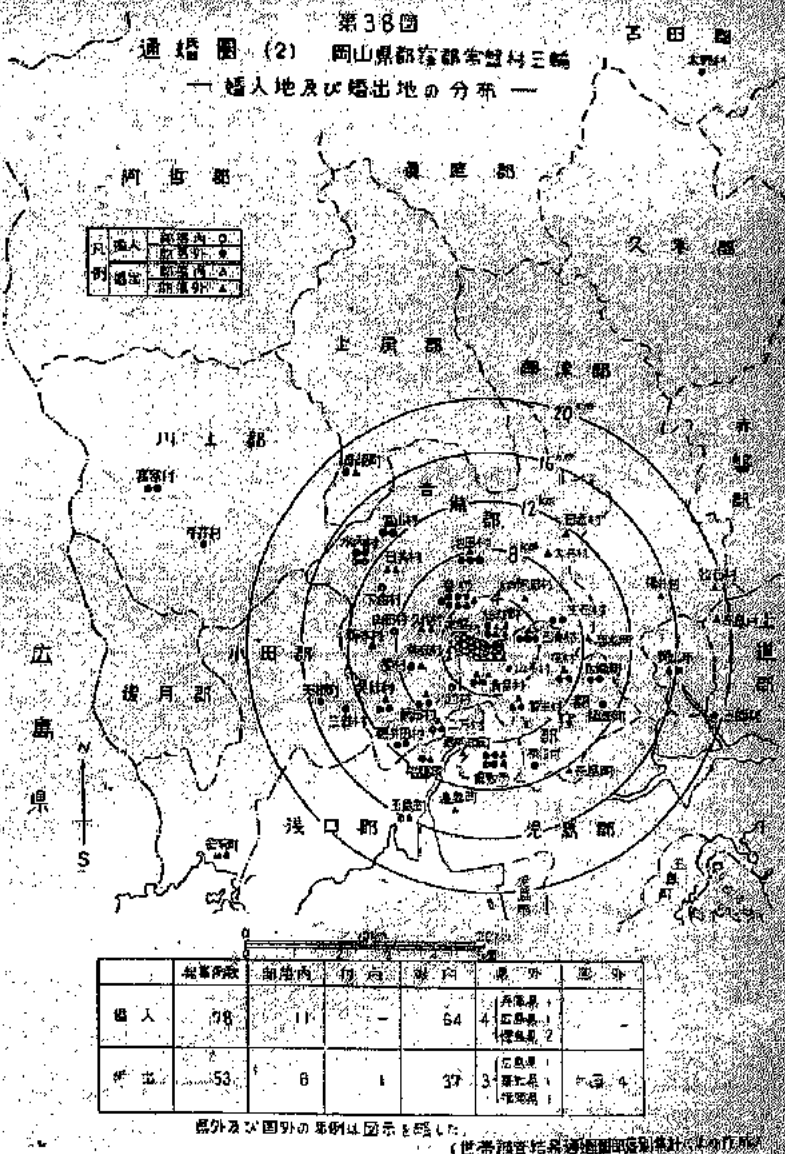
内嫁、村内他部落嫁は現在はいずれも 1 割に達していない。

岡山県常盤村では、嫁入においてとくに県内他村の割合が圧倒的で、明治に 70%、大正 80%、昭和 88% とさらに増加の傾向があり、嫁出はこれより低く明治 66%、大正 68%、昭和 72% となつていいる。通婚先は、第 38 図のように、ほぼ半径 8 里 (20km) の範囲にあるが、隣接町村との関係は、桑村を除いては特に密接な所はなく、分散的である。そして郡内よりもむしろ隣の吉備郡の山添い乃至山間の村からの入村が目立つていいる。もう一つの特徴は、県内嫁において、嫁出範囲が多少嫁入範囲よりせまいことである。県外嫁は少

なく嫁入において 5% 前後を維持し、嫁出において明治の 7% から大正の 8%、昭和の 6% と、言うに足りない率である。大正以来若干の国外嫁のあるのは、アメリカ移民のためである。部落内嫁は明治には嫁入嫁出とも 20% 台であつたが、漸減していまは 10% 前後である。村内他部落嫁も、明治に 4% の嫁入、昭和に 7% の嫁出をみたのみである。

この村に古くから他村からの嫁入を吸引する傾向があり、それが増大しつつあるのにはこの村の生産力や文化水準の高さなど理由はあろうが、他の 5 方村に比べて著しい特色である。

5 方村の通婚圏には、自然環境や、農業地帯別などによつてそれぞれの特徴があるが、全般的に、部落内嫁が減少しつつある傾向は著明である。そしてそれは、山村よりは平地村の、東北型農村よりは近畿型農村に著しい。田野畑村では村内嫁がこれに代るが、他の村では県内嫁が比率を増してゆく。



村内（部落内婚＋村内婚）の通婚率（婦入＋婦出）は、田野畑村から順次南へ、79%、86%、84%、18%、16%と低くなっている。

県内他村のうちでは隣村、隣々村が主な通婚地であるが、時代の変遷につれて、また農業地帯の異なるにつれて、分散している。通婚圏は各村とも村を中心とした半径3里～5里（12km～20km）の円の中心に当たっては包まれてしまうが、田野畑村は村自体が巨きいために、8里（12km）圏内にはわずかに隣村を含めにくいのに対して、春日村では同じ広さの中に、名古屋市及びその衛星都市のいくつかと、近郊農村の重要な部分を含んでいて質的には大いに異なっている。

田野畑村、大和村、額部村において、婚出による離村が、婚入による入村より高率で、その空位が村内婚乃至隣々近接村からの婚入により充たされる傾向のあること、春日村、常盤村が特に昭和に入つて県内他村からの婚入率を高めていることに顕著な対照をみることができる。以上で地域的通婚圏を述べたが、血縁的な面については交際圏の項（78頁）で簡単にふれた。

4. 交 際 圏

過去の生活経験が個人の性格形成をどのように規制するかをみるための資料として、5つの村からそれぞれ約10名の既婚婦人をえらんで、その生れてから現在までの生活史を作成したが、この項では特に交

⑧表 男女別、年齢別対象者数

年齢別	村別	事例数		田野畑村		大和村		額部村		春日村		常盤村	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総 数		9	46	3	12	4	6	—	8	2	9	—	11
20才以下		2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30～39		—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
40～49		—	9	—	2	—	1	—	1	—	1	—	4
50～59		2	11	1	1	1	1	—	—	4	—	—	5
60～69		1	7	—	4	—	—	1	—	2	—	—	—
70～79		2	9	—	—	1	4	—	2	1	2	—	1
80～89		—	6	—	2	—	—	3	—	—	—	—	1
90～99		—	1	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—
100～109		—	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—

らばれた既婚男子9名であるが、これらの者の年齢は第18表のとおりである。

(1) 学 校 生 活

幼時に家族以外の者と接触する機会としてまず考えられるのは、幼友達と学校生活である。学校生活は人によつてその時期に長短があり、村によつても教育程度はかなり相違しているが、(第18表参照)この調査の対象となつた40名の中でも約半数は小学校卒業以下の者であり、高等小学校卒業程度の者を含めても7割に満たない。特に岩手の田野畑村では、小学校卒業者が12名中10名を占めているが、この村の60才前後の対象者はいずれも、その学令期の頃には、村の風として女の子には裁縫と機械が主な仕事とされ、義務教育すらほとんど受けさせられなかつたことを述べており、「全校30人のうち女は自分1人だつた」「みんな学校に入らなければならぬということになつて、一旦は入つたが8日と続かず来なくなつた」「忙しいと学校を休んだのでなんにも覚えていない」など、この村の教育環境のよくなかつたことを示している。教師との交渉もやすく、12名中8名までが特に思い出もないといつてお

⑨表 世帯員 の 教 育 程 度

村別	性別	教育程度		未及 就学 者	不 就 学	小 卒	高 小 卒	新 中 卒	中 卒	新 高 卒	旧 高 卒	旧 大 卒	不 明
		実 数	%										
五合 カ 村計	計	3,109	100	37.7	3.7	48.7	0.6	2.4	5.1	0.6	0.1	0	1.1
	男	1,544	100	39.6	2.3	47.6	0.6	2.5	5.0	1.0	0.3	0.1	1.0
	女	1,564	100	35.7	5.1	49.7	0.7	2.2	5.2	0.2	0.0	0.0	1.2
田野 畑村	計	443	100	40.0	2.9	55.3	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.6
	男	219	100	43.4	0.9	53.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.9
	女	224	100	36.6	4.9	58.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
大和 村	計	986	100	36.1	3.5	50.2	1.5	5.3	2.6	0.0	0.2	0.2	0.2
	男	498	100	39.8	1.4	49.2	1.6	4.6	3.0	0.0	0.2	0.2	0.0
	女	488	100	32.4	5.7	51.2	1.6	5.9	2.6	0.0	0.0	0.0	0.4
額部 村	計	754	100	40.3	4.3	45.6	0.0	0.7	4.6	0.1	0.1	0.0	0.0
	男	358	100	39.4	3.4	46.9	0.0	0.8	5.8	0.3	0.3	0.0	0.4
	女	396	100	41.2	5.1	46.2	0.0	0.5	3.5	0.0	0.0	0.0	0.5
春日 村	計	455	100	36.3	5.9	44.3	0.0	1.9	6.9	3.0	0.0	0.0	1.3
	男	229	100	37.7	4.6	48.1	0.0	2.9	5.0	5.4	0.0	0.0	1.3
	女	226	100	35.0	7.1	46.5	0.0	0.9	8.8	0.4	0.0	0.0	1.3
常盤 村	計	461	100	35.8	1.7	46.2	0.9	1.5	12.6	0.9	0.4	0.0	0.0
	男	230	100	38.3	1.7	44.8	0.4	2.2	10.8	0.9	0.9	0.0	0.0
	女	231	100	33.3	1.7	47.6	1.3	0.9	14.3	0.9	0.0	0.0	0.0

(世帯調査結果第14表より作成)

⑩表 男女別学歴別対象者数

学歴別	性別	事例数		田野畑村		大和村		額部村		春日村		常盤村	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総 数		9	46	3	12	4	6	—	8	2	9	—	11
小 中 退		—	1	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—
小 高 卒		4	22	—	10	2	2	—	3	1	5	—	3
高 小 中 退		1	1	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—
高 小 卒		2	8	1	1	1	—	—	2	—	4	—	1
各 種 卒		1	6	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
女(中、高)卒		—	6	—	—	—	2	—	2	—	—	—	2
専 門 卒		—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
専 門 中 退		1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

り、そのような村では婦人によつて学校生活がその後の生活に特に大きな影響を与えたとは思われない。5つの村のうち最も教育環境がよいと思われるのは常盤村（岡山）で、世帯調査の結果でも15.2%が女学校以上を出ているが、11名の対象者のうち8名が実業学校や女学校、師範を出ており、学校生活が大きいだけに11名も何らかの教師についての影響を述べている。しかしこの場合にさえ、それらの教師と現在まで交渉をつづけている者は4名にすぎない。5か村の対象者全部についてみても、46名のうち影響をうけた教師についての述べた者は、84名であるが、現在も交渉のある者は、わずか7名で、教師の

②①表 教師からの影響の有無

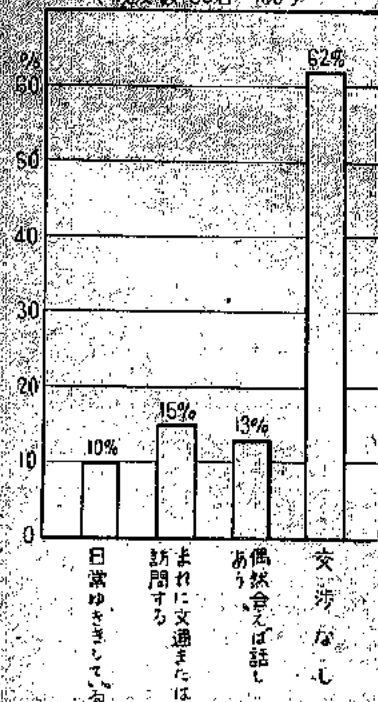
教師の影響	性別	村別					
		事例数	田野畑村	大和村	額部村	春日村	常盤村
影響あり	男	9	3	4	5	2	1
	女	46	12	6	8	9	11
なし	男	8	8	4	5	8	11
	女	34	4	6	1	1	1

死亡や、消息不明など、やむを得ない原因もあげられているとはいえ、現在全く交渉の絶えた者が 27 名に及んでいる。

学校時代に特に親しかつた友達について

てきいてみると、46 名中 89 名が友達の名をあげている。友達のない者はやはり学校生活の短かかった者に多い。学校友達も遊び友達も同部落の子供がほとんどを占め、「起きてから寝るまで一緒に遊んだ」という例も少ない。また男の子の友達がほとんどないことも特徴的で、男子の遊び友達の名をあげた者はわずか 1 名であつた。女学校以上の学歴の者になると、交際の範囲は次第にひろくなり、他村の者とも親しくなっている。

これらの友達と現在もゆききしている者は 10% にすぎず、それも同部落内に現在も住んでいる者同意に限られている。たまに手紙を出すとか、実家に帰つた時に訪ねあう程度の者は 15%、道で偶然出

第39回 学校時代の親友との現在の交際
(親友数 89名 = 100)

②②表 影響を受けた教師との現在の交渉

村 別		事例数	田野畑村	大和村	額部村	春日村	常盤村
現在の交渉							
教師から影響を受けた者		34	4	6	5	8	11
交渉あり	小 計	7	1	1	-	1	4
	時々訪問する	5	1	1	-	-	3
	道で会えばあいさつする	2	-	1	-	1	1
交渉なし	小 計	27	3	5	5	7	7
	卒業後全くなし	9	-	-	2	4	3
	死 亡	7	2	2	1	-	2
	居 所 不 明	4	-	-	1	1	2
	交通していたが絶えた	5	1	1	1	2	-
	クラス会に招いたが来ない	1	-	1	-	-	-
	噂をきく程度	1	-	1	-	-	-

えば声をかけるというような平素は没交渉となつた者が 18%、まったく交渉のなくなつた者は 62% という大きな割合を占めている。死亡も 1 つの原因であるが、女子にとっては結婚がほとんど決定的な意味を持つていて、たとえ隣の部落でも他の部落へ嫁して行つた者とは交渉がきわめて稀薄になつてゆく。そしてたまに実家に帰つたときに話合ひ程度となるのが普通であり、農村婦人の交際圏が日常面接可能な範囲に限定されているのを見ることができる。

(2) 娘時代

学校教育を終え、娘時代になると、村の婦人はほとんど農事に専念する。ことに水田単作地帯の大和村では 0 名のうち 5 名までが田作りに従事して、他村のような仕事の分散がみられない。額部村は養蚕地帯なので製糸が行われ、組合の共同作業場に自家産の繭を持ち寄り、糸をひくのが夏から秋にかけての若い娘や嫁の仕事とされ、また集団生活の場面ともなつた。冬は機織が行われた。

結婚前に経験した経験のある者は

46 名中 10 名、そのうち 5 名は田野畑村の婦人であるが、これらの婦人は家計を補うためにわかめの加工場に出たり、郵便局につとめたりしている。岡山には教員をした者が 2 名おり、他村にくらべて教育水準の高いこの村の傾向を反映している。

余裕のある家の娘は、家の仕事の傍ら、農閑期には補習学校、裁縫塾、仕立屋などに通ひ裁縫の稽古をする。技芸を習つた 87 名のうち 80 名までは裁縫を習つた者である。華道、茶道、琴などの遊芸を習つた者も 12 名いるが、これらはいずれも上層の家の娘である。又この時代には、旭女会、女子青年団などの団体活動があるが、これらの団体に加入していた者は 46 名中 22 名で、加入しなかつた者の方が多い。

以上のように、娘時代の交際の場としては共同作業場、裁縫の稽古、青年団体、そして部落の日常生活があるわけであるが、この時代に親しい友人を持つていた者は 46 名中 41 名に及んでいる。そのうち半数は子供の頃学校や近所で遊んだ友達とひきつゞき親しくしている者であるが、あとは裁縫のなかまや職場の友達など、新しい友人関係もあらわれる。これらの友人と現在もつき合っている者はわずか 4 名という少ない数であるが、時々たずね合つたり、交通している者は 18 名で、少女時代よりも事がよくなっている。交

②③表 家庭の仕事

家庭の仕事	事例数	村別					
		田野畑村	大和村	額部村	春日村	常盤村	
総数	46	12	6	8	9	11	
農業	33	9	5	5	7	7	
家業	21	7	1	5	5	4	
副業	9	2	1	2	1	1	
その他	5	1	1	3	1	1	
働かない	4	2	1	1	2	1	
働かない	3	1	1	1	1	1	

註 一人で二つ以上の仕事をする者がいるので総数は一致しない。

②④表 就職の経験

就職の経験	村 別	事 例 数	田 野 畑 村	大 和 村	額 部 村	春 日 村	常 盤 村
総 数		46	12	6	8	9	11
就職したことのある者		10	5	1	1	1	3
教 員		4	1	1	1	1	3
農 家		1	1	1	1	1	1
工 務 員		2	2	1	1	1	1
事 務 員		1	1	1	1	1	1
女 中、子 守		2	1	1	1	1	1
農 家 の 手 傭		1	1	1	1	1	1
就職したことのない者		36	7	5	7	8	8

②⑤表 習つた技芸

習つた技芸	村別	事例数	村別					
			田野畑村	大和村	額部村	春日村	常盤村	
総数	数	46	12	6	8	9	11	
技芸を習つた者		37	8	6	6	9	8	
裁縫	縫物	30	6	4	4	9	7	
刺繍	その他手芸	1	1	1	1	1	1	
機織	織道	5	1	1	1	3	1	
華道	華道	7	2	1	3	2	1	
茶道	茶道	5	1	2	1	2	1	
琴	琴	1	1	1	1	1	1	
技芸を習わなかつた者		9	4	1	3	1	2	

註 一人で二つ以上の技芸を習つた者がいるので、習つた者の数は一致しない。

②⑥表 娘時代に団体に加入したことがあるか

村 別 団体加入の有無		事例 数	田野 畑村	大和 村	額部 村	春日 村	常盤 村
総	数	46	12	6	8	9	11
加入した	22	5	4	3	3	4	
加入しなかつた	24	7	2	3	6	7	

⑧表 娘時代の友人

村 別	事 例 数	田 野 畑 村	大 和 村	額 部 村	春日 村	常 盤 村
総 数	46	12	6	8	9	11
友人をもつていた者	41	10	5	6	9	11
少女時代からの友人	20	3	2	3	6	6
友達になかま	5	1	-	1	2	1
同 部 落 の 者	6	2	2	1	1	-
同 部 落 の 他	4	2	-	-	-	2
友人の特になかった者	5	2	1	2	-	-

⑨表 娘時代の友人と今もつきあっているか

村 別	事 例 数	田 野 畑 村	大 和 村	額 部 村	春日 村	常 盤 村
総 数	41	10	5	6	9	11
日常つきあっている	4	2	-	-	1	1
時々訪問又は交通する	18	4	3	2	4	5
たまにまあえ話しあう	1	-	-	1	-	-
交 際 し	18	4	2	3	4	5

然の他人は18名であつた。結婚話のあるまで全然相手を知らなかつたという者が半数以上(46名中26名)で、知つていた者でも親戚なのでゆききしてたり、はじめから結婚させるつもりで兄妹のように育てられた者、同部落内の顔みしりなど、特に交際というようなものではない。婚約してのちも37名の者は全く交際していない。見合をした者はまだしも、全く顔も知らずに結婚してゆく者もある。特に交際という程ではなく、家普請のときに夫となる人が手伝いに来たり、親と同席の場所で会つたという者が4名、本人同志の交際のあつた者は5名にすぎなかつたが、それも親戚同志の者がほとんどである。

⑩表 結婚の動機

村 別	事 例 数	田 野 畑 村	大 和 村	額 部 村	春日 村	常 盤 村
総 数	46	12	6	8	9	11
本人同志のとりきめ	1	1	-	-	-	-
親がきめたら	20	3	1	3	6	7
親戚だから	4	1	-	2	1	-
本人の考へる條件に迫りから	7	2	-	1	1	3
「家」の存続のため	7	3	4	-	-	-
先方に所望されて	2	1	-	1	-	-
他人にすいめられて	3	-	1	1	-	1
特に理由なし	2	1	-	-	1	-

際していない18名の者は、結婚につれて転出した者や死亡した者などが主である。

(8) 結 婚

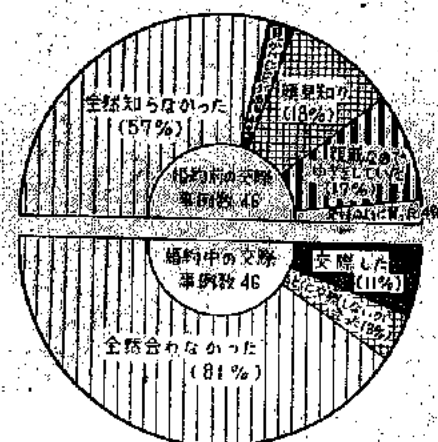
結婚のような人生にとって大きな事柄さえ、農村の婦人には自己形成の場面とはならない。本人同志で決めた例は、46名中1名のみで、親の選んだ相手に親の命するまゝに嫁いだ者が最も多く、また「家」の存続のために強制的に結婚させられた例も少なくない。結婚の相手も親戚や遠縁に当る者、親戚の知人など家同志の関係で選ばれる傾向が強く、46名中21名までが身うち

⑪表 家同志の関係

村 別	事 例 数	田 野 畑 村	大 和 村	額 部 村	春日 村	常 盤 村
総 数	46	12	6	8	9	11
義 兄 妹	1	-	1	-	-	-
従 兄 妹	4	1	1	-	1	1
親戚・姻戚・遠縁	16	6	2	3	3	2
親戚の知人	2	-	1	-	-	1
知人の親戚	1	-	-	-	-	1
同部落の知人	4	1	-	2	-	1
他 人	18	4	1	3	5	5

(4) 家族以外の者との交際

第40図 婚約前及婚約中の交際



のうち8名までが他郷人とはいへ親戚や姻戚である。

村の外の事情をどのように見知っているか旅行の経験を問うと、38名の通りである。岩手の田野畑村ではきわめて行動半径が小さく、12名中県外へ出たことのある者は2名にすぎず、それも宮城県温泉場あたりに出てきた者である。他の村では一般にその村を中心とした弧の中を動いているが、東京行の回数が多少ともあることは共通した傾向である。

大和村(山形)、額部村(群馬)、春日村(愛知)の3カ村では善光寺詣、常盤

村(岡山)では金比羅詣、大社詣などに行く者がみられるように、旅行の目的は寺社参詣、物見遊山の旅が圧倒的である。就職のために県外に出た者は、常盤村(岡山)に8名あつたのみである。男子においては、東京に遊学したり、兵役に服したり、満洲移民団に投じたり、またソベリヤに抑留生活を送ったりして、生活のまとまつた一時期を県外に過ごす機会があるのに対して、婦人の県外旅行は一時的な印象を心にしるすにとどまるといえるよう。

結婚と共に一家の嫁として親類づきあい、隣づきあいにたちまじることとなるが、村人との交際は「特になし」「みんな同じにつきあっている」という答が最も多く、46名中37名である。「自分の面白くないことや面白いことを話合つて姉妹みたいにして」「何があつてもまず往來する。わざわざ用事をこしらえてまで行く」というように個人としての親しい交際をもっている者は8名、そのうち6名は親戚に当っている。組織結合や同族結合のように家同志の交際が緊密である反面、個人としての自由な交際は伸びずにいるものといえよう。

他郷人との交際は一層少く、46名中7名にすぎない。そ

⑫表 婚約前の交際

村 別	事 例 数	田 野 畑 村	大 和 村	額 部 村	春日 村	常 盤 村
総 数	46	12	6	8	9	11
全然知らなかつた	26	4	2	3	7	9
見かけたことがある	2	1	-	1	-	-
顔みしり	8	4	2	1	1	-
親戚なのでゆききしていた	8	3	1	2	1	1
兄妹のように育つた	2	-	1	1	-	1

⑬表 婚約中の交際

村 別	事 例 数	田 野 畑 村	大 和 村	額 部 村	春日 村	常 盤 村
総 数	46	12	6	8	9	11
全然会わなかつた	37	9	4	6	8	10
特に交際しないが数回会つた	4	-	2	1	-	1
交 際 し た	5	3	-	1	1	-

②表 他郷人との交際

村 別	事例数	田 野 畑 村	大 和 村	額 部 村	春日 村	常 盤 村
総 数	46	12	6	8	9	11
他郷人との交際の無い者	39	9	5	8	8	9
他郷人との交際のある者	7	3	1	—	1	2
親戚・姻戚	3	2	—	—	1	—
行商・商人	1	1	—	—	—	—
結婚・開婚者	1	—	—	—	—	1
世話になつた人	1	—	1	—	—	—
もとの勤先の娘	1	—	—	—	—	1

④表 県外旅行の目的

村 別	総 数	田 野 畑 村	大 和 村	額 部 村	春日 村	常 盤 村
事例数	46	12	6	8	9	11
県外に旅行した者	33	2	6	7	8	10
旅行回数	111	3	16	27	27	38
湯治	8	3	3	2	—	—
寺社参詣	85	—	7	21	25	32
訪問	3	—	2	—	—	1
年人会	4	—	—	2	2	—
所 用	11	—	4	2	—	5
県外に旅行した ことの無い者	13	10	0	1	1	1

⑤表 県外に旅行した回数

村 別	総 数	田 野 畑 村	大 和 村	額 部 村	春日 村	常 盤 村	備 考
旅行した 県名							
総 数	46	12	6	8	9	11	
県外に旅行した者	33	2	6	7	8	10	
旅行回数	111	3	16	27	27	38	
茨城県	7	3	4	—	—	—	
栃木県	3	—	—	2	—	1	
群馬県	1	—	—	1	—	—	
東京都	18	—	3	10	3	2	
千葉県	5	—	1	4	—	—	
埼玉県	3	—	1	2	3	—	善光寺
新潟県	1	—	—	—	—	—	
富山県	3	—	—	—	2	—	
石川県	3	—	—	—	2	—	
福井県	1	—	—	—	1	—	
山梨県	11	—	—	—	7	2	
長野県	5	—	—	—	3	2	
岐阜県	4	—	—	—	1	3	
静岡県	7	—	—	—	2	1	出雲大社
愛知県	1	—	—	—	—	5	
兵庫県	7	—	—	—	1	5	
奈良県	1	—	—	—	—	—	金刀比羅宮
和歌山県	12	—	—	—	—	12	修学旅行
鳥取県	1	—	—	—	—	1	
徳島県	1	—	—	—	—	—	
高知県	1	—	—	—	—	—	
佐賀県	1	—	—	—	—	—	
熊本県	1	—	—	—	—	—	
大分県	1	—	—	—	—	—	
宮崎県	1	—	—	—	—	—	
鹿児島県	1	—	—	—	—	—	
沖縄県	1	—	—	—	—	—	
県外に旅行した ことの無い者	13	10	—	1	1	1	

5. 婦人の生活意識

5つの村の婦人の生活はすでにみたとおり農業の経営形態や村の社会的経済的要因に規制されて、それぞれ異なっていたが、婦人の生活意識にもまたかなりの相異がみとめられた。各調査村から約100名ずつの婦人を抽出して行つた意識調査の結果のなかから、これらの婦人が憲法や民法に規定された新しい地位をどのように認識しているか、また食事や住居などの毎日の生活や結婚、親子の同居などの家族関係についてはどんな意見を持っているかをみると次の通りであつた。

⑥表 新しい法律で女の立場はどのように変つたか

項 目	村 別	五 カ 村 合 計	田 野 畑 村 (岩手)	大 和 村 (山形)	額 部 村 (群馬)	春日 村 (愛知)	常 盤 村 (岡山)
総 数		489	91	164	94	100	100
男女同権になつた		155	3	22	36	40	52
参政権について		102	10	21	16	21	34
家の廃止について		10	—	1	4	3	2
財産の分配について		13	—	2	7	2	2
離婚の慰謝料請求について		11	—	—	2	4	5
結婚の自由について		4	—	—	—	1	3
養育費の廃止について		2	—	1	—	—	—
家事審判所ができた		1	—	1	—	—	—
労働基準法ができた		2	—	2	—	—	—
男女共学		3	—	3	—	—	—
その他		23	2	4	10	4	3
小 計		240	15	56	56	59	74
知らない者		249	76	68	38	41	26

(意識調査結果第5表)
註 1人で2種以上の内容を答えた者がいるので小計は一致しない

⑦表 ラジオの有無と新聞の購読

項 目	ラジオの有無			新聞の購読		
村 別	総 数	あ り	な し	総 数	と つ て い る	と つ て い な い
五カ村合計	100	73	27	100	64	36
田野畑村(岩手)	100	34	66	100	48	52
大和村(山形)	100	62	38	100	94	6
額部村(群馬)	100	71	29	100	62	38
春日村(愛知)	100	69	31	100	96	4
常盤村(岡山)	100	84	16	100	99	1

(意識調査結果第24、25表)

(1) 新しい婦人の地位について認識

新しい法律で婦人の地位がどのように変つたかをきいてみると、第⑥表のように約半数の者はこの問いに回答していない。殊に東北の2村では法律上の婦人の地位が戦後大幅に改正されたことも知らなくて、むしろ田野畑村(岩手)では10%、大和村(山形)で86%の者が答えたにすぎない。田野畑村(岩手)の婦人に無回答の者が多かつたのは、この村が交通の便に恵まれず、新聞やラジオの普及率も他の村にくらべてはるかに劣っていることから一応うなずけるとなるであろう。しかし、ラジオや新聞の普及率の高い他の村でも、法律上婦人の地位が向上した点についていくらかでも回答した者の率は田野畑村(岩手)よりは高くなつてゐるとはいえ、回答の内容はほとんど「男女同権」と「参政権」についてのべているのみで、婦人の地位の内容についての知識

低きわめて低いといわざるを得ない。家の「隠し」について言及した者は480名中わずかに10名であつたが、それも家族構成が最も複雑な大和村(山形)には1名いるのみで、あとは額部村(群馬)、春日村(愛知)、常盤村(岡山)の婦人たちである。「結婚の自由」についてのべた者はさらに少なく、480名中わずかに春日村(愛知)の婦人1名と常盤村(岡山)の婦人3名が答えているのみである。

(2) 生活について

以上のように法律上の地位についての認識はどの村でもきわめて低調であつたが、実生活の上でどう考えているか、食事や住居について、その改善意見をきいたが、どの村でも意見をのべた者は少なく、食事については田野畑村(岩手)で45%、大和村(山形)20%、額部村(群馬)85%、春日村(愛知)85%、常盤村(岡山)30%の婦人が答えたにすぎない。また住居について意見をのべた者は、田野畑村(岩手)80%、大和村(山形)68%、額部村(群馬)56%、春日村(愛知)20%、常盤村(岡山)47%となつてい

⑧表 女の仕事はつらいか

項目	農従業者	非農従業者	相づら	どでもない	まあな	楽だ	無回答
村別	%	%	%	%	%	%	%
五カ村合計	100	8	36	45	9	2	0
田野畑村(岩手)	100	13	20	52	10	4	1
大和村(山形)	100	6	49	25	17	3	—
額部村(群馬)	100	4	36	54	5	—	—
春日村(愛知)	100	13	40	45	2	—	—
常盤村(岡山)	100	5	34	49	8	4	—

(意識調査結果第8表)

⑨表 結婚の相手は本人が自由にえらぶのと親がきめるのとどちらがよいか

項目	総数	本人の自由	親相子で談	親きめ	わから
村別	%	%	%	%	%
五カ村合計	100	21	23	52	4
田野畑村(岩手)	100	25	9	62	4
大和村(山形)	100	12	22	63	3
額部村(群馬)	100	34	13	49	4
春日村(愛知)	100	16	38	41	5
常盤村(岡山)	100	21	32	42	5

(意識調査結果第40表)

⑩表 村の結婚の仕方

項目	総数	本人の自由	親相子で談	親きめ	わから
村別	%	%	%	%	%
五カ村合計	100	6	8	80	6
田野畑村(岩手)	100	7	10	71	12
大和村(山形)	100	2	3	91	4
額部村(群馬)	100	15	11	73	1
春日村(愛知)	100	3	9	85	3
常盤村(岡山)	100	3	9	79	9

(意識調査結果第43表)

⑪表 世帯内世代数と親子の同居についての意見

世帯内世代数						子供が結婚してからも親子は一緒にくらす方がよいでしょうか				
項目	総数	世代数				総数	よい	よい	どちらでもない	わから
村別	%	1	2	3	4	%	%	%	%	%
五カ村合計	100	5	43	50	2	100	90	7	2	1
田野畑村(岩手)	100	6	43	48	3	100	89	9	0	2
大和村(山形)	100	3	37	56	4	100	93	4	1	2
額部村(群馬)	100	7	39	53	1	100	93	5	2	0
春日村(愛知)	100	6	52	41	1	100	91	7	1	1
常盤村(岡山)	100	7	48	44	1	100	84	10	5	1

(世帯調査結果第11表)

(意識調査結果第39表)

て、5カ村のうち食生活も住生活も最も劣つていたと思われた田野畑村(岩手)の婦人からの意見が生活条件の最もよい常盤村(岡山)の婦人より常に少ないことが目立っている。意見の内容も田野畑村(岩手)では屋根やまがつた柱を直したい、畳を入れたい、部屋を明るくしたいなど、生活上最低限の希望であるが、生活程度がより高い常盤村(岡山)などでは、生活をより文化的にするための希望で、蟬の発生をふせぐための工夫や子供の勉強部屋や洋間を作りたいというような種類の意見が多い。

労働については、第38表の通りで、約半数が仕事をつらいと答えているが、注目すべきことは、山村で農村が婦人に相当の負担となつており、しかも原始的な手労働を主としている田野畑村の婦人に仕事をつらいと答えた者が38%で、他の地味も肥え、機械も相当普及している村よりつらいと答えた者の率の少ないことである。このように婦人の生活についての意見は生活程度の低い村よりはより高い村から多く出されており、その内容も生活条件のよい村ほど高度のものとなつていく。

生活環境と生活意識との間の関係は結婚や親子の同居などの家族関係の質問の場合にもみとめられた。「結婚の相手は本人が自由にえらぶのと親がきめるのとどちらがよいか」をきくと、「本人が自由にえらぶのがよい」と答えた者は、額部村(群馬)に最も多くて34%、これにひきかえ大和村(山形)では、この率は12%で、5カ村中最も低く、次いで春日村(愛知)の16%であつた。これをそれぞれの村で現在行われている結婚の仕方と比較してみると、「本人が自由にえらぶのがよい」という回答の最も高かつた額部村(群馬)では、実際に本人が結婚の相手をえらんでいる率も5カ村中一番高くて45%となつていくが、一方「本人の自由がよい」という回答の一番低い大和村では実際に本人の自由にえらんだ結婚の率も低くなつていて、結婚の相手を本人が自由にえらぶことを望む率は、実際に村で行われている率に正比例して高くなつていくのがわかる。

親子の同居についても、「子供が結婚しても親子は同居した方がよい」と答えている者の率は、5カ村中大和村(山形)と額部村(群馬)に比較的高くて、いずれも93%を占めているが、この2カ村の家族構成は他村より複雑で、家の重なりも多く世帯内に同居する世代数も8世代以上を含む世帯が大和村(山形)では60%、額部村(群馬)では54%に上つていくのである。

このように婦人の生活意識が常にその生活実態と密接につながつていくのをみると、都市婦人と比較してその意識の立ちおくれがしばしば指摘される農村婦人の生活意識を向上するためには、単なる啓蒙活動ばかりでなく、生活そのものの改良こそ重要なモメントとなるであろう。

第 5 部

統 計 表

ここに収録した結果表は、この報告書の基礎資料となつてゐるもので、本文中に引用したほとんどすべての統計表及びグラフは、この中の資料より作成したものである。調査は第1部調査の概要で説明した通り、いろいろの分野に分れてゐるが、ここには次のものを収めてゐる。

1. 世帯調査結果表

村を代表する特定の部落 2—3 を選定し、部落内の全戸に対して行つたものである。各調査村において選定された部落は次の通りであつたが、この報告書では部落別の分析を省略したため、統計表もすべて村単位に合計した。

(1) 田野畑村(岩手) (2) 大和村(山形)

田野畑 速 枝

大 和 古 関

甲 地

(3) 額部村(群馬) (4) 春日村(愛知)

額部村 上之切

長福寺 分 地

岩 染

(5) 常盤村(岡山)

三 輪

中 原

2. 意識調査結果表

各調査村の農家台帳より、18 才以上の女子約 100 名を抽出して行つた結果である。

3. 事例調査結果

選定した特定部落の上中下の階層から約 10 戸の農家を選んで行つたが、ここには各調査村から 4—5 戸の主人及び主婦の生活時間及び調査農家の概要を収録した。

I 世帯調査結果表

1. 調査農家の状態

第1表 所有耕地面積広狭別農家数

村 別	調 査 農家数	所 有 耕 地 面 積 広 狭 別										
		0	3反未満	反 反	町町	町町	町町	町町	町町	町町	町町	町町
カ 村 合 計	499	10	55	70	184	88	31	23	16	21	1	1
田野畑村(岩手)	68	1	5	9	16	21	15	1	-	-	-	-
大和村(山形)	150	2	9	13	28	29	12	20	16	20	1	1
額部村(群馬)	108	1	18	18	52	13	3	2	-	1	-	-
春日村(愛知)	85	4	7	11	51	12	-	-	-	-	-	-
常盤村(岡山)	88	2	16	19	37	13	1	-	-	-	-	-

第2表 経営耕地面積広狭別農家数

村 別	調 査 農家数	経 営 耕 地 面 積 広 狭 別										
		0反未満	反 反	町町	町町	町町	町町	町町	町町	町町	町町	町町
カ 村 合 計	499	59	69	204	90	27	27	16	17	-	-	-
田野畑村(岩手)	68	5	9	19	23	11	1	-	-	-	-	-
大和村(山形)	150	10	13	28	30	11	24	18	16	-	-	-
額部村(群馬)	108	14	17	60	14	-	2	-	-	-	-	-
春日村(愛知)	85	10	11	58	6	-	-	-	-	-	-	-
常盤村(岡山)	88	20	12	39	17	-	-	-	-	-	-	-

第3表 所有山林面積広狭別農家数

村 別	調 査 農家数	所 有 山 林 面 積 広 狭 別										
		0	5反未満	反 反	町町	町町	町町	町町	町町	町町	町町	町町以上
カ 村 合 計	499	367	45	21	33	22	5	4	1	-	-	1
田野畑村(岩手)	68	27	1	-	13	16	5	4	1	-	-	1
大和村(山形)	150	126	12	8	2	2	-	-	-	-	-	-
額部村(群馬)	108	44	29	13	18	4	-	-	-	-	-	-
春日村(愛知)	85	85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
常盤村(岡山)	88	85	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第4表 農地改革前の所有耕地面積広狭別農家数

村 別	調 査 農家数	所 有 耕 地 面 積 広 狭 別										
		0	3反未満	反 反	町町	町町	町町	町町	町町	町町	町町	町町以上
カ 村 合 計	499	145	98	58	92	48	25	9	6	12	6	3
田野畑村(岩手)	68	9	3	10	15	19	10	-	1	-	1	-
大和村(山形)	150	82	22	4	14	5	9	5	2	2	2	2
額部村(群馬)	108	11	29	17	32	8	3	1	2	5	-	-
春日村(愛知)	85	17	20	17	16	8	1	2	-	2	2	-
常盤村(岡山)	88	26	24	10	15	5	2	1	1	8	1	-

第5表 屋敷の広さ

項目	調査農家数	30坪未満	30坪	50坪	100坪	200坪	300坪	500坪	1,000坪以上	不明
五カ村合計	499	20	26	123	177	84	48	8	2	9
田野畑村(岩手)	68	8	9	14	16	10	5	5	2	2
大和村(山形)	150	6	10	36	48	24	19	3	1	5
須部村(群馬)	108	1	3	25	42	20	12	1	1	1
春日村(愛知)	85	2	1	11	33	27	11	1	1	1
常盤村(岡山)	88	3	6	37	38	3	1	1	1	1

第6表 たしみ数

項目	調査農家数	5畝未満	10畝未満	10—20	20—30	30—50	50—100	100畝以上	不明
五カ村合計	499	7	18	104	151	184	28	3	4
田野畑村(岩手)	68	0	5	17	9	23	10	1	1
大和村(山形)	150	1	4	25	40	68	11	1	1
須部村(群馬)	108	1	5	17	52	28	2	1	1
春日村(愛知)	85	1	2	3	24	49	4	1	1
常盤村(岡山)	88	1	2	12	26	16	1	1	1

第7表 住居、屋敷神及び風呂の所有状態

項 目 村 別	調 査 農家数	住 居				屋 敷 神			風 呂			
		持 家	借 家	間 借	不 明	あ り	な し	不 明	専 有	共 有	な し	不 明
5カ村合計	499	479	5	9	13	163	329	7	439	4	46	1
田野畑村 (岩手)	68	62	1	-	5	1	65	2	48	-	18	1
大和村(山形)	150	143	1	-	3	43	106	1	139	2	9	1
須部村(群馬)	108	105	-	1	2	105	1	2	101	-	3	1
春日村(愛知)	85	80	-	2	3	4	79	2	74	2	5	1
常盤村(岡山)	88	85	3	-	-	10	78	-	77	-	11	1

第8表 水源

水 源		調査農家数	井 戸			施 水			湧 水		
			小 計	専 有	共 有	小 計	専 有	共 有	小 計	専 有	共 有
五 カ 村 合 計		499	446	401	45	21	10	11	35	28	7
田野畑村(岩手)		68	33	25	10	14	6	8	19	18	1
大和村(山形)		150	146	142	4	3	-	3	1	1	1
須部村(群馬)		108	92	67	25	4	4	-	13	6	7
春日村(愛知)		85	85	81	4	-	-	-	2	2	1
常盤村(岡山)		88	88	86	2	-	-	-	1	1	1

注：(1) 八ヶ戸と湧水を併用している世帯があるものの総数は一致しない。

2. 常住の世帯員

第9表 家族構成

村別	調査農家数	世帯員総数	一世帯平均	男	女	子	孫	父	母	兄弟姉妹	祖父母	兄弟姉妹	いとこ	甥姪	姻族	その他				
五カ村合計	499	3,109	6.23	499	435	764	609	140	257	1	2	53	171	2	4	115	3	3	13	2
田野畑村(岩手)	68	443	6.52	66	60	117	95	23	42	1	1	6	20	1	1	5	1	1	1	1
大和村(山形)	150	986	6.58	150	133	229	163	49	102	1	2	5	60	1	1	46	1	1	7	2
須部村(群馬)	108	754	6.98	108	94	181	167	36	77	1	1	15	35	1	1	35	1	1	1	1
春日村(愛知)	85	465	5.47	85	73	124	90	15	19	1	1	12	27	1	1	6	1	1	1	1
常盤村(岡山)	88	461	5.24	88	75	113	85	17	17	1	1	15	29	1	1	11	1	1	2	2

第10表 世帯内夫婦組数

村 別	調 査 農家数	夫婦組数別農家数			
		0	1	2	3
五カ村合計	499	41	317	134	7
田野畑村(岩手)	68	7	41	19	1
大和村(山形)	150	10	98	40	2
須部村(群馬)	108	9	60	35	4
春日村(愛知)	85	6	59	20	1
常盤村(岡山)	88	9	59	20	1

同上 %

五カ村合計	100	8	64	27	1
田野畑村(岩手)	100	10	60	28	2
大和村(山形)	100	7	65	27	1
須部村(群馬)	100	8	56	32	4
春日村(愛知)	100	7	69	24	1
常盤村(岡山)	100	10	67	23	1

第11表 世帯内世代数

村 別	調査 農家数	世代数別農家数			
		1	2	3	4
五カ村合計	499	26	210	248	15
田野畑村(岩手)	68	4	28	33	3
大和村(山形)	150	4	56	84	6
須部村(群馬)	108	7	42	53	4
春日村(愛知)	85	5	44	29	1
常盤村(岡山)	88	6	42	39	1

同上 %

五カ村合計	100	5	43	50	2
田野畑村(岩手)	100	6	43	48	3
大和村(山形)	100	3	37	56	1
須部村(群馬)	100	7	39	53	1
春日村(愛知)	100	6	52	41	1
常盤村(岡山)	100	7	48	44	1

第12表 世帯員数

村別	調査農家数	世帯員総数	一世帯平均	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
五カ村合計	499	3,109	6.23	3	22	43	51	64	71	76	66	43	19	11	8	1	1	1
田野畑村(岩手)	68	443	6.52	2	4	6	8	5	8	10	14	8	3	1	2	1	1	1
大和村(山形)	150	986	6.58	1	8	11	6	28	21	29	27	10	8	5	1	1	1	1
須部村(群馬)	108	754	6.98	1	5	4	11	14	10	16	18	4	4	4	1	1	1	1
春日村(愛知)	85	465	5.47	1	7	10	10	17	12	4	7	4	2	1	1	1	1	1
常盤村(岡山)	88	461	5.24	1	2	4	16	20	20	8	2	3	2	1	1	1	1	1

第24表 家族の指導

— 世帯主たる男子のほかに —

項 目	五ヶ村合計					田野畑村(岩手)					大 概	
	事例数	家計の理	仕方の理	村の集會	その他あい	事例数	家計の理	仕方の理	村の集會	その他あい	事例数	家計の理
世帯主のみ		159	178	178	167		25	24	26	20		58
		14	6	9	14		1	2	1	2		4
		5	5	2	4		-	1	-	2		4
	193	1	1	1	1	28	-	-	-	-	58	1
		2	1	-	4		1	-	-	3		-
世帯主 + 妻		-	-	1	1		-	-	1	1		-
		2	2	2	2		1	1	1	1		-
世帯主 + 息子		24	22	25	25		4	3	4	4		1
	26	1	2	1	1	4	-	-	-	-	1	-
世帯主 + 母		-	1	-	-		-	1	-	-		-
		-	-	-	-		-	-	-	-		-
世帯主 + 息子(養子)		170	153	130	139		25	19	22	22		68
		11	10	6	8		1	5	-	3		1
		1	-	-	-		-	-	-	-		-
	196	5(5)	20(18)	42(38)	34(31)	29	2	2	7	2	71	2(2)
		1	1	-	1		1	1	-	1		-
世帯主 + 妻		-	2	-	-		-	2	-	-		-
		-	-	-	-		-	-	-	-		-
世帯主 + 息子(養子)		-	-	1(1)	1(1)		-	-	-	-		-
		-	-	-	-		-	-	-	-		-
世帯主 + 妻		10	17	14	13		1	1	-	-		4
		-	-	-	2		-	-	-	-		-
世帯主 + 息子(養子)		1	-	1(1)	1		-	-	1	-		4
	18	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
世帯主 + 妻		-	-	-	1		-	-	-	-		-
		-	-	-	1		-	-	-	-		-
世帯主 + 兄弟		22	19	20	22		-	-	-	-		10
	24	2	3	2	1	-	-	-	-	-	10	-
世帯主 + 兄弟		-	2	2	-		-	-	-	-		-
		-	-	-	-		-	-	-	-		-
世帯主 + 兄弟		8	10	10	6		-	-	-	-		-
	11	2	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-
世帯主 + 兄弟		-	-	-	-		-	-	-	-		-
		-	-	-	-		-	-	-	-		-
世帯主 + 兄弟		3	2	2	2		-	-	-	-		2
	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	2	-
世帯主 + 兄弟		-	-	-	-		-	-	-	-		-
		-	-	-	-		-	-	-	-		-
世帯主 + 兄弟		1	-	-	-		-	-	-	-		-
	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事 例 数		472				62						

注 1. 括弧内の数字は養子を示す。 2. 家長層及び主婦層についての表(第23-26表)ではすべて男世帯(18才以上の男子のいない世帯)及び女世帯(18才以上の男子のいない世帯)を集計から除外した。

者 或 は 代 表 者 (その2)

— 才以上の男子がいる場合はどうなるか —

村 (山形)			額 部 村 (群馬)				春日 村 (愛知)				菅 井 村 (岡山)							
仕 事 の 理	村 の 集 会	そ の 他 の い	事 例 数	家 計 の 理	仕 事 の 理	村 の 集 会	そ の 他 の い	事 例 数	家 計 の 理	仕 事 の 理	村 の 集 会	そ の 他 の い	事 例 数	家 計 の 理	仕 事 の 理	村 の 集 会	そ の 他 の い	
56	57	56		31	32	35	35		27	22	20	28		35	34	30	23	
-	-	1		2	1	-	-		9	2	4	6		2	1	5	5	
1	1	1		1	1	-	-		-	2	1	1		-	-	-	-	
-	-	-	36	-	-	-	-	36	-	-	-	-	35	-	-	-	-	
-	-	-		1	1	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
-	-	-		1	1	-	-		-	-	1	1		-	-	-	-	
-	-	-		1	1	1	1		-	-	-	-		-	-	-	-	
1	1	1		6	5	6	6		3	4	4	4		10	9	10	13	
-	-	-	6	-	1	-	-	4	1	-	-	-	11	1	1	1	1	
-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
57	59	56		38	35	18	20		17	10	10	11		25	24	27	21	
-	-	-		3	1	2	1		5	3	3	8		2	1	1	1	
-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
9(6)	7(6)	11(6)	48	2	6(5)	7(6)	11(6)	26	2(4)	2(3)	9(5)	8(4)	27	-	1(3)	2(5)	2(5)	
-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
-	-	-		-	-	-	-		-	-	1(5)	1(5)		-	-	-	-	
4	3	2		4	4	3	4		4	4	4	3		3	4	4	4	
-	1	2		-	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
1	-	-	4	-	-	0	-	4	-	-	-	-	5	1	-	-	-	
-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
10	10	10		6	6	5	5		4	4	4	5		2	2	2	2	
1	-	-	6	-	-	-	-	5	1	1	1	2	3	-	-	-	-	
2	-	-		-	-	1	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
-	-	-		5	5	5	1		3	5	5	5		-	-	-	-	
-	-	-	6	1	1	1	5	5	1	-	-	-		-	-	-	-	
1	1	2		-	-	-	-		-	-	-	-		1	1	1	1	
1	1	-		-	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
-	-	-		1	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	
145		102				80				82								

の女子のいない世帯)及び女世帯(18才以上の男子のいない世帯)を集計から除外した。

——食事を怠める者、炊事、洗濯、裁

[illegible]

注：括弧内の数字は男子。％の計算には不明を除外した。0*＝1％未満

担 監 者 (2 内 1)

縫、掃除及び子守をするのは誰か、——

[illegible]

担 当 者 (その2)

子がいる場合にはどうなるか

項 目		田 野 畑 村 (畠 手)						
		事例数	食糧を 与ふる	扶 養	洗 濯	裁 縫	掃 除	予 算
妻 の 他 明	妻 の 他 明	18	18	16	15	15	10	4
	妻 の 他 明		1	2	3	5(0)	1	5
母 の 他 明	母 の 他 明	1	1	1	1	1	1	1
	母 の 他 明		1	1	1	1	1	1
妻 母 の 他 明	妻 母 の 他 明	8	7	3	6	4	3	1
	妻 母 の 他 明		1	1	2	4	2	1
妻 母 の 他 明	妻 母 の 他 明	25	23	11	1	1	1	6
	妻 母 の 他 明		1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	5
妻 母 の 他 明	妻 母 の 他 明	8	7	7	1	1	1	1
	妻 母 の 他 明		1(0)	1(0)	2(0)	1(0)	4(0)	1
妻 母 の 他 明	妻 母 の 他 明	2	2	2	2	3	2	4
	妻 母 の 他 明		2	2	2	3	2	4
妻 母 の 他 明	妻 母 の 他 明	2	2	2	2	2	2	2
	妻 母 の 他 明		2	2	2	2	2	2

62

註 1 *は18才以上の女子の組合せ
2 子の他 の括弧内数字は男子の家事担当者

項 目 担 当 者		大	
		事例数	食事を もつる
妻のみのみ	妻のみのみ 妻のみのみ 妻のみのみ	31	31
母のみのみ	母のみのみ 母のみのみ 母のみのみ	3	3
妻のみのみ	妻のみのみ 妻のみのみ 妻のみのみ	37	20
妻のみのみ	妻のみのみ 妻のみのみ 妻のみのみ	44	39
妻のみのみ	妻のみのみ 妻のみのみ 妻のみのみ	19	13
娘のみのみ	娘のみのみ 娘のみのみ 娘のみのみ	2	2
娘のみのみ	娘のみのみ 娘のみのみ 娘のみのみ	3	2
妻のみのみ	妻のみのみ 妻のみのみ 妻のみのみ	5	5
妻のみのみ	妻のみのみ 妻のみのみ 妻のみのみ	1	1
母のみのみ	母のみのみ 母のみのみ 母のみのみ	1	1
事 例 数			

和 村 (山 形)				
水 事	洗 濯	裁 縫	掃 除	子 守
31	29	30	24	14
-	1	-	6	3
-	-	-	-	10
-	1	1	1	4
3	2	2	1	-
-	-	1	-	-
-	1	-	2	-
-	-	-	-	3
20	30	32	19	1
14	1	-	7	25
3	3	2	2	-
-	1	1	1	-
-	2	2	-	-
-	-	-	8	(1)
-	-	-	-	10
37	8	4	11	21
1(4)	9(10)	14(11)	14(14)	1(5)
1	3(1)	2(1)	1	1
1	4	2	1	-
-	-	-	2	3
-	-	-	1	16
8	7	2	2	0
5	1	-	-	7
3(1)	2(3)	4(5)	6(5)	1
2	5	6	1	-
-	1	2	3	-
-	-	-	5	-
-	-	-	-	8
2	2	2	2	2
2(1)	1(1)	1(1)	1(1)	-
-	1	1	1	1
-	-	-	-	1
5	2	4	1	2
-	3	1	4	2
-	-	-	-	1
-	1	1	1	-
1	-	-	-	-
-	-	4	-	1
1	-	-	-	-
-	-	-	-	-

項 目 担 当 者	額 村 (計 馬)						
	事例数	食事もめと	炊事	洗濯	裁縫	掃除	平均
妻のみ	26	26	27	27	23	23	23
妻の母のみ	1	1	1	1	1	1	1
妻の母の母のみ	1	1	1	1	1	1	1
娘のみ	2	2	2	2	2	2	2
妻十母	23	11 12	17 6	17 2	19 2	14 4	14 4
妻十娘	33	27 (9)	13 300	5 100	5 1200	3 100	3 100
娘十娘	1	(1)	1	1	1	1	1
母十娘	2	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
妻十娘十娘	11	10 1	8 10	4 4	1 0	3 1	3 1
妻十娘十娘	1	1	1	1	1	1	1

146

102

注 1 * は18才以上の女子の組合せ
2 「その他」の括弧内数字は男子の家事担当者

るが——

第27表 婚 入 (その1)

〔註〕 世帯員中輸入、養子、入夫など他家からきた者の出身地について集計

第28表 婚 入 (その2)

「大真」の古く

(田舎村のつづき)

年代別 嫁入者の 出身地	総数			明治			大正			昭和		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
小計	18	1	18	8	-	8	3	-	3	8	1	7
下田佐藤義村	6	-	6	2	-	2	1	-	1	3	-	3
安家村	2	-	2	1	-	1	1	-	1	-	-	-
岩泉町	5	-	5	1	-	1	-	-	-	4	1	3
小津村	2	-	2	2	-	2	1	-	1	-	-	-
田老町	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1
合巻村	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
九戸新野田村	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-

大和村(山形)

年代別 嫁入者の 出身地	総数			明治			大正			昭和		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
総数	252	52	200	52	5	47	54	10	44	146	37	109
部落内	59	13	46	12	1	11	13	2	11	34	10	24
小計	45	1	34	9	1	8	15	3	12	21	2	14
田老町	3	0	3	1	1	-	1	-	1	1	-	-
佐藤義村	11	1	10	4	-	4	5	1	4	2	-	2
新野田	6	3	3	1	-	1	1	-	1	4	3	1
新野田	15	2	13	2	-	2	6	-	6	7	2	5
新野田	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1
新野田	5	2	3	1	-	1	4	1	3	1	2	2
新野田	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1
小計	45	27	118	31	3	28	26	5	21	88	19	69
鶴岡市	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-
田老町	3	-	3	-	-	-	2	-	2	1	-	1
田老町	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1
安家村	2	2	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
余目町	14	4	10	2	-	2	3	-	2	9	3	6
長瀬村	4	-	4	2	-	2	1	-	1	1	-	1
八栗里村	10	1	9	1	-	1	2	-	2	7	1	6
常万村	8	1	7	4	-	4	2	-	2	2	-	2
横山村	5	-	5	-	-	-	3	-	3	2	-	2
八栗里村	5	1	4	-	-	-	1	-	1	2	1	1
十六合村	32	8	24	7	2	5	3	-	2	22	5	17
旗岡町	9	-	9	4	-	4	-	-	-	5	-	5
長瀬村	25	6	19	4	-	4	-	-	-	3	15	10
東栄村	3	-	3	-	-	-	-	-	-	3	-	3
清川村	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1
立谷沢村	3	-	3	-	-	-	-	-	-	3	-	3
田老町	2	-	2	1	-	1	-	-	-	1	-	1
大山町	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1
東郷岡野上郷村	13	1	12	4	-	4	1	-	1	8	1	7
金山村	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1

〔つづき〕

(つづき) 第28表
(大和村つづき)

年代別 嫁入者の 出身地	総数		
	計	男	女
鶴岡市	1	1	-
南平田村	1	-	1
最上郡古川村	1	-	1
東村山郡	1	1	-
小計	3	1	2
秋田県	2	1	1
新潟県	1	-	1

年代別 嫁入者の 出身地	総数		
	計	男	女
総数	167	18	149
部落内	18	4	14
小計	47	6	41
本館	13	1	12
南後	10	3	7
上	14	1	13
内記入者	7	1	6
小計	98	8	90
甘栗村	4	-	4
新屋村	6	1	5
新島町	7	1	6
小幡町	17	-	17
富岡町	6	-	6
黒岩村	4	-	4
一ノ宮町	3	2	1
高瀬村	18	-	18
秋畑村	15	2	13
馬山村	3	-	3
吉田村	5	1	4
丹生村	1	-	1
高田村	2	-	2
鶴岡市	1	-	1
郡内	3	1	2
多野郡美里村	1	-	1
多胡村	1	-	1
桐生市	1	-	1
小計	4	-	4
東京府	1	-	1
茨城県	1	-	1
岩手県	1	-	1

結婚 入 (その2)

年代別 嫁入者の 出身地	明治			大正			昭和		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
小計	-	-	1	1	-	1	-	-	1
下田佐藤義村	-	-	-	-	-	1	-	-	1
安家村	-	-	-	-	-	1	-	-	1
岩泉町	-	-	-	-	-	1	-	-	1
小津村	-	-	-	-	-	1	-	-	1
田老町	-	-	-	-	-	0	1	2	3
合巻村	-	-	-	-	-	2	1	1	3
九戸新野田村	-	-	-	-	-	1	-	1	2

額部村(群馬)

年代別 嫁入者の 出身地	明治			大正			昭和		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
小計	2	32	34	6	34	40	10	68	78
部落内	1	6	7	1	2	3	2	6	9
小計	11	8	19	2	6	8	4	24	32
本館	4	5	9	1	4	5	-	4	9
南後	2	1	3	-	1	1	2	5	7
上	-	-	-	-	1	1	2	2	4
内記入者	3	1	4	-	1	1	10	1	11
小計	15	28	43	3	25	28	4	50	78
甘栗村	1	2	3	-	2	2	-	1	3
新屋村	2	1	3	-	1	1	-	3	4
新島町	2	2	4	-	2	2	1	2	5
小幡町	2	6	8	-	6	6	-	9	15
富岡町	-	-	-	-	1	1	-	5	6
黒岩村	1	-	1	-	-	-	3	3	6
一ノ宮町	-	-	-	-	-	-	2	2	4
高瀬村	2	5	7	-	5	5	-	11	18
秋畑村	2	6	8	-	2	2	4	7	13
馬山村	-	-	-	-	2	2	-	1	3
吉田村	-	-	-	-	1	1	4	1	6
丹生村	-	-	-	-	-	-	-	1	1
高田村	-	-	-	-	-	-	-	1	1
鶴岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
郡内	-	-	-	-	-	-	-	1	1
多野郡美里村	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多胡村	-	-	-	-	-	-	-	1	1
桐生市	-	-	-	-	-	-	-	1	1
小計	1	-	1	-	1	1	-	3	4
東京府	-	-	-	-	-	-	-	1	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	1

常盤村(岡山)

年代別 嫁入者の 出身地	明治			大正			昭和		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
総数	130	22	108	27	2	25	35	8	27
部落内	16	1	15	6	-	6	5	1	4
内(真壁)	1	-	1	-	-	-	-	-	-

〔つづき〕

[illegible]

種別	種別	総数		計
		男	女	
五方村合計	総部村果園 落	数内内内外外 650 108 72 378 63 8	120 29 15 62 12 2	530 79 57 316 51 7
目野畑村	総部村果園 落	数内内内外外 62 18 29 16 1	10 4 4 2 -	52 14 25 13 -
大和村	総部村果園 落	数内内内外外 240 40 32 139 25 4	50 11 6 29 4 -	190 29 26 110 21 4
御郡村	総部村果園 落	数内内内外外 148 23 20 82 22 1	28 8 2 18 5 -	120 15 18 69 17 1
春日村	総部村果園 落	数内内内外外 118 13 9 86 10 -	18 4 2 9 3 -	100 9 7 77 7 -
常盤村	総部村果園 落	数内内内外外 82 14 3 56 6 4	14 2 1 9 -	68 12 2 47 5 2

社 世梅主のきよりだいの野田

第30表 婚 出

[illegible]

治			大 正			昭 和		
男	女	計	男	女	計	男	女	計
18	83	181	30	151	368	72	29	101
9	18	30	6	24	51	14	3	17
3	9	26	4	22	54	8	4	12
1	52	105	16	89	216	41	11	52
1	4	18	4	14	40	7	3	10
—	—	2	—	2	7	2	—	2
3	—	15	2	18	33	5	21	26
2	3	3	1	2	10	1	—	1
1	4	5	1	7	15	2	1	3
—	4	4	—	4	7	2	—	2
—	—	—	—	—	1	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	25	55	10	45	151	31	12	43
4	7	11	2	9	18	5	1	6
2	2	8	2	6	20	2	1	3
3	14	29	5	24	93	21	7	28
—	2	6	1	5	17	3	1	4
—	—	1	—	1	3	—	—	—
3	11	38	7	31	96	18	7	25
1	2	5	1	4	6	6	—	6
—	2	5	—	5	13	2	1	3
—	6	23	5	18	52	7	4	11
—	1	5	1	4	15	3	1	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	21	49	8	41	45	7	8	15
2	2	5	1	4	4	1	—	1
—	1	5	1	4	3	1	—	1
1	18	34	4	30	33	4	2	6
—	—	5	2	3	5	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	15	24	3	21	43	11	3	14
—	4	6	1	5	4	1	—	1
—	—	—	—	—	3	1	—	1
—	10	15	2	13	31	7	2	9
—	1	2	—	2	2	—	—	—
—	—	1	—	1	3	2	—	2

にわたって集計。

(その2) 田野畑村(岩手)

[illegible]

(田野加村つぎ)														
年代別 籍 出 地			総 数			明 治			大 正			昭 和		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
村 内	尾 戸 栗 代		1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	
県	小 計		15	2	13	4	-	4	-	4	-	2	-	
	下閉伊郷菅代村		3	-	3	1	-	1	-	1	-	2	-	
	〃 安家村		2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	〃 小本村		5	1	4	1	-	2	-	2	-	2	-	
	宮 古 市		1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
	釜 石 市		1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
	盛 岡 市		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	岩手郡松尾村		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	〃 浪民村		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
県外(群馬県)		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	

大 和 村 (山形)														
年代別 籍 出 地			総 数			明 治			大 正			昭 和		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			240	60	190	34	9	25	55	10	45	157	55	102
部 落 内			40	11	29	11	4	7	11	2	9	18	6	12
村	小 計		82	6	76	4	2	2	6	2	4	20	3	17
	小 出 新 垣		12	3	9	1	1	-	3	1	2	8	1	7
	南 野 館		5	-	5	-	-	-	1	-	1	4	-	4
	堀 新 田		2	-	2	1	-	1	1	-	1	-	-	-
	堤 新 田		3	-	3	-	-	-	1	-	1	2	-	2
	沢 新 田		4	2	2	1	-	1	2	1	1	1	1	1
	鷺 治 郎		1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	内 赤 刺 新 田		8	-	8	-	-	-	-	-	-	3	-	3
	赤 刺 新 田		2	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	2
	県	小 計		189	29	160	17	3	14	29	5	24	93	21
酒 田 市			8	2	6	-	-	-	-	-	-	8	2	6
鶴 岡 市			10	3	7	1	-	1	3	1	2	6	2	4
東田川郡新堀村			4	-	4	1	-	1	-	-	3	-	3	-
〃 桑 村			2	-	2	1	-	1	-	-	1	-	1	-
〃 余目町			6	-	6	1	-	-	-	-	5	-	5	-
〃 押切村			1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
〃 八栗里村			7	1	6	1	-	1	3	1	2	3	1	2
〃 常万村			12	8	4	1	-	1	3	1	2	8	10	10
〃 横山村			5	-	5	-	-	-	-	-	-	5	-	5
〃 八栗島村			2	-	2	-	-	-	1	-	1	1	-	1
〃 六合村			14	1	13	2	-	2	6	1	4	7	1	6
内 〃 藤島町			5	2	3	-	-	-	3	1	2	3	1	2
〃 谷川町			30	7	23	1	2	2	3	-	3	23	6	17
〃 奥 市			1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
〃 東栄村			3	1	2	-	-	-	-	-	-	3	1	2

【次頁へつづく】

(8) 相続、分家、婚姻について

第 31 表 世帯主のきょうだいの相続、分家、養子、嫁入、同居の状況

世帯主の性別	年齢	総数	相続	分 家					養子	嫁入	同 居					合計
				小計	母内	妻内	妻外	独立			小計	同居	別居	出稼	兵役	
男	総数	1,000 (38)	87 (3)	104 (3)	14 (1)	10 (1)	8 (1)	13 (2)	574 (11)	114 (4)	173 (5)	14	25 (1)	1 (3)	1 (3)	100 (3)
	長男	311 (38)	22 (1)	27 (1)	3 (1)	11 (3)	11 (3)	14 (3)	7 (3)	-	15 (1)	11 (1)	1	1	1 (1)	50 (3)
	次男	238 (38)	14 (1)	16 (1)	14 (1)	11 (1)	11 (1)	11 (1)	11 (1)	-	21 (1)	20 (1)	-	1	-	11 (1)
	三男	173 (38)	11 (1)	11 (1)	11 (1)	11 (1)	11 (1)	11 (1)	11 (1)	-	11 (1)	11 (1)	1	1 (1)	1	11 (1)
	四男以下	278 (38)	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1	1	1 (1)	1 (1)	1 (1)
女	総数	222 (38)	4 (1)	11 (1)	7 (1)	1 (1)	1 (1)	1	1	21 (1)	17 (1)	13 (1)	1	1 (1)	1 (1)	11 (1)
	長女	104 (38)	1	1	1	1	1	1	1	11 (1)	11 (1)	11 (1)	1	1 (1)	1 (1)	11 (1)
	次女	118 (38)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1 (1)	1 (1)	11 (1)
	三女	104 (38)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1 (1)	1 (1)	11 (1)
	四女以下	104 (38)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1 (1)	1 (1)	11 (1)
男	総数	200 (38)	11 (1)	11	11	7	1 (1)	10	63 (3)	6	2	2	2	-	-	11 (1)
	長男	112 (38)	11 (1)	11	11	7	1 (1)	10	63 (3)	6	2	2	2	-	-	11 (1)
	次男	112 (38)	11 (1)	11	11	7	1 (1)	10	63 (3)	6	2	2	2	-	-	11 (1)
	三男	112 (38)	11 (1)	11	11	7	1 (1)	10	63 (3)	6	2	2	2	-	-	11 (1)
	四男以下	112 (38)	11 (1)	11	11	7	1 (1)	10	63 (3)	6	2	2	2	-	-	11 (1)
女	総数	112 (38)	11 (1)	11	11	7	1 (1)	10	63 (3)	6	2	2	2	-	-	11 (1)
	長女	112 (38)	11 (1)	11	11	7	1 (1)	10	63 (3)	6	2	2	2	-	-	11 (1)
	次女	112 (38)	11 (1)	11	11	7	1 (1)	10	63 (3)	6	2	2	2	-	-	11 (1)
	三女	112 (38)	11 (1)	11	11	7	1 (1)	10	63 (3)	6	2	2	2	-	-	11 (1)
	四女以下	112 (38)	11 (1)	11	11	7	1 (1)	10	63 (3)	6	2	2	2	-	-	11 (1)

注 1. 数字は死亡者を含む。(括弧内は死亡者数)

2. 15才未満の死亡者は集計から除外した。

3. 世帯主を含む。

第 32 表 世帯主のきょうだいの相続、分家、婚姻時の年齢

年齢別			総数	5才未満	5-9才	10-14才	15-19才	20-24才	25-29才	30-34才	35-39才	40-44才	45-49才	50-54才	55才以上	合計
五ヶ村	男	総数	700 (29)	3	3	1 (1)	30 (2)	140 (3)	337 (3)	130 (2)	114 (3)	18	9	2	19 (3)	
		相続	331 (19)	1	-	2	22 (2)	60 (1)	63 (2)	62 (1)	58 (2)	31	13	8	2 (2)	
		分家	187 (20)	-	-	-	2	38 (2)	83 (10)	47 (4)	13 (2)	2	3	1	-	3 (1)
		独立	53 (19)	-	-	-	0	18 (6)	22 (3)	9 (1)	2	-	-	-	-	2 (1)
		養子	127 (22)	2	3	2 (1)	8	39 (6)	59 (13)	12 (1)	5	1 (1)	-	-	-	1 (1)
五ヶ村	女	総数	643 (21)	2	1	1	113 (10)	374 (11)	98 (14)	19 (2)	9	7 (1)	2	1	16 (3)	
		相続	45 (1)	-	-	1	8 (1)	15	6	6	2	2	2	-	-	3
		分家	14 (2)	-	-	-	3 (1)	3 (1)	4	-	-	3	1	-	-	-
		独立	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
		養子	6 (1)	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1 (1)
五ヶ村	男	総数	79 (2)	-	1	-	3	17	25 (1)	15	9	4	2	1	2 (1)	
		相続	38 (1)	-	-	-	1	9	8 (1)	7	5	4	2	1	-	1
		分家	27	-	-	-	-	8	12	6	4	-	-	-	-	-
		独立	4 (1)	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	1 (1)
		養子	10	-	1	-	2	3	3	1	-	-	-	-	-	-
五ヶ村	女	総数	68 (8)	-	-	-	26 (4)	26 (3)	10	-	-	2	-	-	-	1 (1)
		相続	4	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	1
		分家	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		独立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		養子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
五ヶ村	男	総数	218 (35)	1	1	2	3	43 (7)	57 (13)	36 (4)	26	8	7 (1)	4	1	5 (2)
		相続	109 (8)	-	-	1	1	17 (3)	15	19 (7)	23	3	7 (1)	1	1	3 (1)
		分家	26 (10)	-	-	-	1	4 (3)	12	7 (2)	1	-	-	-	-	1 (1)
		独立	32 (5)	-	-	-	1	9 (1)	12 (3)	7 (1)	2	-	-	-	-	-
		養子	51 (12)	1	1	1	-	13 (2)	28 (3)	3	3	2	-	-	-	1 (1)
五ヶ村	女	総数	232 (39)	1	1	-	30 (3)	156 (3)	24 (5)	8	6	4	2	1	-	2
		相続	24 (1)	-	-	-	3 (1)	9	3	4	2	-	1	-	-	2
		分家	9 (2)	-	-	-	1 (1)	3 (1)	2	-	-	2	1	-	-	-
		独立	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		養子	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
五ヶ村	男	総数	196 (36)	-	-	-	26 (6)	144 (2)	18 (5)	4	3	-	-	-	-	-

注 1. 数字は死亡者を含む。(括弧内は死亡者数) 2. 15才未満の死亡者は集計から除外した。

3. 世帯主を含む。

第 32 表 世帯主の5才以上の相続、分家、婚姻時の年齢

世帯主の年齢	世帯主の性別	世帯主の年齢	5才未満	5才以上	10才以上	15才以上	20才以上	25才以上	30才以上	35才以上	40才以上	45才以上	50才以上	55才以上	不明
世帯主	男	世帯主	136 (18)	-	-	4 (1)	43 (5)	60 (5)	38 (1)	19 (2)	9	4	4	-	7 (4)
世帯主	女	世帯主	77 (3)	-	-	3 (1)	12	19 (1)	16	11	7	1	3	-	4 (1)
世帯主	男	世帯主	71 (11)	-	-	1	14 (3)	27 (3)	20 (1)	7 (2)	2	3	1	-	2 (2)
世帯主	女	世帯主	4 (3)	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1 (1)
世帯主	男	世帯主	31 (5)	-	-	-	16 (3)	12 (1)	2	1	-	-	-	-	-
世帯主	女	世帯主	157 (36)	-	-	17 (3)	31 (2)	44 (5)	5 (2)	4	1	-	-	-	5 (3)
世帯主	男	世帯主	7	-	-	4	1	1	-	-	1	-	-	-	-
世帯主	女	世帯主	3	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
世帯主	男	世帯主	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
世帯主	女	世帯主	146 (36)	-	-	11 (3)	80 (21)	41 (5)	5 (2)	4	-	-	-	-	5 (3)
世帯主	男	世帯主	118 (15)	2	1	2 (1)	5 (1)	19 (4)	43 (5)	24 (2)	13 (1)	7 (1)	2	-	-
世帯主	女	世帯主	58 (4)	1	1	5 (1)	9	11 (2)	10	13 (1)	6	2	-	-	-
世帯主	男	世帯主	38 (5)	-	-	-	5 (1)	24 (3)	9 (1)	-	-	-	-	-	-
世帯主	女	世帯主	1 (1)	-	-	-	1 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-
世帯主	男	世帯主	21 (5)	1	1	1 (1)	-	4 (2)	8	5 (1)	-	1 (1)	-	-	-
世帯主	女	世帯主	115 (36)	1	-	22 (3)	71 (10)	11 (3)	4	-	2 (1)	1	-	-	2 (2)
世帯主	男	世帯主	9	-	-	5	1	1	-	-	-	1	-	-	-
世帯主	女	世帯主	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
世帯主	男	世帯主	2 (1)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 (1)
世帯主	女	世帯主	106 (27)	-	-	22 (3)	66 (10)	10 (3)	3	-	1 (1)	-	-	-	1 (1)
世帯主	男	世帯主	97 (9)	-	-	5	26 (4)	32 (3)	17	8 (1)	6	1	-	1	1 (1)
世帯主	女	世帯主	50 (3)	-	-	2	18	10 (1)	10	6 (1)	6	1	-	1	1 (1)
世帯主	男	世帯主	19 (2)	-	-	-	5 (2)	8	5	1	-	-	-	-	-
世帯主	女	世帯主	14 (2)	-	-	2	5 (2)	6	1	-	-	-	-	-	-
世帯主	男	世帯主	14 (2)	-	-	1	3	8 (2)	1	1	-	-	-	-	-
世帯主	女	世帯主	71 (10)	-	-	18 (1)	40 (7)	9	2	-	-	-	-	-	2 (2)
世帯主	男	世帯主	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
世帯主	女	世帯主	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
世帯主	男	世帯主	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
世帯主	女	世帯主	68 (10)	-	-	17 (1)	39 (7)	9	1	-	-	-	-	-	2 (2)

第 38 表 世帯主の5才以上の初婚年齢

切 断 年 齡			總 数	15-19才	20-24才	25-29才	30-34才	35-39才	40才以上	不 明	平均年齢
五 方 谷 合 計	總	数	1,368 (219)	145 (21)	662 (115)	425 (54)	85 (10)	10	4	37 (13)	25.2
	長	男	386 (36)	10 (1)	132 (15)	131 (13)	22 (4)	1	3	7 (2)	25.4
	次	男	204 (32)	4 (1)	62 (11)	100 (12)	24 (3)	2	1	11 (3)	
	三	男	125 (23)	2	36 (7)	61 (12)	12 (3)	1	1	5 (3)	
	四	女	87 (5)	-	24 (3)	45 (4)	13	3	-	2 (1)	21.5
	長	女	293 (54)	74 (13)	173 (40)	34 (5)	4 (1)	1	1	7 (3)	
日 野 畑 村 (岩 手)	次	女	353 (56)	55 (6)	235 (39)	54 (5)	3 (1)	2	-	2 (2)	22.1
	總	数	156 (19)	35 (2)	68 (7)	33 (2)	9 (1)	-	1	9 (5)	
	長	男	32 (4)	2	17 (1)	8 (2)	3 (1)	-	1	1	
	次	男	28 (2)	2	12	10	2	-	-	2 (2)	
	三	男	17 (3)	2	6 (1)	4	2	-	-	3 (2)	
	四	女	9 (1)	-	4 (1)	3	2	-	-	-	20.2
長	女	39 (6)	19 (2)	15 (2)	2	-	-	-	3 (2)		
大 和 村 (山 形)	次	女	31 (2)	11	14 (2)	6	-	-	-	-	22.0
	總	数	454 (78)	49 (9)	262 (33)	119 (24)	18 (4)	2	-	4 (2)	
	長	男	102 (11)	6	58 (5)	32 (3)	3 (2)	1	-	2 (1)	
	次	男	62 (14)	1 (1)	17 (3)	36 (8)	6 (1)	1	-	1 (1)	
	三	男	38 (8)	-	12	21 (7)	5 (1)	-	-	-	
	四	女	21 (3)	-	7	11 (2)	2	-	-	1 (1)	21.4
長	女	100 (19)	26 (5)	68 (12)	5 (2)	1	-	-	-		
照 部 村 (群 馬)	次	女	131 (18)	16 (3)	100 (13)	14 (2)	1	-	-	-	20.1
	總	数	353 (64)	16 (4)	154 (37)	130 (14)	24 (2)	7	3	19 (7)	
	長	男	74 (9)	1 (1)	30 (7)	36 (1)	3	-	2	2	
	次	男	56 (8)	-	19 (4)	28 (2)	3	-	1	7 (2)	
	三	男	34 (7)	-	11 (3)	12 (3)	6	1	-	4 (1)	
	四	女	33 (3)	-	9 (1)	13 (2)	7	2	-	1	23.3
長	女	66 (21)	11 (3)	28 (12)	19 (2)	4 (1)	1	-	4 (2)		
赤 目 村 (愛 知)	次	女	88 (16)	4	57 (10)	22 (4)	2 (1)	2	-	1 (1)	24.7
	總	数	233 (40)	25 (4)	97 (25)	83 (8)	26 (2)	-	-	2 (1)	
	長	男	50 (6)	1	11 (2)	31 (4)	7	-	-	-	
	次	男	29 (4)	-	5 (2)	12	11 (2)	-	-	1	
	三	男	20 (2)	-	2 (1)	14 (4)	4	-	-	-	
	四	女	17	-	1	14	2	-	-	-	21.5
長	女	49 (13)	12 (3)	33 (9)	4 (1)	-	-	-	-		
池 袋 村 (岡 山)	次	女	68 (15)	12 (1)	45 (11)	8 (2)	2	-	-	1 (1)	23.6
	總	数	172 (24)	19 (2)	81 (13)	60 (6)	8 (1)	1	-	3 (2)	
	長	男	48 (6)	-	16	24 (3)	6 (1)	-	-	2 (2)	
	次	男	27 (4)	1	9 (2)	14 (2)	2	1	-	-	
	三	男	16 (3)	-	5 (2)	10 (1)	-	-	-	-	
	四	女	7 (1)	-	3 (1)	4	-	-	-	-	23.2
長	女	39 (5)	6	29 (5)	4	-	-	-	-		
池 袋 村 (岡 山)	次	女	35 (5)	12 (2)	19 (3)	4	-	-	-	-	23.2

註 1. 最低年齢15才(岩手、山形)、最高年齢43才(岩手、群馬)。

2. 数字は死亡者を含む。(括弧内は死亡者数)

3. 15才未満の死亡者を除く。

4. 世帯主を含む。

第 34 表 世帯主になつ

世帯別		総										数				不明	平均
世帯	年齢	総	20才以下	20才以上	25才以下	25才以上	30才以下	30才以上	35才以下	35才以上	40才以下	40才以上	45才以下	45才以上			
総	数	457	20	67	12	90	78	42	18	12	3	15	31.4				
15才以下	数	14	2	9	2	3	3	-	-	1	-	-	-				
20才以下	数	108	7	45	27	31	28	17	6	2	1	4	-				
25才以下	数	222	8	14	74	18	39	21	8	8	2	5	-				
30才以下	数	36	2	4	4	17	5	2	2	-	-	2	-				
35才以下	数	5	1	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-				
40才以下	数	3	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-				
45才以下	数	7	-	1	-	1	-	1	-	-	-	4	-				
45才以上	数	61	-	15	17	9	8	5	2	1	-	4	29.6				
15才以上	数	6	-	1	2	2	1	-	-	-	-	-	-				
20才以上	数	29	-	11	9	5	4	3	1	-	-	-	-				
25才以上	数	14	-	1	9	-	2	-	1	1	-	-	-				
30才以上	数	6	-	1	1	2	1	1	-	-	-	-	-				
35才以上	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
40才以上	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
45才以上	数	6	-	1	-	-	-	1	-	-	-	4	-				
総	数	142	10	16	28	28	31	12	8	6	2	1	32.7				
15才以下	数	8	2	2	-	1	2	-	-	1	-	-	-				
20才以下	数	66	5	13	6	15	14	5	4	2	1	1	-				
25才以下	数	58	3	1	21	6	13	6	4	3	1	-	-				
30才以下	数	7	-	-	1	5	-	1	-	-	-	-	-				
35才以下	数	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-				
40才以下	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
45才以下	数	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-				
45才以上	数	18	3	13	32	24	13	8	4	4	-	4	31.3				
15才以上	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
20才以上	数	34	-	8	10	5	4	5	1	-	-	1	-				
25才以上	数	57	2	4	22	13	9	2	-	3	-	2	-				
30才以上	数	6	-	1	-	3	-	-	1	-	-	1	-				
35才以上	数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-				
40才以上	数	3	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-				
45才以上	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
総	数	78	6	10	15	15	16	8	2	1	-	2	30.8				
15才以下	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
20才以下	数	18	2	4	2	4	2	1	-	-	-	-	-				
25才以下	数	45	2	4	12	7	9	7	1	1	-	2	-				
30才以下	数	18	1	2	1	4	4	-	1	1	-	-	-				
35才以下	数	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-				
40才以下	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
45才以下	数	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
45才以上	数	70	2	13	20	17	10	9	2	-	1	4	30.9				
15才以上	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
20才以上	数	24	-	9	4	2	4	3	-	-	-	2	-				
25才以上	数	48	1	4	15	12	6	6	2	-	1	1	-				
30才以上	数	6	1	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-				
35才以上	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
40才以上	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
45才以上	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

た 年 齢 と 初 婚 年 齢

総 数	分 気 候 立 作 上 下 風 向																不 明	合 計		
	20 未	21 未	22 未	23 未	24 未	25 未	26 未	27 未	28 未	29 未	30 未	31 未	32 未	33 未	34 未	35 未				
94	-	-	-	15	-	41	-	23	-	8	-	3	-	3	-	1	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	-	-	-	18	-	10	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48	-	-	-	1	-	30	-	18	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	1	-	1	-	6	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	-	-	-	6	-	10	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	5	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	1	-	9	-	5	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	-	-	-	1	-	11	-	6	-	2	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	1	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	-	-	-	-	-	8	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	2	-	4	-	5	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	1	-	3	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	-	-	-	5	-	7	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	5	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	5	-	4	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢		階級別											平均年齢
年齢	階級	總數	20才未満	20才	25才	30才	35才	40才	45才	50才	55才以上	不明	平均年齢
總數	數	98	-	9	17	20	16	12	6	2	1	15	33.8
15才以下	19才	8	-	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-
20才	24才	25	-	7	2	4	1	5	2	-	-	4	-
25才	29才	66	-	-	14	13	13	5	4	2	1	5	-
30才	34才	6	-	1	-	2	-	1	-	-	-	2	-
35才	39才	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
40才以上	不明	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-
總數	教	22	-	2	1	7	1	5	2	-	-	4	34.5
15才以下	19才	5	-	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-
20才	24才	9	-	1	-	4	-	3	1	-	-	-	-
25才	29才	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
30才	34才	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
35才	39才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40才以上	不明	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-
總數	教	4	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	47.5
15才以下	19才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20才	24才	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
25才	29才	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
30才	34才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35才	39才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40才以上	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
總數	教	26	-	3	6	5	6	-	1	1	-	4	32.0
15才以下	19才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20才	24才	4	-	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-
25才	29才	20	-	-	6	5	6	-	-	1	-	2	-
30才	34才	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
35才	39才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40才以上	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
總數	教	19	-	1	2	4	5	3	1	1	-	2	35.6
15才以下	19才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20才	24才	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25才	29才	16	-	-	2	3	4	3	1	-	-	2	-
30才	34才	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
35才	39才	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40才以上	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
總數	教	27	-	3	6	4	3	3	2	-	-	4	32.0
15才以下	19才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20才	24才	9	-	3	2	-	1	1	-	-	-	2	-
25才	29才	17	-	-	6	4	2	2	2	-	-	1	-
30才	34才	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
35才	39才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40才以上	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

た 年 齢 と 初 婚 年 齢

[illegible]

第37表 世帯主の年齢別の教育程度

世帯主の年齢別	性別	総数	初等教育者						中等教育者						不	示
			小計	小学校	新制中	旧制中	新制高	旧制高	小計	小学校	新制中	旧制中	新制高	旧制高		
五ヶ村合計	総数	1,250 (38)	38	15	18	5	2	1	88 (17)	1,250 (38)	1,112 (30)	88 (8)	100 (14)	10 (1)	1	(3)
	総数	611 (38)	3	1	1	1	1	1	213 (38)	611 (38)	513 (34)	21 (3)	20 (3)	5 (1)	1	(3)
	総数	177 (38)	2	2	2	2	2	1	147 (38)	177 (38)	147 (34)	5 (3)	4 (2)	3	1	(3)
	総数	175 (38)	1	1	1	1	1	1	175 (38)	175 (38)	175 (34)	1 (3)	1 (2)	1	1	(3)
	総数	384 (38)	1	1	1	1	1	1	12 (5)	384 (38)	384 (34)	2 (3)	1 (2)	1	1	(3)
	総数	181 (38)	12	5	4	2	1	1	11 (7)	181 (38)	181 (34)	7 (3)	2 (2)	3	1	(3)
田原村(山形)	総数	106 (38)	1	1	1	1	1	1	136 (38)	106 (38)	106 (34)	1 (3)	1 (2)	1	1	(3)
	総数	12 (14)	1	1	1	1	1	1	12 (14)	12 (14)	12 (14)	1 (3)	1 (2)	1	1	(3)
	総数	31 (14)	1	1	1	1	1	1	31 (14)	31 (14)	31 (14)	1 (3)	1 (2)	1	1	(3)
	総数	11 (6)	1	1	1	1	1	1	11 (6)	11 (6)	11 (6)	1 (3)	1 (2)	1	1	(3)
	総数	14 (15)	1	1	1	1	1	1	14 (15)	14 (15)	14 (15)	1 (3)	1 (2)	1	1	(3)
	総数	45 (11)	1	1	1	1	1	1	45 (11)	45 (11)	45 (11)	1 (3)	1 (2)	1	1	(3)
大和村(山形)	総数	583 (104)	11	4	8	8	1	1	11 (8)	583 (104)	583 (96)	8 (6)	23 (5)	1 (1)	1	(1)
	総数	111 (18)	1	1	1	1	1	1	111 (18)	111 (18)	111 (16)	1 (3)	1 (4)	1	1	(1)
	総数	71 (20)	1	1	1	1	1	1	71 (20)	71 (20)	71 (16)	1 (3)	1 (4)	1	1	(1)
	総数	61 (10)	2	2	2	2	1	1	48 (18)	61 (10)	61 (14)	1 (3)	1 (4)	1	1	(1)
	総数	168 (21)	1	1	1	1	1	1	6 (1)	168 (21)	168 (17)	1 (3)	1 (4)	1	1	(1)
	総数	169 (21)	5	3	1	1	1	1	5 (3)	169 (21)	169 (19)	2 (3)	8 (4)	1	1	(1)
新井村(山形)	総数	111 (36)	13	8	8	2	1	1	7 (3)	111 (36)	105 (29)	5 (1)	21	5	1	(3)
	総数	84 (12)	1	1	1	1	1	1	75 (9)	84 (12)	84 (10)	1 (3)	7	2	1	(3)
	総数	71 (11)	1	1	1	1	1	1	69 (10)	71 (11)	71 (10)	1 (3)	7	1	1	(3)
	総数	15 (15)	1	1	1	1	1	1	41 (12)	15 (15)	15 (11)	1 (3)	1	2	1	(2)
	総数	16 (6)	1	1	1	1	1	1	45 (6)	16 (6)	16 (6)	1 (3)	1	1	1	(3)
	総数	75 (25)	1	1	1	1	1	1	69 (22)	75 (25)	75 (22)	1 (3)	3	1	1	(3)
春日村(山形)	総数	116 (25)	5	2	1	1	1	1	1 (1)	116 (25)	116 (18)	1 (3)	2	1	1	(3)
	総数	24 (6)	1	1	1	1	1	1	12 (6)	24 (6)	24 (5)	1 (3)	12 (3)	1	1	(3)
	総数	51 (11)	1	1	1	1	1	1	2 (3)	51 (11)	51 (6)	1 (3)	2	3	1	(3)
	総数	28 (8)	1	1	1	1	1	1	27 (8)	28 (8)	28 (7)	1 (3)	1	1	1	(3)
	総数	28 (8)	1	1	1	1	1	1	27 (8)	28 (8)	28 (7)	1 (3)	1	1	1	(3)
	総数	62 (10)	1	1	1	1	1	1	4 (1)	62 (10)	62 (13)	1 (3)	4	1	1	(3)
常盤村(山形)	総数	78 (17)	1	1	1	1	1	1	5 (3)	78 (17)	78 (11)	1 (3)	3 (3)	1	1	(3)
	総数	20 (8)	1	1	1	1	1	1	17 (8)	20 (8)	20 (7)	1 (3)	25 (4)	1	1	(3)
	総数	18 (9)	1	1	1	1	1	1	52 (8)	18 (9)	18 (8)	1 (3)	9	1	1	(3)
	総数	28 (9)	1	1	1	1	1	1	31 (7)	28 (9)	28 (7)	1 (3)	4	1	1	(3)
	総数	23 (9)	1	1	1	1	1	1	20 (6)	23 (9)	23 (8)	1 (3)	2	1	1	(3)
	総数	11 (3)	1	1	1	1	1	1	11 (3)	11 (3)	11 (3)	1 (3)	7 (3)	1	1	(3)

註 数字は死亡者を含む。(括弧内は死亡者数)

2. 15才未満の死亡者を除く。

3. 世帯主を含む。

II 意識調査結果表

1. 調査の対象者

第1表 対象者の年齢

年齢別	五ヶ村合計	田原村(山形)	大和村(山形)	新井村(山形)	春日村(山形)	常盤村(山形)
総数	489	91	104	94	100	100
24才以下	84	17	17	14	20	16
25—34才	152	35	36	30	49	32
35—44才	114	20	21	19	28	26
45—54才	81	11	13	20	18	14
55才以上	56	8	11	10	15	12
不明	2	1	1	1	1	1

第2表 対象者の続柄

続柄別	五ヶ村合計	田原村(山形)	大和村(山形)	新井村(山形)	春日村(山形)	常盤村(山形)
総数	489	91	104	94	100	100
世帯主	34	1	1	1	1	1
妻	14	1	1	1	1	1
妻	269	49	53	54	59	53
妻	82	18	21	22	24	21
妻	15	2	3	2	2	2
その他	77	13	13	14	14	13

第3表 対象者の世帯員数

世帯員数別	五ヶ村合計	田原村(山形)	大和村(山形)	新井村(山形)	春日村(山形)	常盤村(山形)
総数	489	91	104	94	100	100
1人	1	1	1	1	1	1
2人	5	1	2	1	1	1
3人	29	5	5	6	8	6
4人	47	8	10	4	11	14
5人	79	11	12	15	20	24
6人	93	16	24	12	17	24
7人	85	18	19	16	16	16
8人	52	9	10	15	11	7
9人	51	11	7	13	13	5
10人	28	5	10	4	4	2
11人	7	2	2	3	1	1
12人	3	2	1	2	1	1
13人	4	1	1	1	1	2
14人	3	1	1	1	1	1

第4表 対象者の未婚婚別

未婚婚別	五ヶ村合計	田原村(山形)	大和村(山形)	新井村(山形)	春日村(山形)	常盤村(山形)
総数	489	91	104	94	100	100
未婚	81	11	7	12	17	14
有配偶	388	78	94	77	73	73
離婚	41	5	13	5	10	6

第5表 対象者の教育程度

教育程度別	五ヶ村合計	田原村(山形)	大和村(山形)	新井村(山形)	春日村(山形)	常盤村(山形)
総数	489	91	104	94	100	100
小	424	89	96	90	96	95
中	61	2	14	4	10	3
高	3	1	1	1	1	1
不明	1	1	1	1	1	1

第6表 対象者の農業従事者の程度

農業従事者の程度別	五ヶ村合計	田原村(山形)	大和村(山形)	新井村(山形)	春日村(山形)	常盤村(山形)
総数	489	91	104	94	100	100
常時従事	341	88	69	58	59	57
農業期のみ	90	8	17	30	16	24
従事しない	58	3	16	5	17	19

2. 調査の結果

① 労働について

第7表 農業に従事する者の家事労働の負担

村名	世帯数	世帯の労働力					
		男子	女子	合計	耕作	非耕作	その他
五ヶ村合計	241	328	353	247	307	152	9
田野畑村(男子)	43	57	78	54	64	42	—
大田村(山形)	65	87	82	51	61	38	2
須賀村(海部)	55	78	51	28	45	28	1
春日村(奥知)	67	38	53	45	54	38	5
望鏡村(岡山)	67	57	94	62	68	43	1
	割合	%					
五ヶ村合計	100	76	89	72	84	58	0
田野畑村(男子)	19.9	61	88	65	77	51	—
大田村(山形)	10.0	68	81	74	80	46	3
須賀村(海部)	10.0	67	53	59	82	53	2
春日村(奥知)	10.0	54	79	63	61	54	5
望鏡村(岡山)	10.0	88	96	93	94	63	1

第8表 女の仕事はつらいか

項 目	農業 標準 年 次	年 常 に 比	相 当 の 比	ど ち ら で	主 な 方 案 は	採 取 は	無 関 心
五ヶ村合計	441	29	127	165	29	5	2
田野畑村(着手)	28	11	17	43	8	3	1
大和村(山形)	40	4	8	17	12	2	1
頸島村(群馬)	55	2	23	30	3	1	1
取手村(茨城)	67	9	27	30	1	1	1
常盤村(岡山)	67	3	23	33	5	2	1
同 上 %							
五ヶ村合計	100	9	36	45	9	2	2
田野畑村(着手)	100	13	21	52	10	3	1
大和村(山形)	100	6	19	25	17	3	1
頸島村(群馬)	100	4	35	55	6	1	1
取手村(茨城)	100	13	40	45	2	1	1
常盤村(岡山)	100	5	34	49	8	2	1

第10表 協同化についての意見

項		別	五合 カ 村計	田 野 畑 村 (山手)	大 和 村 (山腹)	額 部 村 (山腰)	春日 愛知 村	省 井 岡 村
数	数		189	91	104	94	100	100
大	小	計	166	89	81	45	21	4
同	同	同	75	27	28	10	10	1
同	同	同	31	7	—	23	—	—
同	同	同	5	1	—	1	—	—
同	同	同	55	4	8	11	14	—
大	小	計	250	25	60	39	87	4
同	同	同	49	6	0	4	12	13
同	同	同	43	1	14	2	20	1
同	同	同	39	—	4	7	14	1
同	同	同	23	1	5	3	7	2
同	同	同	19	6	1	4	—	—
同	同	同	11	5	6	—	—	—
同	同	同	8	0	0	—	1	—
同	同	同	6	—	5	1	—	—
同	同	同	6	1	—	5	—	—
同	同	同	47	4	14	13	10	6
大	同	各	70	27	13	10	12	5
同	同	上			%			
大	数	数	100%	100%	100%	100%	100%	100%
反	成	成	34	43	36	43	21	4
無	府	府	32	27	58	43	87	—
同	答	答	14	30	12	11	42	—

第9表 女の仕事をもちと樂にするにどうしたらよいか

[illegible]

註 1人で2つ以上答えた者がいるので総数は一致しない。

第11表 仕事の配分をする人

分配者	総数	父	母	主	妻	息子	娘	養子	養	その他	未詳	不明
村別、労働												
五ノ村 農業労働	489	9	13	265	57	34	1	15	1	3	29	
合 計 家事労働	489	—	59	22	307	—	25	13	8	21	3	
用野畑村 農業労働	91	2	4	23	34	—	1	3	—	1	12	
(湯子) 家事労働	91	—	10	5	62	—	4	2	—	2	1	
大和村 農業労働	104	—	2	56	10	10	—	5	—	—	5	
(山形) 家事労働	104	—	16	5	68	—	—	4	—	2	—	
龍野村 農業労働	94	2	—	64	4	12	—	1	—	1	—	
(飛騨) 家事労働	94	—	5	8	51	—	—	1	—	3	—	
梅日村 農業労働	100	2	2	66	4	5	—	1	—	3	5	
(愛知) 家事労働	100	—	14	2	68	—	—	—	—	6	—	
常盤村 農業労働	100	2	5	60	7	4	—	1	—	1	—	
(岡山) 家事労働	100	—	10	4	63	—	9	—	3	2	—	

第12表 仕事に関する相談の有無とそれについての意見

村別	相談の有無 意見	農業者 総数	相談される				相談する 人数	相談される					相談する 人数	割合
			小計	有るものの 割合	有るものの 割合	有るものの 割合		小計	相談する 人数	相談する 人数	相談する 人数	相談する 人数		
五ヶ野村	有	341	220	109	50	61	10	103	14	43	4	22	13	
五ヶ野村	有	83	51	21	8	22	2	24	2	7	1	10	6	
五ヶ野村	有	69	44	24	13	7	2	28	4	7	1	10	6	
五ヶ野村	有	55	31	13	11	7	2	24	4	11	1	10	6	
五ヶ野村	有	57	54	29	12	13	2	21	3	7	1	10	6	
五ヶ野村	有	67	40	22	6	12	3	29	1	13	1	10	6	
間														
止														
%														
五ヶ野村	有	100	65	32	15	18	3	20	4	13	1	7	5	
五ヶ野村	有	100	62	25	9	27	2	29	2	9	1	12	5	
五ヶ野村	有	100	64	36	19	10	13	34	6	10	1	13	5	
五ヶ野村	有	100	56	23	20	13	4	49	7	20	1	13	5	
五ヶ野村	有	100	61	26	18	12	5	18	5	19	1	13	5	
五ヶ野村	有	100	60	33	9	15	5	34	1	20	1	13	5	

(2) 産育保健について

第13表 子供の数

村別	戸数	子供の数の別														1人 以上の 子供数
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
五ヶ村合計	428	26	72	51	51	45	38	44	34	29	10	2	3	-	-	15
田野村(岩手)	58	7	12	7	12	7	6	6	12	4	2	1	-	-	-	12
大和村(山形)	97	11	16	14	15	7	9	14	4	3	2	2	-	-	-	14
新井村(群馬)	82	8	10	7	9	5	11	2	7	6	2	4	-	-	-	40
春日村(愛知)	63	5	11	15	3	6	6	10	10	7	4	3	1	1	-	45
常盤村(岡山)	66	5	16	16	11	18	4	7	1	4	-	-	-	2	-	32

第14表 生死別子供の数

村別	戸数	子供の数	生きている子供		死んだ子供	
			小計	男	小計	男
五ヶ村合計	428	1698	1624	672	734	195
田野村(岩手)	58	206	266	146	70	48
大和村(山形)	97	534	261	143	73	41
新井村(群馬)	82	329	277	135	52	39
春日村(愛知)	63	377	290	150	87	44
常盤村(岡山)	66	282	230	121	52	31

第15表 死流産件数

村別	戸数	死流産件数	死産者数					合計
			0	1	2	3	4	
五ヶ村合計	428	346	65	4	2	-	-	71
田野村(岩手)	58	68	10	2	-	-	-	12
大和村(山形)	97	83	10	4	-	-	-	14
新井村(群馬)	82	62	14	1	2	1	-	18
春日村(愛知)	63	64	17	2	-	-	-	19
常盤村(岡山)	66	67	14	5	-	-	-	19

第16表 死亡児の年齢

村別	戸数	死亡時の年齢別子供数								
		0才	1才	2才	3才	4才	5才	6才	7才~14才	15才以上
五ヶ村合計	384	81	66	50	27	31	8	10	61	
田野村(岩手)	70	14	6	15	8	2	4	6	14	
大和村(山形)	73	7	17	16	1	6	1	2	14	
新井村(群馬)	52	14	9	7	4	5	2	1	10	
春日村(愛知)	87	23	22	7	10	8	2	4	11	
常盤村(岡山)	52	13	12	5	4	4	1	2	12	

第17表 生理日の休暇

村別	世帯数	実数					%				
		総数	休み	休みない	他の仕事	無回答	総数	休み	休みない	他の仕事	無回答
五ヶ村合計	489	12	450	13	14	60	2	92	3	3	
田野畑村(岩手)	91	2	87	4	1	100	2	98	-	-	
大和村(山形)	104	-	102	1	1	100	-	98	-	-	
新井村(群馬)	94	2	85	0	4	100	3	91	3	4	
春日村(愛知)	100	5	87	6	2	100	5	87	6	3	
常盤村(岡山)	100	3	89	2	6	100	3	89	2	6	

第18表 生理休暇についての意見

村別	意見	意見									
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
五ヶ村合計	489	38	169	23	190	53	189	78	213	51	342
田野村(岩手)	91	7	85	5	15	28	108	14	23	15	23
大和村(山形)	104	13	42	3	38	5	100	20	64	4	100
新井村(群馬)	94	5	70	5	38	6	100	18	44	1	100
春日村(愛知)	100	3	24	10	44	15	100	13	24	15	100
常盤村(岡山)	100	5	30	4	35	24	100	13	34	15	100

第19表 産前産後の休暇

村別			五ヶ村 合計	田野村 (岩手)	大和村 (山形)	新井村 (群馬)	春日村 (愛知)	常盤村 (岡山)
産前産後の休暇								
子供を持つ産婦者数			392	73	86	74	72	67
産前 休暇	就業労働	0	382	71	80	72	70	65
		10日以下	4	-	3	1	1	-
		11日以上	1	-	1	-	-	-
		不明	5	2	1	1	-	1
	農業労働	0	307	62	74	62	67	62
		10日以下	19	2	3	7	3	4
		11日～20日	9	3	3	1	2	1
		21日～30日	18	5	4	3	4	0
		31日以上	5	1	1	2	1	1
		不明	4	1	1	1	-	-
産後 休業	就業労働(1)	0	3	5	-	-	-	-
		10日以下	180	30	3	-	50	45
		11日～20日	59	24	6	-	19	20
		21日～30日	89	10	65	-	5	8
		31日～40日	7	1	5	-	1	-
		41日～50日	1	-	1	-	-	-
		51日～60日	-	-	-	-	-	-
		61日以上	1	1	-	-	-	-
	不明	16	2	4	-	1	2	
	農業労働	0	-	-	-	-	-	-
10日以下		24	5	-	13	2	4	
11日～20日		33	8	-	9	6	10	
21日～30日		155	41	7	26	50	23	
31日～40日		62	6	19	5	11	21	
41日～50日		45	3	36	2	4	-	
51日～60日		29	3	9	10	1	0	
61日以上		25	3	12	5	4	4	
不明	19	4	3	2	2	5		

注 (1) 新井村(群馬)の家事労働の産後休暇については調査しなかつた。

第20表 子供のしつけをする人は誰か

村別	しつけをする人	合計	父	母	祖父母	その他	父+母	祖父母+その他	不明	しつけをしない
五カ村合計	489	28	213	68	5	30	81	18	18	2
五野村	73	6	44	4	1	7	5	4	4	2
大野村	85	6	45	26	1	1	5	5	5	1
大野村	74	4	36	16	1	0	5	1	1	1
大野村	77	6	32	14	1	6	18	8	8	1
大野村	82	6	81	4	2	10	5	4	4	1
同 上 %										
五カ村合計	100	7.2	54.3	16.3	1.3	8.4	7.9	4.1	4.1	0.3
五野村	100	8.2	60.3	5.3	1.4	9.6	6.8	5.5	5.5	2.7
大野村	100	7.0	62.3	30.2	1.2	3.5	5.8	1	1	1
大野村	100	5.4	48.6	21.6	1.4	12.2	10.8	1	1	1
大野村	100	7.8	48.0	18.2	1.3	7.8	13.0	3.9	3.9	1
大野村	100	7.3	62.2	4.9	2.4	12.2	6.1	4.9	4.9	1

注 上の表の数字は千代からの説明である。

第21表 子供のしつけをするのに主としてどの点に気をつけるか

村別	しつけの方針	子供数 既婚者 未婚者	母の全う 健康、か安	父の全う 健康、か安	祖父母の全う 健康、か安	その他 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安	しつけの方針 の全う 健康、か安
----	--------	-------------------	---------------	---------------	-----------------	---------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

注 1人では種類以上の答えがあるので総数は一致しない。

(3) 教養娯楽について

第22表 今年になつて芝居を何回みたか

村別	回数	0	1	2	3	4	5	6	7
五カ村合計	489	414	44	14	11	5	1	1	1
五野村	91	64	13	8	3	1	1	1	1
大野村	104	92	2	1	1	1	1	1	1
大野村	100	77	11	4	1	1	1	1	1
大野村	100	89	8	2	1	1	1	1	1

第23表 今年になつて映画を何回みたか

村別	回数	映 画 観 賞 回 数																			
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
五野村	489	294	61	42	24	15	10	14	4	6	2	6	1	1	2	1	1	1	1	1	1
大野村	91	69	18	7	3	3	3	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	104	69	20	8	9	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	94	58	12	11	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	100	53	8	8	1	2	2	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	100	64	9	16	4	13	2	15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

第24表 タバコの消費量と程度

村別	消費量	小計	毎日	時々	ほとんどない	全くない	不明	消費しない	消費する
五カ村合計	489	254	232	77	30	22	100	100	100
五野村	91	51	10	27	2	13	86	86	86
大野村	104	53	50	27	4	1	19	19	19
大野村	94	57	46	14	2	5	27	27	27
大野村	100	59	52	15	2	5	11	11	11
大野村	100	54	52	14	1	3	11	11	11

第25表 新聞の購読

村別	購読数	小計	毎日	時々	ほとんどない	全くない	不明	購読しない	購読する
五カ村合計	489	489	177	104	37	91	100	100	100
五野村	91	39	7	8	2	22	82	82	82
大野村	104	96	35	25	14	24	8	8	8
大野村	94	77	29	29	5	14	19	19	19
大野村	100	96	42	22	8	24	4	4	4
大野村	100	99	64	20	8	7	1	1	1

第26表 本や雑誌の購読

村別	購読数	小計	毎日	時々	ほとんどない	全くない	不明	購読しない	購読する
五カ村合計	489	187	90	94	263	18	168	168	168
五野村	91	26	4	22	52	5	28	28	28
大野村	104	41	30	11	59	5	36	36	36
大野村	94	20	11	9	72	4	47	47	47
大野村	100	38	17	21	61	3	39	39	39
大野村	100	62	31	31	38	4	42	42	42

第27表 どんなことが一番楽しみか

村別	楽しみ	子供が遊ぶ	家族が遊ぶ	お祭りに行く	実家へ行く	休むこと	働くこと	遊ぶこと	読書	音楽	映画	その他
五カ村合計	489	145	43	41	37	28	61	18	84	23	28	18
五野村	91	29	6	7	6	9	15	7	9	1	3	1
大野村	104	29	11	12	12	5	13	8	13	8	8	8
大野村	94	27	9	9	12	5	13	8	13	8	8	8
大野村	100	25	9	9	4	8	13	8	13	8	8	8
大野村	100	35	8	4	9	6	7	11	11	11	11	11
同 上 %												
五カ村合計	100	30	9	8	8	7	12	4	17	5	6	4
五野村	100	32	7	8	7	10	15	8	10	1	3	1
大野村	100	28	11	12	12	5	13	8	13	8	8	8
大野村	100	29	10	10	13	5	14	8	14	8	8	8
大野村	100	29	9	9	9	4	13	8	13	8	8	8
大野村	100	34	8	4	9	6	7	11	11	11	11	11

注 1人では2つ以上の楽しみがあるため総数は一致しない。

(4) 生活改善について

第28表 食事の改善についての意見

村別	意見	総数	改善意見のある者					改善意見のない者					無回答
			小計	意見のな い者	意見のあ る者	意見のあ る者	意見のあ る者	小計	意見のな い者	意見のあ る者	意見のあ る者	意見のあ る者	
五カ村合計		489	177	175	44	2	9	308	187	25	40	205	21
田野畑村		91	33	32	4	1	1	58	37	4	8	30	3
大和村		104	39	38	10	1	1	65	40	8	15	39	2
瀬戸村		94	33	32	27	1	1	61	38	8	15	46	7
春日村		100	35	34	20	1	1	65	39	8	11	52	4
常盤村		100	39	38	10	1	1	61	37	8	12	38	4
同 上													
五カ村合計		489		35				59					6
田野畑村		91		33				55					10
大和村		104		39				65					8
瀬戸村		94		33				61					5
春日村		100		35				65					5
常盤村		100		39				61					5

第29表 食事をきめる人、作る人

村別	項目	総数	父	母	世帯主	妻	娘	その他	結と嫁	二上抄
五カ村合計	きめる人	489	2	78	15	282	20	7	17	38
	作る人	489	1	49	9	229	45	10	37	58
田野畑村	きめる人	91	1	6	4	65	8	3	6	3
	作る人	91	1	4	4	52	5	1	4	9
大和村	きめる人	104	1	19	3	64	7	4	2	3
	作る人	104	1	10	2	62	11	4	9	11
瀬戸村	きめる人	94	1	14	6	47	8	1	3	7
	作る人	94	1	3	2	42	18	3	7	10
春日村	きめる人	100	1	19	1	52	2	1	4	14
	作る人	100	1	17	1	35	2	1	13	16
常盤村	きめる人	100	1	18	2	54	2	2	5	9
	作る人	100	1	9	1	48	9	2	4	12

第30表 煮炊の場所とそれについての意見

村別	煮炊の場所	総数	いろり	いろりど	かまど	コンロ	その他	いろりど	いろりど	かまど	その他
五カ村合計	改善の意見あり	462	24	22	54	4	5	2	2	21	21
	なし	155	24	25	38	6	8	1	4	38	38
	無回答	172	34	24	66	6	8	1	4	38	38
田野畑村	改善の意見あり	20	16	1	1	1	2	2	1	1	1
	なし	27	18	1	1	1	5	1	1	1	1
	無回答	44	34	1	1	1	8	1	1	1	1
大和村	改善の意見あり	49	17	13	18	1	3	2	2	1	1
	なし	30	6	10	6	1	3	1	2	1	1
	無回答	25	4	8	7	1	3	1	2	1	1
瀬戸村	改善の意見あり	23	1	6	10	2	1	1	1	1	1
	なし	35	1	14	19	2	3	1	1	1	1
	無回答	36	1	14	16	4	3	1	1	1	1
春日村	改善の意見あり	26	1	1	18	1	1	1	1	1	1
	なし	36	1	1	31	1	1	1	1	1	1
	無回答	38	1	2	28	1	1	1	1	1	1
常盤村	改善の意見あり	44	1	1	8	1	1	1	1	1	1
	なし	27	1	1	2	1	1	1	1	1	1
	無回答	29	1	1	14	1	1	1	1	1	1

第31表 食事についての意見の有無

村別	意見の有無	総数	意見あり	意見なし	無回答
五カ村合計		489	23	168	3
田野畑村		91	2	89	2
大和村		104	3	101	1
瀬戸村		94	2	92	2
春日村		100	5	95	5
常盤村		100	11	89	11

第32表 台所についての意見の有無

村別	意見の有無	総数	意見あり	意見なし	無回答
五カ村合計		489	340	46	13
田野畑村		91	46	11	34
大和村		104	79	5	20
瀬戸村		94	65	17	12
春日村		100	87	7	6
常盤村		100	63	14	23

第33表 台所についての意見

村別	意見	総数	意見あり	意見なし	無回答
五カ村合計		489	30	86	60
田野畑村		91	6	10	3
大和村		104	16	17	3
瀬戸村		94	2	19	13
春日村		100	4	34	4
常盤村		100	3	26	16

第34表 住居についての意見の有無

村別	意見の有無	総数	意見あり	意見なし	無回答
五カ村合計		489	235	41	213
田野畑村		91	36	6	49
大和村		104	71	2	31
瀬戸村		94	53	8	33
春日村		100	26	13	61
常盤村		100	47	9	44

第35表 住居についての意見

村別	意見	総数	意見あり	意見なし	無回答
五カ村合計		489	25	49	47
田野畑村		91	2	6	6
大和村		104	7	9	10
瀬戸村		94	6	8	5
春日村		100	6	8	2
常盤村		100	4	6	10

第87表 希望人員

希望人員	総数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	不明
五カ村合計	489	-	-	12	31	146	112	89	55	15	11	3	2	1	2	9
田野畑村	91	-	-	7	6	21	14	14	13	4	3	2	-	1	-	6
大和村	104	-	-	4	5	23	22	24	13	5	5	1	-	1	-	3
常盤村	94	-	-	1	3	18	22	24	15	3	2	-	2	-	2	1
春日村	100	-	-	-	8	42	24	15	8	2	1	-	-	-	-	-
常盤村	100	-	-	-	9	42	30	12	6	1	-	-	-	-	-	-

第88表 人員希望の理由

理由	総数	経にうがが 宮つ旁必ら 而り働要 積あ力だ	多支さ 勢出む でがは はから	家当し 事若い のが担 はら	多有事ま 勢見にわ で手ら は家た	多とか 勢にだ うき るやら さ	こよ れう で ちよ	その他	無 回 答
五カ村合計	489	248	164	12	30	20	24	24	19
田野畑村	44	12	18	-	8	1	-	5	1
大和村	258	115	114	7	20	10	8	15	2
常盤村	144	89	30	5	2	8	16	3	8
春日村	34	32	1	-	-	1	-	1	-
常盤村	9	-	1	-	-	-	-	-	8
田野畑村	91	53	36	-	3	2	-	3	9
大和村	13	-	8	-	3	-	-	2	-
常盤村	35	20	24	-	-	1	-	1	-
春日村	27	23	4	-	-	-	-	-	1
常盤村	10	10	-	-	-	1	-	-	2
常盤村	6	-	-	-	-	-	-	-	6
大和村	104	57	38	4	1	1	6	-	2
春日村	9	-	8	-	-	1	-	-	-
常盤村	45	27	18	-	-	-	-	-	-
春日村	37	20	11	4	-	-	6	-	-
常盤村	11	10	1	-	-	-	-	-	-
常盤村	2	-	-	-	-	-	-	-	-
常盤村	94	66	25	1	2	1	-	3	3
春日村	5	2	1	-	1	-	-	1	1
常盤村	40	28	10	-	-	1	-	1	2
春日村	39	28	13	1	1	-	-	-	-
常盤村	9	8	-	-	-	-	-	1	-
常盤村	1	-	1	-	-	-	-	-	-
春日村	100	34	37	-	23	11	12	-	1
春日村	8	5	-	-	3	-	-	-	-
春日村	66	14	35	-	19	6	8	-	-
春日村	23	12	2	-	1	5	4	-	-
春日村	3	3	-	-	-	-	-	-	-
春日村	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春日村	100	38	28	7	1	5	6	18	4
春日村	9	5	1	-	1	-	-	2	-
春日村	72	26	27	7	-	2	-	13	4
春日村	18	6	-	-	-	3	6	3	-
春日村	1	1	-	-	-	-	-	-	-
春日村	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第89表 親子の間居に対する意見

(子供が結婚してからも親子は一緒にくらす方がよいでしょうか)

意見	五カ村 合計	田野畑 村	大和 村	常盤 村	春日 村	常盤 村
小計	489	91	104	94	100	100
親子でかみ(嫁取りでかみ)同居するが習慣だ	74	28	6	11	11	11
親族の時や取つてから親の面倒をみてほしい(みたい)から	54	4	19	9	10	10
同居すれば情が深くなる	66	6	27	6	12	12
人手が要るから	89	6	17	25	19	19
子守や留守番を年よりにしてほしい(孫の世話がしたい)	65	15	24	24	18	18
老人たいていあるなことを相談したり教えて貰ったりできる	43	5	4	2	17	15
別居すると経済がかさむ	16	6	2	4	1	1
近に仕える方が人間はしづかりする	5	-	-	-	1	1
その他	1	-	-	-	-	-
不明	10	6	2	-	1	1
小計	34	8	4	6	2	10
独立して早く一本立になりたい	1	-	-	-	-	-
早く同居したい	2	-	-	-	-	-
老人と若い者とは意見がちがう(同居しても円満にゆかない)	9	2	-	-	1	6
姑、小姑の気遣とりはいやだ(嫁が気遣うと思う)	8	-	2	2	4	-
別れた方があらが見えず円満にゆく	8	-	2	1	-	-
別れた方が気がらくだ	6	4	-	-	1	1
その他	3	2	-	-	1	-
無回答	2	-	-	2	-	-
どちらともいえない	9	-	1	2	1	6
わからない	6	2	2	-	1	1
同上	%					
総数	100	100	100	100	100	100
よい	90	89	93	93	94	84
よくない	7	9	4	5	7	15
どちらともいえない	2	-	1	2	1	6
わからない	1	2	2	-	1	1

注 ※1人で2つ以上の理由をのべた者がいるので小計は一致しない。

第40表 結婚についての考え方

(結婚の相手は本人が自由にえらぶのと親がきめるのとどちらがよいと思いますか)

意見	実数	%
総数	489	
本人の自由	104	21
親子で決める	113	23
親がきめる	251	51
わからない	21	4
総数	100	
本人の自由	21	21
親子で決める	28	28
親がきめる	58	58
わからない	3	3
五カ村合計	489	
田野畑村(岩手)	91	23
大和村(山形)	104	12
常盤村(群馬)	94	32
春日村(愛知)	100	16
常盤村(岡山)	100	21

第 41 表 本人の自由と答えた者の意見

見聞	地数	本人の生活のため本人が食める方がよい	近の性質をよく知り合うことのできる	自分では責任をもちがたいため責任を分かちあひ合ふ	見られるのは家の働き手といふだけ	わなないから親に不服を云	うまく行くかどうか	時勢がそんな	つたから	なるまいも百姓が好きな人まかせで	その他	無回答
沢カ村合計	104	38	18	7	1	6	15	9	1	4	5	
田野畑村(岩手)	23	8	4	1	-	-	5	2	-	1	2	
大和村(山形)	12	-	8	1	-	-	2	-	-	1	-	
旗籠村(群馬)	32	11	3	-	1	2	7	3	1	2	2	
井田村(愛知)	16	2	-	5	-	4	1	4	-	-	-	
常盤村(岡山)	21	17	3	-	-	-	-	-	-	-	1	

第 42 表 親がきめると答えた者の意見

見 聞	総 数	方 位 に從う考 え が き め る の 親	開 通 な い か ら 親 が き め れ ば	責 任 を も つ て 親 が 先 々 ま で	親 と 同 居 す る か ら (扶 養 す る か ら)	い れ な ら な い に 親 に 預 け て	力 が な い か ら 自 分 で え ら ぶ	の 人 が 笑 う 自 由 結 婚 は 村	そ の 他	無 回 答
坂本村合計	251	72	36	39	33	25	19	2	6	20
田野畑村(岩手)	56	28	2	10	10	1	-	-	1	4
大和村(山形)	66	5	20	5	18	6	-	-	4	8
町井村(群馬)	46	10	8	12	5	8	1	-	1	1
赤井村(愛知)	41	7	1	10	-	8	12	1	-	2
常盤村(岡山)	42	22	4	2	-	2	6	1	-	-

第48表 村の結婚の仕方

村の結婚 の仕方 別	実 数					%				
	総 数	本自 人の 出	親相 子 で 嫁	親め がる き	わな かい ら	総 数	本自 人の 出	親相 子 で 嫁	親め がる き	わな かい ら
五ノ村合計	489	28	40	393	28	100	6	8	80	6
田野畑村(岩手)	91	6	9	65	11	100	7	10	71	12
大和村(山形)	104	2	8	95	4	100	2	3	91	4
柳部村(群馬)	94	14	10	69	1	100	15	11	73	1
春日村(愛知)	100	3	9	85	3	100	3	9	85	3
常盤村(岡山)	100	3	9	79	9	100	3	9	79	9

第 41 表 家 計 の 管 理 者

管 理 省	管 理 日	陸 軍	海 軍	生 産	美 術	農 業	林 業	養 子	紙 業	其 他	未 詳	不 詳
五 谷 村	家 主	計費	489	1	18	328	49	24	3	4	1	23
合 計	家 主	計費	489	4	37	102	229	3	10	5	12	24
田 野 村	家 主	計費	91	1	3	75	3	3	-	-	1	4
堀 村	家 主	計費	91	1	3	49	20	1	-	-	1	2
大 和 村	家 主	計費	104	1	3	74	15	5	-	1	1	2
	家 主	計費	104	1	7	21	53	1	2	3	2	
瀬 部 村	家 主	計費	94	4	2	57	12	4	2	-	3	9
	家 主	計費	94	2	11	21	42	1	3	-	3	4
春 日 村	家 主	計費	100	2	6	60	8	7	-	-	1	2
	家 主	計費	100	-	7	6	53	-	1	-	3	3
常 盤 村	家 主	計費	100	3	4	62	11	5	1	1	1	6
	家 主	計費	100	1	9	5	51	-	4	-	4	6

第 45 表 家計の管理についての意見

村別	意見 管理の有無	総数	仕方がない	今のままでよい	かえり方がよい	無回答
五カ村合	総数	489	22	314	30	13
	自分が管理者	46	2	29	1	1
	管理者でない	443	20	285	32	10
田野村	総数	91	4	68	3	3
	自分が管理者	6	-	2	-	-
	管理者でない	85	3	46	3	3
大和村	総数	104	4	80	5	1
	自分が管理者	7	-	6	-	-
	管理者でない	97	4	74	5	1
瀬部村	総数	94	9	62	8	1
	自分が管理者	12	1	7	1	-
	管理者でない	82	8	55	7	1
春日村	総数	100	3	71	9	1
	自分が管理者	10	-	6	-	-
	管理者でない	90	3	65	9	1
常盤村	総数	100	2	53	8	3
	自分が管理者	11	-	8	-	-
	管理者でない	89	2	45	8	3

(6) 社会生活について

第 46 表 婦人団体に対する関心

村別	婦人団体に対する関心	総数	婦人団体は「主」として								その他					その他意見
			小計	主として	主として	主として	主として	主として	主として	主として	その他	主として	主として	主として		
五ヶ村合計	476	212	71	71	4	7	15	27	7	31	28	11	7	11	7	
田野畑村	89	26	12	13	-	1	-	1	1	3	3	3	-	1	-	
大和村	98	44	12	11	-	1	4	10	-	5	1	1	-	1	2	
高部村	93	36	12	7	3	2	5	7	2	5	10	2	2	5	1	
春日村	96	55	18	28	-	2	1	4	1	6	9	3	4	2	1	
常盤村	100	51	17	12	1	1	5	5	3	10	5	2	1	2	3	

注 講についての意見を述べた者を除いたので、総数は他表と一致しない。

第47表 農協組に加入出来ることを
知っているか

項目	村別	数	加入出来ることを		%		
			知つて いる者	知らない 者	總 数	知つて いる者	
五カ村合計		469	235	233	100	48	52
田野畑村		91	25	66	100	27	73
大和村		104	65	39	100	63	37
額部村		94	37	57	100	40	60
春日村		100	47	53	100	47	53
常盤村		100	62	38	100	62	38

第49表 昭和25年参議院議員選挙投票状況

項目	村別	有権者数	投票者数	投票率
五カ村合計		5,874	4,235	72.0
田野畑村		446	364	81.6
大和村		1,480	554	37.4
額部村		1,188	1,019	85.8
春日村		1,349	1,347	99.9
常盤村		812	549	67.6
五カ村合計		1,045	766	73.0
田野畑村		83	41	49.3
大和村		99	91	91.9
額部村		86	83	96.5
春日村		88	76	86.3
常盤村		90	73	81.1

第51表 新しい法律で女の立場はどのように変ったか

項目	村別	五カ村合計	田野畑村 (岩手)	大和村 (山形)	額部村 (群馬)	春日村 (愛知)	常盤村 (岡山)
総数		489	91	104	94	100	100
男女同校になつた		240	15	36	56	59	74
多数権について		155	3	22	36	40	52
家の廃止について		102	10	21	16	21	34
財産の分配について		10	-	1	4	3	2
離婚の慰養料請求について		13	-	2	7	2	2
結婚の自由について		11	-	-	2	4	5
養育費の廃止について		4	-	-	-	1	3
家事審判所ができた		2	-	1	-	1	-
労働基準法ができた		1	-	1	-	-	-
男女共学		2	-	2	-	-	-
男の共学		3	-	3	-	-	-
知らない者		23	2	4	10	4	3
知らない者		249	76	68	38	41	26
同		上	上	上	上	上	上
総数		100%	100%	100%	100%	100%	100%
知っている者		49	16	35	60	59	74
知らない者		51	84	65	40	41	26

注 八で2種以上の内容に答えた者がいるので、小計は一致しない。

第48表 農協組の仕事を知っているか

項 目 村 別	総 数	農協組の 仕 事 を		%		
		知つて いる者	知らない 者	総 数	知つて いる者	知らない 者
五カ村合計	489	198	291	100	40	60
田野畑村	91	41	50	100	12	88
大和村	104	89	65	100	38	62
額部村	94	36	58	100	38	62
春日村	100	55	45	100	55	45
常盤村	100	57	43	100	57	43

第50表 候補者をどのようにしてきめたか

項目	村別	投票者総数	自分で きめた	家族と 相談で きめた	すすめ られた	無回答
五カ村合計		364	248	96	17	3
田野畑村		41	29	9	2	1
大和村		91	65	21	4	-
額部村		83	48	32	3	-
春日村		76	56	14	5	1
常盤村		73	50	20	3	-
同		上	上	上	上	上
五カ村合計		100	68	27	4	1
田野畑村		100	71	22	5	2
大和村		100	72	23	4	1
額部村		100	57	40	3	-
春日村		100	74	18	7	1
常盤村		100	69	27	4	-

第52表 村の婦人の立場はよくなったか

項目	村別	五カ村合計	田野畑村	大和村	額部村	春日村	常盤村
総数		489	91	104	94	100	100
よくなった		124	11	19	35	23	27
婦人の地位がよくなった		13	1	2	3	4	3
男の人にも女に尊敬をもつ様になつてきた		10	-	-	3	2	-
女の人(特に母)が昔より仕事が多くなつた		18	1	3	9	2	3
女の人にもいろいろの役目にあはれる様になつた		6	-	-	3	2	-
女の人にも委員会や講習会に派山でる様になつた		13	-	-	3	7	3
集会などで女の人にも活発に発言する様になつた		24	-	8	5	-	11
女の人にも選挙する様になつた		11	5	1	2	-	3
結婚は本人が好き同志で自由に決めてよい		6	1	1	3	1	-
男女共学になつたので若い者が一緒によくあそぶ		6	1	2	1	2	-
髪形、着物が洋服になつたし、パーマに変つた		7	2	2	1	1	1
女の人が自由になつたし、生活も少しよくなった		5	-	-	2	1	2
離婚の慰養料を請求してもらつた		1	-	-	-	-	1
未亡人が財産を請求した		1	-	-	-	-	1
よくな		288	48	73	48	63	56
わかんない		77	32	12	11	15	7
同		上	上	上	上	上	上
総数		100	100	100	100	100	100
よくなった		25	12	19	37	23	27
よくな		56	53	70	50	63	56
わかんない		16	35	12	13	15	7

事例調査結果

農家の主と主婦の生活時間 (岩手県下閉伊郡田野畑村)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
A 主人	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
B 主人	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
C 主人	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
D 主人	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
E 主人	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠

		生活時間の内訳									農家主要生活条件			
		睡眠	食事	身まわり	農作業	家事	その他	労働時間計	自由時間	計	同居家族概況	耕作面積	所有農機具の主なるもの	備考
A 家	主人	8.30	1.30	0.20	9.30	-	1.00	9.30	4.10	24.00	世帯主 51才 大男15才 妻 42才 三女13才 世帯主姉 60才 四女11才 長男 17才 三男 9才 (在学) 五女 4才	一毛作田 2段 畑 2町	手動脱穀機 馬耕機 除草機 リヤカー	馬 2頭 鶏 3羽
	主婦	7.00	1.30	0.30	7.00	7.00	-	14.00	0.30	24.00				
B 家	主人	7.30	2.30	-	4.00	-	8.00	12.00	2.00	24.00	世帯主 58才 長女19才 妻 48才 次女15才 母 82才 (在学) 長男 20才	一毛作田 2段 畑 6段	手動脱穀機	牛 2頭 鶏 3羽
	主婦	7.00	2.30	-	7.00	5.00	-	12.50	1.40	24.00				
C 家	主人	8.30	1.30	-	-	-	8.30	8.30	5.30	24.00	世帯主 29才 世帯主姉31才 妻 26才 子供 2才 父 67才 母 64才	一毛作田 1段 畑1町2段	特になし	牛 1頭 鶏 14羽
	主婦	8.00	1.30	-	4.00	8.30	-	12.30	2.00	24.00				
D 家	主人	6.30	1.30	-	-	-	13.00	13.00	3.00	24.00	世帯主 42才 妻 37才 長女19才 父 72才 次女16才 母 72才 三女11才 男 18才 長男 6才 次男 2才	畑 9段	水車 手動脱穀機	牛 2頭
	主婦	6.30	1.30	-	8.30	7.30	-	16.00	-	24.00				
E 家	主人	9.00	1.30	-	-	-	13.00	13.00	0.30	24.00	世帯主 39才 外子供 4人 妻 33才 12才 父 73才 9才 母 70才 5才 長男 14才 6才	一毛作田 1畝 畑7畝4分	特になし	山羊 1頭 馬 2頭
	主婦	7.00	1.30	-	10.10	4.20	1.00	15.30	-	24.00				

農家の主と主婦の生活時間 (山形県東田川郡大畑村)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
A 主人	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
B 主人	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
C 主人	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
D 主人	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
E 主人	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠
	睡眠					起床	朝食	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	山仕事	睡眠

	生活時間の内訳										農家主要生活条件				
	睡眠	食事	身まわり	農作業	家事	その他	労働時間計	自由時間	計	同居家族概況	耕作面積	所有農具の主なるもの	備考		
A 家	主人	7.30	1.10	-	12.40	-	12.40	2.40	24.00	世帯主44才 妻 38才 三男14才 (在学)	一毛作田 2段	手動脱穀機 1 馬 2頭			
	主婦	6.20	1.10	-	13.50	2.30	13.20	-	24.00	妻 38才 三男14才 (在学)	二毛作田 2段	手動脱穀機 1 馬 2頭			
B 家	主人	6.30	1.30	0.30	9.30	-	1.30	11.00	4.30	24.00	世帯主44才 妻 44才 三男14才 (在学)	一毛作田 2段	手動脱穀機 1 馬 2頭		
	主婦	6.00	1.30	0.30	9.30	5.30	15.00	1.00	24.00	妻 64才 三男14才 (在学)	二毛作田 2段	手動脱穀機 1 馬 2頭			
C 家	主人	8.00	1.10	-	10.00	-	1.00	11.00	3.50	24.00	世帯主56才 次男21才 (在学)	一毛作田 2段	手動脱穀機 1 馬 2頭		
	主婦	7.30	1.10	-	14.50	0.30	15.20	-	34.00	妻 51才 三男17才 (在学)	二毛作田 2段	手動脱穀機 1 馬 2頭			
D 家	主人	9.00	2.00	-	5.30	-	4.30	10.00	3.00	24.00	世帯主54才 妻 58才 三女16才 (在学)	一毛作田 3段	手動脱穀機 1 馬 2頭		
	主婦	8.00	2.00	-	7.00	5.00	12.00	2.00	24.00	妻 78才 三男11才 (在学)	二毛作田 2段	手動脱穀機 1 馬 2頭			
E 家	主人	8.00	2.00	-	-	-	10.00	2.00	24.00	世帯主27才 妻 25才 長男1才 (在学)	一毛作田 2段	手動脱穀機 1 馬 2頭			
	主婦	7.30	2.00	-	7.30	7.00	14.30	-	24.00	妻 54才 長女2才 (在学)	二毛作田 2段	手動脱穀機 1 馬 2頭			

農家の主人と主婦の生活時間 (群馬県甘楽郡新井村)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
主人	睡眠					朝食	仕事	畑仕事	食事	休み	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
	睡眠					朝食	仕事	畑仕事	食事	休み	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
主婦	睡眠					朝食	家事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
	睡眠					朝食	家事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
主人	睡眠					朝食	仕事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
	睡眠					朝食	仕事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
主婦	睡眠					朝食	家事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
	睡眠					朝食	家事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠

註 こじゅうはん(小倉飯)

この地方には四食の習慣がある。

(12月~2月の季節を除く)

こじゅうはんには、おやき、ふかしじゃがいもなどの代用食を主にとる。

このため、夕食の時刻がおそい。(第3部 離れ村の購入の項参照)

		生活時間の内訳										農家主要生活条件				
		睡眠	食事	身まわり	農家仕事	その他	労働小計	自時	計	同居家族概況	耕作面積	所有農具の主なもの	畜産			
A家	主人	7.30	2.10	0.30	9.30	-	1.20	10.50	3.00	24.00	世帯主 62才	畑 6反	電動機 1	牛 1頭		
	主婦	7.00	2.10	0.10	7.50	4.20	-	11.50	2.20	24.00	母 66才		リヤカー 1			
B家	主人	7.00	1.50	0.20	10.00	-	1.50	11.50	3.00	24.00	世帯主 49才 次男 17才	二毛作田 9ヤカー 1	和牛 1頭			
	主婦	6.50	1.50	-	11.50	2.30	14.30	1.00	24.00	妻 49才 次女 13才	2反 1畝		乳牛 1頭			
C家	主人	8.00	1.50	0.40	8.40	-	8.40	4.50	24.00	世帯主 24才	二毛作田 4反 8畝	電動機 1	羊 2頭			
	主婦	6.00	1.30	0.40	8.40	2.50	-	11.00	4.00	24.00	妻 20才	畑 1町 3反	動力製糞機 1	牛 1頭		
D家	主人	7.00	2.10	0.30	11.50	-	11.50	2.30	24.00	世帯主 60才	畑 6反	手挽糞車 1	羊 1頭			
	主婦	6.30	2.10	0.30	5.50	6.30	-	12.20	2.30	24.00	妻 58才		自転車 1			

農家の主人と主婦の生活時間 (愛知県西春日井郡春日村)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
主人	睡眠					朝食	仕事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
	睡眠					朝食	仕事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
主婦	睡眠					朝食	家事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
	睡眠					朝食	家事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
主人	睡眠					朝食	仕事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
	睡眠					朝食	仕事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
主婦	睡眠					朝食	家事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
	睡眠					朝食	家事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
主人	睡眠					朝食	仕事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
	睡眠					朝食	仕事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
主婦	睡眠					朝食	家事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠
	睡眠					朝食	家事	畑仕事	食事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	畑仕事	睡眠

		生活時間の内訳										農家主要生活条件				
		睡眠	食事	身まわり	農家仕事	その他	労働小計	自時	計	同居家族概況	耕作面積	所有農具の主なもの	畜産			
A家	主人	9.00	1.30	0.30	8.30	0.30	-	9.00	4.00	24.00	世帯主 56才	二毛作田 6畝	リヤカー 1	羊 1頭		
	主婦	7.30	1.30	-	7.30	4.30	-	12.00	3.00	24.00	妻 49才	2反 2畝	手挽糞車 1	自転車 1		
B家	主人	8.00	1.30	0.30	9.30	-	9.30	4.30	24.00	世帯主 51才 次男 12才 (在学)	二毛作田 5畝	足ふみ製糞機 1	牛 1頭			
	主婦	7.00	1.30	0.30	8.00	5.00	-	13.00	2.00	24.00	妻 43才 次女 7才	二毛作田 6畝	手挽糞車 1	リヤカー 1		
C家	主人	8.00	1.30	1.00	10.00	-	10.00	3.30	24.00	世帯主 54才 三男 18才 (在学)	二毛作田 4畝 2畝	手挽糞車 1	羊 1頭			
	主婦	7.00	1.30	1.00	8.00	5.30	-	13.30	1.00	24.00	妻 51才 次女 13才	畑 3畝 8畝	リヤカー 1			
D家	主人	7.00	1.30	1.00	11.00	-	1.00	12.00	2.30	24.00	世帯主 53才 長女 18才 (在学)	二毛作田 6畝 2畝	足ふみ製糞機 1	羊 1頭		
	主婦	7.00	1.30	-	9.00	3.30	1.00	13.30	2.00	24.00	妻 42才 長男 15才	畑 2畝	手挽糞車 1	リヤカー 1		
E家	主人	6.30	1.30	0.30	11.30	-	-	11.30	4.00	24.00	世帯主 52才 次男 11才	二毛作田 4畝	手挽糞車 1	羊 1頭		
	主婦	5.30	1.30	0.30	11.30	2.30	-	14.00	2.30	24.00	妻 48才 次女 16才	畑 7畝	リヤカー 1	自転車 1		

農家の主と主婦の生活時間 (岡山県新見市調査)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
主人	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主婦	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主人	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主婦	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主人	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主婦	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主人	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主婦	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主人	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主婦	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主人	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主婦	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主人	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								
主婦	睡眠							田畑仕事		休息					田畑仕事		睡眠								

		生活時間の内訳									農家主要生活条件				
		起床	食事	身おろ	農事	家事	その他	労働時間	自休時間	計	同居家族概況	耕作面積	個人所有農具 の主なもの	畜産	
A家	主人	7.30	1.20	0.30	8.00	-	0.50	9.20	5.20	24.00	世帯主48才 長女18才	一毛作田1段2畝	足踏製糶機 1 ネコ車 2	牛 1頭	
	主婦	5.00	1.20	0.20	6.30	3.40	-	12.10	5.10	24.00	妻 42才	二毛作田 9段 如 1畝	自転車 1 カルチベーター 1	鶏 1羽	
B家	主人	7.30	1.30	0.30	7.00	2.00	0.30	9.30	5.00	24.00	世帯主39才 母 78才	二毛作田 3段	動力製糶機 2 手挽荷車 1	鶏 6羽	
	主婦	7.30	1.30	0.20	7.00	6.30	-	13.30	1.00	24.00	妻 37才 子供 5才	如 5段	リヤカー 1		
C家	主人	8.30	2.00	0.30	9.30	-	0.30	10.00	3.00	24.00	世帯主43才 子供 2人	二毛作田6段5畝	リヤカー 1	牛 1頭	
	主婦	7.30	2.00	1.00	5.30	7.00	-	12.30	1.00	24.00	妻 41才 男 9才 父 67才 女 19才 母 71才	如 6畝			
D家	主人	9.30	1.30	0.30	-	-	7.00	7.00	5.30	24.00	世帯主69才 二男15才	二毛作田9段2畝	足踏製糶機 1 ネコ車 2	鶏 12羽	
	主婦	7.30	1.30	0.30	-	10.00	1.00	11.00	3.30	24.00	妻 54才 女子20才 長男22才 (会社員)	如 6畝	自転車 2		
E家	主人	9.00	1.30	0.30	8.00	-	5.30	8.30	4.30	24.00	世帯主49才 長女14才	一毛作田 3段	手挽荷車 1	鶏 17羽	
	主婦	8.00	1.30	0.30	-	13.00	-	13.00	1.00	24.00	妻 41才 次女 7才 長男19才 次男19才	如 6段	リヤカー 1	牛 1頭	

附 録

1. 調査項目

(1) 村落家族生活に関する全般調査項目

I 村の概況

- 1 地理と気象
- 2 沿革 (行政村の成立)
- 3 土地と人口
- 4 産業と職業
- 5 行政其他

II 村落社会

- 1 行政村と村落社会——村落の位置、各集落の大きさ、特色
- 2 同姓村落の社会構造
 - (1) 村落発達の要因——(創始、発展——村内分家と移住者)
 - (2) 村落の内部構成
 - a 村落の成員——家と一軒家 (成員の資格)
 - b 家の成立事情と年代 (分家系統)
 - c 同族団の構造
 - 村落と同族団
 - 同族団の内部構造 (大きさと成員の種類)
 - d 村組 (地域集団) の構造
 - 近隣——(範圍と成員)
 - 大組——(")

3 村落の機能

- (1) 村落自治の機構
 - a 村落の役員——(種類と任期、選出)
 - b 村 寄 合
 - c 村の尖 役
 - d 村の制裁
- (2) 村行政との関連
 - a 村行政の下部機構としての役割
 - 村布告と納税その他
 - 村政との関連 (議員選出其他)
 - 農業協同組合との関連
 - 学校との関連
 - 消防、衛生その他

(3) 協同行政

- a 用水慣行
- b 共有山と共有田
- c 道路修理
- d 警 防
- e 葬祭、建築の協力
- f 災厄に対する協力互助
- g 其他の協同

(4) 祭礼と村俗

- a 氏神祭祀
- b 講 祭 祀
- c 寺院と村落

(5) 年齢集団

- a 少年団 (子供組)
- b 青年団 (若者組と娘組)
- c 壮年団体
- d 老人団体
- e 同 年 会

II 家 族

- 1 家族構成——(世帯調査票) △家族称呼

2. 家の経済と生活関係

- (1) 家の経済——家計の管理者
食事の管理
家計の管理
経費と貯蓄
家族の収入
(世帯主)
- (2) 家自活——家業の地位
主業の地位
長男と三男
男子と女子
成年と未成年
継子と養子
日常生活に於ける
(衣食住)
村交際
家族の進退
(教育、職業、結婚)
- (3) 家の祭典
(4) 娯楽其他
(5) 家事使用人

3. 家族の動員に伴う諸習慣

- (1) 結婚習慣
a 結婚年齢——(世帯主を以て)
d 通婚の範囲
c 配偶者の選択基準
d 配偶者の選択
e 結婚の手続
婚約——結婚(仲人、親)
婚式(親類関係の開始、村入り)里方との関係
f 階層による婚姻形式の差
- (2) 離婚
a 離婚の件数
b 理由と条件
c 手続
d 出戻りの問題
- (3) 相続
a 相続の形式
b 相続の時期と手続
- (4) 隠居
(5) 分家
a 分家の形式
b 分家の条件
c 分家と新家
d 村外分家
- (6) 養子
a 相続養子
b 其他の養子
c 養子の村に於ける地位

4. 親方子方慣習

- (1) 個人の育成と親子慣習
(名附、取立——元服——婚姻)
- (2) 地主と小作
(3) 地所者の入村
(4) 其他

5. 同族関係

- (1) 構造と名称
(2) 機能
a 本家と分家(本家の地位)
本家制
本家の承認(結婚、家産処理)
分家の本家に対する経済的依存度
本家の村交際における役割(世帯)

本家の経済力、権威

- b 同族関係
同族の祭祀
祭祀の方法
地所と同族関係
墓地と同族関係
c 協同と協力
農耕における協同と協力
耕作、建築の協力互助
祭祀の協力互助
d 同族利用の関係
- 6 親族
(1) 名称と階層
(2) 親族仲間の協力互助

Ⅲ. 主に婦人に関する生活実態と慣習

1. 産育

- (1) 出産の実情——(懐胎、出産時の手当、産室、分娩)
(2) 出産慣習——(助産と医術)(産後保健)
a 産祝(産後披露)
b 産立祝、三日祝
c 車上祝、拾遺、その他
d 名附(七日祝)
e 宮詣、忌明け
f 食賀め
g 初正月、初詣句
h 養生祝
(3) 出産の俗信
(4) 育児の実情
a 授乳と離乳
b 乳児の養護(抱養、子守、乳児の食養、その他)
c 幼児の子守
d 乳幼児の病氣と死亡率
e 託児施設
(5) 育児に伴う慣習
a 七五三祝——(産祝、産後、持病、学校上り、その他)
b 育児についての俗信
c 子供の守護神
d 幼児の葬式、その他

2. 娘の生涯——交際、仕事、嫁入仕度、出嫁

3. 婦人の労働

4. 婦人に関する俗信、言いならわし

- (1) 月経について
(2) 女と神祭
(3) 女の社会的地位についての言いならわし

5. 婦人団体

- (1) 伝統的な団体、女の交際——親仲間、女の講
(2) 婦人会——組織と事業
(3) 戦後の動向

6. 婦人と政治

- (1) 選挙
(2) 婦人の公務員、役員

7. 生活改良運動と婦人

- (1) 協同組合と婦人——消費組合
(2) 非営利、その他

8. 結婚の変化

- (1) 男女の交際、男女の地位
(2) 結婚と離婚

9. 村の保健施設

(2) 世界遺産

農村借人調査

(No.)

世 帶 及 家

(1) 當社の世帯員と別居家族

調查地

[illegible]

族 調 查 票

東

都

盈利

調査日

廣告

[illegible]

ONLINE

(2) 相対分米婚配について

(2) 47 面 90 條 7 處 4 項 2 款 2 項)

[illegible]

(3) 麻に又ふて

屋敷	広さ	家名	所有()	無
持家借家の別	数	持、借、間借、給与		
居住室数	数			
タタミ数	数			
炊用水	井戸水(専共)	流水	水(専共)	
風呂	有(専共)	無		
耕作	反別	田町	反	畝
所有	反別	畑町	反	畝
農地法による土地の移転		田町	反	畝
売買	入	田町	反	畝
所有山	畝	田町	反	畝

家名の来歴	本家	代目	明治より前年	(先祖の発祥地)
分家		代目	1 明治 2 明治 3 大正 4 昭和	(本家の当主の氏名) (本家の所在地)
他來住した家所から		代目	1 明治 2 明治 3 大正 4 昭和	(部落に來る前の居住地)
家号				
産土制(氏神)				
城郭等				寺(宗派)第
屋敷				

(3) 調査調査項目

調査表	No.	調査員	調査日
年 齢	学 歴	1. 小 学 2. 中 学 3. 高校以上	職 業
世帯人員	世帯主との関係	結 婚	1. 未婚 2. 有夫 3. 死産別
今の家にきて何年	生家の住所	生家の職業	子供の数
性別	田	町	区
	町	区	区

質問 1. 家族の数 お宅は何人でらっしゃいますか () 人

(A) 何人くらいが一番よいと思えますか () 人

(B) 何故ですか (O, A)

質問 2. 親子の同居 子供が結婚してからも親子は一緒にくらす方がよいでしょうか

それとも別にくらす方がよいでしょうか

1. 親子の同居はよい 2. わるい 3. どちらともいえない 4. わからない

(A) 何故ですか (O, A)

質問 3. 食事の管理 あなたの家では毎日の食事のことはおもに誰がきめますか (きめる人)

(A) 決断を作る人と、きめる人と別ですか 1. 区別がある 2. 区別がない

(B) 家の人で食事について何かちがひがありますか 1. ちがひがある 2. ちがひがない

(C) それについてどう思われますか (O, A)

質問 4. 食生活の改善 毎日の食事について、こうしたらよいとお気づきの点がありますか

1. ある 2. ない 3. わからない

(A) どんな点ですか (O, A)

質問 5. 家計の管理 あなたの家では、お金の出し入れはおもに誰がしていますか ()

(A) おだんのくらしむきのお金はどのようにしていますか ()

(B) それについてどう思われますか (O, A)

質問 6. 住居の改善

(煮たきの場所) あなたの家では食物の煮たきはどこでしていますか

(A) それについてどう思われますか (O, A)

(B) (台所の改善) そのほか台所のことについて、こうしたらと思つてることがあります (O, A)

(C) (住居の改善) そのほか住居のことについて、こうしたらと思つてることがあります (O, A)

質問 7. 家族の労働 毎日の家の仕事のわりふりはどうしてきめていますか

(A) 田畑や山などの仕事は (農業労働) ()

(B) 家の中の仕事は (家事労働) ()

(C) あなたは家の農業のやり方などについて何か相談をうけますか 1. うける 2. うけない

(D) それについてどう思われますか (O, A)

質問 8. 女の労働 あなたはどんな仕事をしていますか

農 業 1. 常 時 2. 隔 時 家事 1. 炊 事 2. 洗 濯 3. 掃 除 4. 裁 縫 5. 育 児

(A) 仕事は辛いと思えますかどうですか

1. 非常につらい 2. 相当つらい 3. どちらでもない 4. まあ楽な方だ

5. 楽だ 6. わからない

(B) もつと女の仕事をらくにするには、どうしたらよいと思えますか (O, A)

(C) 女の仕事をらくにするには農業のやり方かをえて協同でするようにしたらよいという意見もあ

るのですが、それについてどうお考えですか (O, A)

質問 9. 結婚について 結婚の相手は本人が自由にえらぶのと親がきめるのとどちらがよいと思えますか 1. 本人の自由 2. 親がきめる 3. 条件付 () 4. わからない

(A) この村ではどちらも多いでしょうか ()

(B) それについてどうお考えですか (O, A)

質問 10. 産育、保健 お子さんは何人いますか

生きている者 男 () 人 女 () 人 死んだ者 男 () 人 女 () 人

死んだ時の年齢 () 才 死産産件数 () 回

(A) 産前や産後には何日くらい仕事をやすみしましたか

農業労働 1. () 日 2. やすまない 家事労働 1. () 日 2. やすまない

(A') (子供をもたない人に) この辺では産前産後に何日くらい仕事をやすみしますか

農業労働 1. () 日 2. やすまない 家事労働 1. () 日 2. やすまない

(B) 月のもののときは野良仕事をやすみしますか 1. 休み 2. 休まない 3. 他の仕事と交える

(C) それについてどう思われますか (O, A)

(D) 子供のしつけはおもに誰がしていますか ()

1. どんなととに主に気をつけていますか

質問 11. 娯 楽 どんなことが一番たのしみですか (O, A)

(A) 今年になつて映画が芝居をみましたか 映画 () 回 芝居 () 回

質問 12. 教 養 新聞をおよみになりますか、ラジオは……

新 聞 とつている (1. 毎日よむ 2. 時々 3. ほとんどよまない 4. よまない) とつていない

ラジオ ある (全、夜、故障) (1. 毎日きく 2. 時々 3. ほとんどきかない 4. きかない) ない

(A) 自由に本をよんだりなどする時間はどのくらいありますか ()

(B) それについてどう思われますか (O, A)

質問 13. 婦人団体 この村には女の人の集りがありますか 1. ある 2. ない 3. わからない

(A) どんなことをしていますか (O, A)

(B) それについてどう思われますか (O, A)

質問 14. 農業協同組合 女も村の農協に入れますか 1. 入れる 2. 入れない 3. わからない

(A) 毎日のくらしについて組合はどんな仕事をしていますか (O, A)

(B) それについてどう思われますか (O, A)

質問 15. 政 治 0月4月の選挙のときには投票なさいましたか 1. した 2. しなかつた

(A) (した人に) だれを入れるかをあなたはどのようにしてきめましたか

(B) (しなない人に) どういうわけですか

質問 16. 法 律 新しい法律で女の立場はどんな風に変りましたでしょうか

1. 知つている 2. 知らない

(A) そのためにこの村で女の立場がよくなったというようなことがありますか

1. ある 2. ない

質問 17. 生活の改善 いろいろお話をききましたが、貴女のお考えのように家のくらしをかえるのをうですか 1. はい 2. いいえ 3. わからない

(A) それは何故ですか (O, A)

(4) 事例調査項目

I. 個人の生活経歴

1. 幼年期

- (1) 出生地
- (2) 出生時の年齢、経緯、一緒に育った兄弟
- (3) 出生時の父の年齢、経緯、一緒に育った兄弟

2. 幼年期—学童期

- (1) 学童(小学校名、中学校名)
- (2) 学童期のあつた経緯、現在の交際
- (3) 学童期の学業、運動
- (4) その当時の生活
- (5) 同僚の友人、親しかった人、現在交際している人
- (6) 学童生活、現在の交際程度
- (7) 一審判決に残っている事件(子供時代)

3. 学童期—卒業後

- (1) 仕事—家庭の仕事、就職の経験の有無、あればその動機
- (2) 収入
- (3) 趣味
- (4) 結婚の決めた時期
- (5) 交友関係、現在の交際程度
- (6) 同僚生活の有無、役員経験の有無
- (7) 結婚の経緯、結婚に対する考え方
- (8) 一審判決に残っている事件

4. 結婚

- (1) 結婚—最初に結婚のあつた時の年齢、手筈
- (2) 現在の夫との交際(婚約前)、夫の関係
- (3) 結婚をまとめた経緯
- (4) 婚約中の交際
- (5) 仲人との関係
- (6) その他

5. 結婚後の生活(現在)

- (1) 結婚した家環境に入って、一番困ったこと、辛かったこと、楽しかったこと
- (2) 親戚との交際
- (3) 村人との交際、新しい友人関係
- (4) 収入

6. 母としての経験

- (1) 子供の人数
- (2) 子供の成長の仕方
- (3) 将来に対する考え方(教育、職業、結婚)
- (4) 子供に将来してもらいたいと思うこと

7. 一般社会に関して

- (1) 旅行の経験
 - a. 一番遠くへ行った場所、年齢
 - b. 旅行への旅行回数、場所、目的
- (2) 他郷人との交際
- (3) 婦人団体役員、その他公職について経験
- (4) 宗教団体との交際

II. 家庭に於ける生活

1. 家族構成

2. 家の経営状況

3. 家計の概要

4. 家族の労働分担

5. 住居

- (1) 間取り図(部屋の名称)
- (2) 各部屋の使い方
 - a. 食事、用水
 - b. 寝、座
 - c. 応待と相対
 - d. 作業場

6. 家計の概要

- (3) 収入—利用の仕方、貯蓄、消費
- (4) 支出の項目
- (5) 燃料

7. 食生活

- (1) 食生活の概観—(自給自足)
- (2) 副食(自給と買入)、(食費)
- (3) 調味料(自給と買入)
- (4) 嗜好品(酒、たばこ、菓子類)
- (5) 食事の回数(農忙期と農閑期)、副食の回数
- (6) 野良の食事
- (7) 子供の食事
- (8) 年中行事と食生活—(節の日の食生活)
- (9) 招客の場合の食生活

8. 衣生活

- (1) 衣類
- (2) 仕事着の種類
- (3) 子供の衣類
- (4) 着衣
- (5) 洗濯
- (6) 衣類の補給(衣料の買入、裁縫)
- (7) 嫁入の持参着物、結婚後の新調
- (8) 履物、被褥

9. 健康衛生

- (1) 休息
 - a. 野良仕事の小憩、昼寝
 - b. 野良仕事を休む日
- (2) 睡眠、入浴
- (3) 痔瘻(毎日の掃除、大掃除)
- (4) 医療—医療
 - 薬、自給薬品
 - 加特新薬

10. 教養、娯楽

- (1) 新聞と雑誌、読書
- (2) ラジオ
- (3) 映画、芝居、その他
- (4) 運動会、其他種物
- (5) 其他伝統的な娯楽—歌舞、村歌
- (6) 趣味
- (7) 旅行

11. 祭祀

- (1) 家の祭祀—年中行事—遊土利
- (2) 家の宗旨
- (3) 本人の信仰
- (4) 宗教に対する考え方

12. 交際

- (1) 個人との関係(友人、同僚、同郷)
- (2) 家の関係(日常、正月、盆、祭、豆四)(農耕、建築、その他)
 - a. 本家分家
 - b. 親類
 - c. 近隣、部落
 - d. 村
- (3) 贈答(時期の品物)

2. 写真目次

1. 農家の子供達—常盤村(岡山)	4
2. 面接調査—田野畑村(岩手)	4
3. “よまた”に子供を入れて守をする老婆—田野畑村(岩手)	11
4. 雨水をひいたときに使う“水はつくり”—田野畑村(岩手)	18
5. 改良されたかき壺—常盤村(岡山)	16
6. 岩手の曲な路—田野畑村	14
7. 岡山の農家—常盤村	14
8. 農家の会合—春日村(愛知)	20
9. 曲の屋の内庭—音所から牛小舎を見る—田野畑村(岩手)	20
10. 子供の生長—休むのが楽しみだという農村婦人—田野畑村(岩手)	28
11. 最上川の護岸工事—大和村(山形)	32
12. 作業次の婦人—大和村(山形)	38
13. 農家—額部村(群馬)	88
14. 五条川の堰—春日村(愛知)	44
15. “かっぱ”を着て読菜の手入れ—春日村(愛知)	45
16. 農家の老夫婦—常盤村(岡山)	50
17. “なま車”を動かす婦人—常盤村(岡山)	51
18. 秋祭り—常盤村(岡山)	58
19. 鎌作—常盤村(岡山)	59
20. 昼食の支度をする老婆—田野畑村(岩手)	58
21. 副業にいきそい婦人—常盤村(岡山)	50

3. 統計図表目次

第1図 男女別農業従事者の割合	9
第2図 仕事の内容を分ける人	9
第3図 農家の主婦の家事の負担	10
第4図 仕事を分ける人は誰か	11
第5図 農前農後の休養	11
第6図 世帯内世代数	15
第7図 親子の同居に対する意見	15
第8図 家族の指導者或は代表者は誰か	16
第9図 食事をきめる人、つくる人	16
第10図 嫁入嫁出の範囲	17
第11図 結婚の仕方と結婚についての意見	17
第12図 世帯主のさうだいの相続、分家、養子、嫁入、同居の状況	18
第13図 学校時代の親友との現在の交際	19
第14図 農協組に対する関心	20
第15図 昭和25年参議院議員選挙投票率	21
第16図 候補者の選択について	21
第17図 法律で女の立場はどのように変わったか	22

第18図 女の立場はよく変わったか	22
第19図 岡山県田舎	24
第20図 田野畑村の地形	25
第21図 年間労働暦(田野畑村本件事例)	27
第22図 田野畑村概況	30
第23図 大和村の地形	31
第24図 年間労働暦(大和村本件事例)	34
第25図 大和村概況	37
第26図 額部村の地形	39
第27図 年間労働暦(額部村本件事例)	42
第28図 額部村概況	42
第29図 春日村の地形	48
第30図 年間労働暦(春日村上之切事例)	45
第31図 春日村の概況	48
第32図 常盤村の地形	49
第33図 年間労働暦(常盤村本件事例)	52
第34図 常盤村の概況	54
第35図 戦前、戦時、戦後における男女別農業従事者	59
第36図 男女別年令別農業従事者の割合	59
第37図 通婚圏 その1 岩手県下閉伊郡田野畑村甲地	72
第38図 通婚圏 その2 岡山県都窪郡常盤村三輪	73
第39図 学校時代の親友との現在の交際	76
第40図 結婚前及び結婚中の交際	79

4. 統計表目次

(1) 本文挿入統計表目次

第1表 どんなことが一番たのしみか	12
第2表 他郷人とのつきあい	19
第3表 経営規模別農家数	57
第4表 農家の家族構成	58
第5表 家族構成員の割合	58
第6表 世帯内世代数	58
第7表 男女別年令別農業従事者の割合	60
第8表 家事の分担	61
第9表 家事の負担	61
第10表 家族労働の分担 A家(山形県大和村)	62
第11表 家族労働の分担 B家(愛知県春日村)	63
第12表 家族の指導者或は代表者 ——家計の管理、仕事の配分をする者及び村の集会その他のつきあいに 出る者は誰か——	64
第13表 食事をきめる人、つくる人	65

第 14 表	世帯主たる男子の 18 才以上の息子或は養子を含む家（上）、世帯主の 母を含む家（下）世帯家族の指導者、代表者はどうなっているか	66
第 15 表	世帯主の妻の外に 18 才以上の嫁或は嫁を含む家（上）、世帯主の妻の外 に母を含む家（下）世帯家族の分組はどうなっているか	68
第 16 表	嫁 入	70
第 17 表	嫁 出	71
第 18 表	男 別、年令別世帯家族数	74
第 19 表	世帯員の教育程度	75
第 20 表	男 別、年令別世帯家族数	76
第 21 表	教師からの影響の有無	76
第 22 表	影響をうけた教師との現在の交渉	76
第 23 表	家庭の仕事	77
第 24 表	就職の経緯	77
第 25 表	習った仕事	77
第 26 表	娘時代に既婚に加入したとがあるか	77
第 27 表	娘時代の友人	78
第 28 表	娘時代の友人と今もつきあっているか	78
第 29 表	結婚の動機	78
第 30 表	家同志の関係	78
第 31 表	婚約前の交際	79
第 32 表	婚約中の交際	79
第 33 表	他郷人との交際	80
第 34 表	県外旅行の目的	80
第 35 表	県外に旅行した回数	80
第 36 表	新しい法律で女の立場はどのように変ったか	81
第 37 表	ラジオの有無と新聞の購読	81
第 38 表	女の仕事はつらいか	82
第 39 表	結婚の相手は本人が自由にえらぶのと親がきめるのとどちらがよいか	82
第 40 表	村の結婚の仕方	82
第 41 表	世帯内世代数と親子の同居についての意見	82

(2) 第 5 部 統計表目次

1. 世帯調査結果表

1. 調査農家の状態

第 1 表	所有耕地面積広狭別農家数	87
第 2 表	経営耕地面積広狭別農家数	87
第 3 表	所有山林面積広狭別農家数	87
第 4 表	農地改革前の所有耕地面積広狭別農家数	87
第 5 表	屋敷の広さ	88
第 6 表	たきみ敷	88
第 7 表	住居、屋敷前及び風呂の所有状態	88
第 8 表	水 源	88

2. 世帯の世帯員

第 9 表	家 族 構 成	89
第 10 表	世帯内夫婦組数	89
第 11 表	世帯内世代数	89
第 12 表	世 帯 員 数	89
第 13 表	世帯員の男女別、年令別農業従事者数	90
第 14 表	世帯員の教育程度	90
第 15 表	世帯員の職業	91

3. 他 出 家 族

第 16 表	他出家族の続柄	91
第 17 表	他出家族の年令	91
第 18 表	他出家族の職業	92
第 19 表	他出家族の教育程度	92
第 20 表	他出家族の行先地	92
第 21 表	他 出 期 間	93
第 22 表	他 出 の 理 由	93

4. 家 族 関 係

(1) 家長権及び主婦権について

第 23 表	家族の指導者或は代表者（その 1） ——家計の管理、仕事のわりふりをする者及び村の集会その他の つきあいにいる者は誰か——	93
第 24 表	家族の指導者或は代表者（その 2） ——世帯主たる男子のほかに 18 才以上の男子がいる場合はどう なるか——	94
第 25 表	家事の担当者（その 1） ——食事をきめる者、炊事、洗濯、裁縫、掃除及び子育てをするの は誰か——	96
第 26 表	家事の担当者（その 2） ——主婦のほかに 18 才以上の女子がいる場合はどうなるか——	98

(2) 通 婚 図

第 27 表	婚 入（その 1）	101
第 28 表	婚 入（その 2）	101
第 29 表	婚 出（その 1）	104
第 30 表	婚 出（その 2）	104

(3) 相続、分家、婚姻について

第 31 表	世帯主のきょうだいの相続、分家、養子、嫁入、同居の状態	108
第 32 表	世帯主のきょうだいの相続、分家、婚姻時の年令	109
第 33 表	世帯主のきょうだいの初婚年令	111
第 34 表	世帯主になつた年令と初婚年令	112

第 36 表 世帯主のきょうだいの居住地	116
第 37 表 世帯主のきょうだいの職業	117
第 38 表 世帯主のきょうだいの教育程度	118

I 意識調査結果表

1. 調査の対象者

第 1 表 調査者の平均	119
第 2 表 対象者の続柄	119
第 3 表 対象者の世帯員数	119
第 4 表 対象者の未婚性別	119
第 5 表 対象者の教育程度	119
第 6 表 対象者の農業従事者の程度	119

2. 調査の結果

(1) 労働について

第 7 表 農業に従事する者の家事労働の負担	120
第 8 表 女の仕事はつらいか	120
第 9 表 女の仕事をもう少しにするにはどうしたらよいか	121
第 10 表 協同化についての意見	120
第 11 表 仕事の配分をする人	121
第 12 表 仕事に関する相談の有無とそれについての意見	121

(2) 生育保健について

第 13 表 子供の数	122
第 14 表 生死別子供の数	122
第 15 表 死産産件数	122
第 16 表 死亡児の年齢	122
第 17 表 生理日の休暇	122
第 18 表 生理休暇についての意見	123
第 19 表 産前産後の休暇	123
第 20 表 子供のしつけをする人は誰か	124
第 21 表 子供のしつけをするのにどの点に気をつけるか	124

(3) 娯楽・文化について

第 22 表 今年になつて芝居を何回みたか	124
第 23 表 今年になつて映画を何回みたか	124
第 24 表 ラジオの有無と聞く程度	125
第 25 表 新聞の購読	125
第 26 表 本や雑誌の購読	125
第 27 表 どんなとよが一歩楽しめか	125

(4) 生活改善について

第 28 表 食卓の改善についての意見	126
第 29 表 食事をきめる人、つくる人	126
第 30 表 食事についての差別の有無	127
第 31 表 炊炊きの場所とそれについての意見	128
第 32 表 台所についての意見の有無	127
第 33 表 台所についての意見	127
第 34 表 住居についての意見の有無	127
第 35 表 住居についての意見	127

(5) 家族関係について

第 36 表 現在人員と希望人員	128
第 37 表 希望人員	130
第 38 表 人員希望の理由	130
第 39 表 親子の同居に対する意見	131
第 40 表 結婚についての考え方	131
第 41 表 本人の自由と答えた者の意見	132
第 42 表 親がきめると答えた者の意見	132
第 43 表 村の結婚の仕方	132
第 44 表 家計の管理者	133
第 45 表 家計の管理についての意見	133

(6) 社会生活について

第 46 表 婦人団体に対する関心	133
第 47 表 農協組に加入できることを知っているか	134
第 48 表 農協組の仕事を知っているか	134
第 49 表 昭和 35 年参議院議員選挙投票状況	134
第 50 表 候補者をどのようにしてきめたか	134
第 51 表 新しい法律で女の立場はどのように変ったか	134
第 52 表 村の婦人の立場はよくなったか	135

昭和27年6月10日印刷
昭和27年8月20日発行

製作者 東京都代田區大手町1番地
労働省婦人少年局
印刷人 東京都中央区新富町2丁目3番地
永井直保
印刷所 東京都中央区新富町2丁目3番地
永井印刷工業株式会社

